

# 機械設備工事仕様書

## I 工事概要

1. 工事場所 仁多郡奥出雲町三沢1099
2. 地域地区 ( 都市計画区域外 )
3. 敷地面積 18,275.00 m<sup>2</sup>
4. 建物用途 ディサービスセンター、社会体育施設、事務所
5. 棟別概要

No.	建物名称	工事種別	構造	階数	耐火区分	消防法の区分	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )
1	ディサービスセンター 社会体育施設、事務所	改修	RC一部S	2	準耐火建築物	(16)項イ	1,581.44	2,099.68
2	休憩所	既存	W	1			25.92	25.92
3								
4								
5								
6								
7								
合計							1,607.36	2,125.60

## 6. 工事種目 (○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
空気調和設備	○						
換気設備	○						
自動制御設備							
衛生器具設備	○						
給水設備	○						
排水設備	○						
給湯設備	○						
消火設備	○						
ガス設備	○						
浄化槽設備							
エレベーター設備							
建築工事							
電気設備工事							
撤去工事	○						

図面番号	工事名
MO1	高齢者等福祉施設整備工事
機械	

## 7. 設備概要 (改修の場合は工事対象を示す。) (○印を付したものが該当)

空調設備	空気調和方式等	○ 空気調和 ( ○ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット ・ グループ併用方式 ・ 単一グループ方式 ・ 各階ユニット方式 )	
	主要熱源機器	・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 7層パッケージ形空気調和機	
		○ パッケージ形空気調和機 ○ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	
		・ ファンユニット ・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット	
		・ 鋼製ダクト ・ 鋳鉄製ダクト	
	・ 温水発生機 ( ・ 真空式 ・ 無圧式 )		
換気設備	○ 1種換気 ・ 2種換気 ○ 3種換気		
排煙設備	・ 機械排煙 ( ・ 有 ・ 無 ) ・ 適用法規 ( ・ 建基法 ・ 消防法 )		
自動制御設備	・ 自動制御方式 ( ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 )		
衛生設備	給水方式	○ 水道直結 ・ 高置タンク ・ ポンプ直送 ・ 水道直結増圧	
	排水方式	○ 建物内の汚水と雑排水 ( ・ 合流 ○ 分流 )	
		・ ショウ排水 ・ 有 ( ・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水 ) ・ 無	
	放流先	汚水	○ 直放流下水管 ・ 浄化槽
		雑排水	○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途併
排水槽		・ 有 ( 計画容量 : m <sup>3</sup> ) ○ 無	
給湯設備	○ 有 ( ○ 局所式 ・ 中央式 ) ・ 無		
	○ 熱源 ( ・ 電気 ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油 )		
消火設備	○ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー		
	・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置		
	・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 ( ・ 窒素 )		
	・ 可燃物消火 ○ 消火器 ・ 無		
ガス設備	・ 都市ガス 種別 ( MJ/m <sup>3</sup> N ) ・ 液化石油ガス		
浄化槽設備	・ 有 ( ・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ) ・ 無		

## II 工事仕様

### 1 共通事項

- (1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和7年版」(以下「標準図」という)による。ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という)による。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

### 2 特記事項

- (1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印を適用する。  
○印の無い場合は、\*印のあるものを適用する。  
○印と⊕印のある場合はともに適用する。


章	項目	特記事項
一般	① ① 適用基準等	○ 消防設備等の技術基準 (第9次改訂版) (全国消防長会中国支部編) ⊕ 営繕工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 令和5年版 一般社団法人公共建築協会 編集 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修
	② ② 機材の品質等	本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)~6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6) 材料及び接着剤等の有害物質の放出量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(最新版)」及び「同設備機材等評価名簿(最新版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

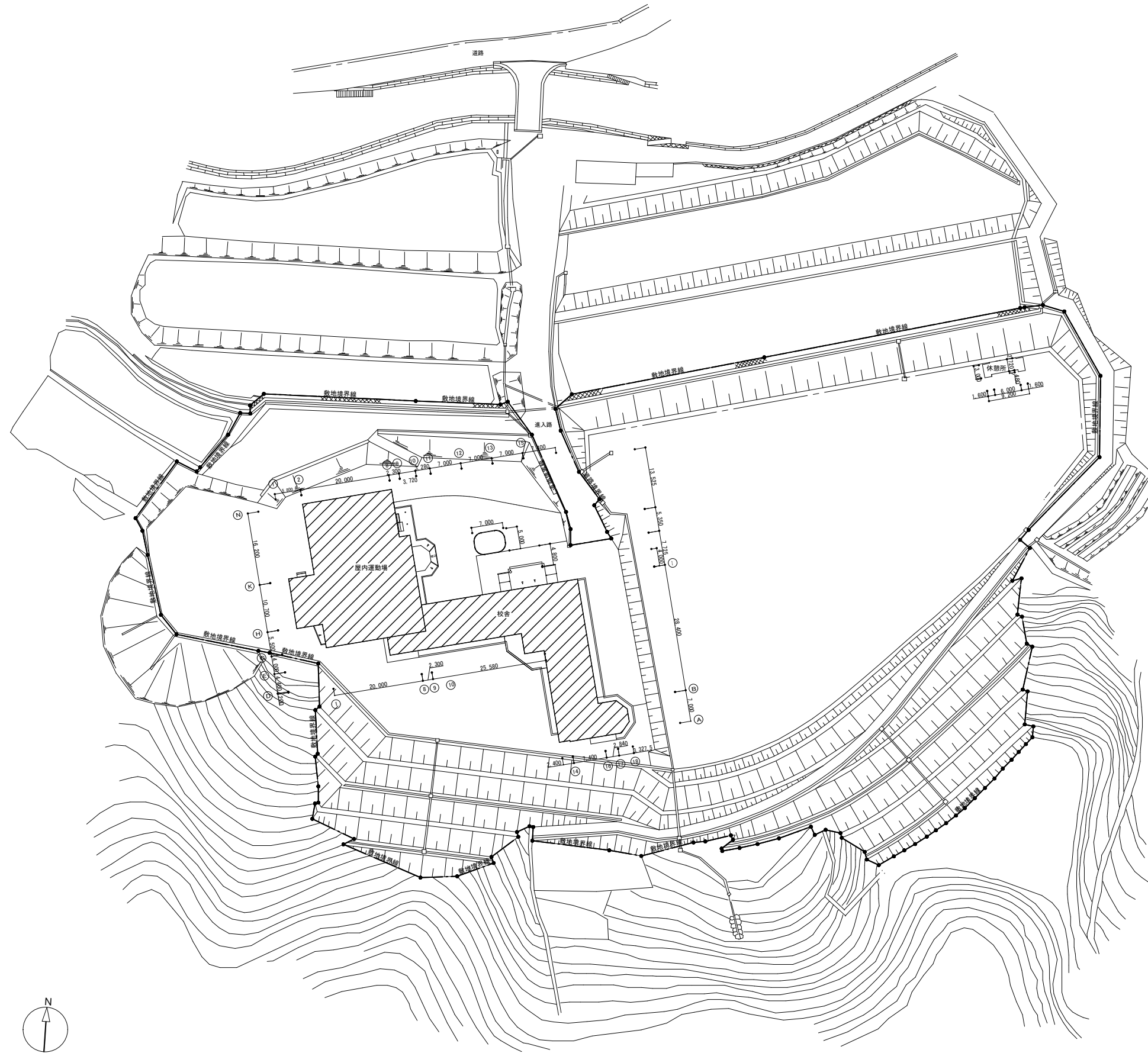
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																				
章	③ ③ 環境への配慮	本工事において、国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、現行の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。	章	⑭ ⑭ 保全に関する資料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>書類名</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器取扱い説明書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器性能試験成績書</td> <td>* 1部</td> </tr> <tr> <td>官公署届出等書類</td> <td>・ 部</td> </tr> <tr> <td>総合試運転調整報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他監督職員が指示するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)</td> <td>* 1部</td> </tr> </tbody> </table>	書類名	提出部数	建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)		機器取扱い説明書		機器性能試験成績書	* 1部	官公署届出等書類	・ 部	総合試運転調整報告書		その他監督職員が指示するもの		建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1部																																				
	書類名	提出部数																																																							
	建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)																																																								
	機器取扱い説明書																																																								
	機器性能試験成績書	* 1部																																																							
	官公署届出等書類	・ 部																																																							
	総合試運転調整報告書																																																								
	その他監督職員が指示するもの																																																								
	建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1部																																																							
		④ ④ 官公署その他への届出手続等		標準仕様書によるほか、液化石油ガス設備工事を施工する際は着事前にかし供給事業者に着事前説明を行い、完了時に完成図を提出すること。		⑮ ⑮ 総合試運転調整	<p>装置全体の施工完了時に、下記の総合試運転調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風量調整</li> <li>○ 水量調整</li> <li>○ 室内外空気の温湿度の測定</li> <li>・ 室内気流及びびじんあいの測定</li> <li>・ 騒音の測定</li> <li>○ 飲料水の水質検査 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般飲料水適否検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく16項目)</li> <li>対象工事 飲料水に関する水槽及び埋設配管更新工事</li> <li>・ 一般飲料水適否簡易検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく11項目)</li> <li>対象工事 上記一般飲料水適否検査以外の工事</li> <li>・ 水道法施行規則による水質検査</li> </ul> </li> <li>・ 雑用水の水質検査 <ul style="list-style-type: none"> <li>測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数は監督職員の指示による。</li> </ul> </li> </ul>																																																		
		⑤ ⑤ 電気保安技術者		電気保安技術者を工事現場におき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。		⑯ ⑯ 図形表示	機器類は、図示する形状及び配管などの取り出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 型番変更等により参考型番が変更または廃止されている場合、参考型番の同等品とする。																																																		
		⑥ ⑥ 現場事務所		○ 設置できる ○ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所 : ) ・ 設置できない		⑰ ⑰ 電気容量及び機器能力表示	原則として、電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は図面に記載されている数値以下、機器類の能力及び容量等は表示された数値以上とする。																																																		
		⑦ ⑦ 工事用電力、水		構内既存の施設 工事用電力 ○ 利用できる (有償) ・ 利用できない 工事用電力 ○ 利用できる (有償) ・ 利用できない		18 ⑱ ⑱ 監視システムのサイバセキリティ	「自家電気工作物に係るサイバセキリティの確保に関するガイドライン」(経済産業省令和5年3月改正)による。 外部ネットワークと接続するシステム ・ 有 (対象設備 : ) ・ 無 外部ネットワークとの接続する箇所の不正アクセス防止対策 ・ ファイアウォール ・ 統合脅威管理 (UTM) 盤及びキーボードの錠の鍵 ・ 製造者標準鍵 ・ 錠の指定有:対策機器 ( )																																																		
	8 ⑲ ⑲ 発生材の処理等	・ 引き渡しを要するもの ・ 放射性物質 (PCB) 廃棄物 ( ) ・ 現場において再利用を図るもの ( ) ・ 有価物 ( ) 産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。		⑳ ⑳ 足場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省令和5年12月改正)による。 ・ 本工事で設置する ( 図参照) ○ 建築工事設置の足場を利用																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品目</th> <th>搬出場所</th> <th>距離 (Km)</th> <th>DID 区間 (有・無)</th> <th>処分費 (有・無)</th> <th>備考 (再資源化の有無等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定建設資材</td> <td>○ コパルト機</td> <td>仁多郡奥出雲町</td> <td>3.0</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>○ マカボ機</td> <td>仁多郡奥出雲町</td> <td>3.0</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特別管理産業廃棄物</td> <td>・ コパルト及び鉄から成る建設資材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・ 木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>○ 金属くず</td> <td>仁多郡奥出雲町</td> <td>3.0</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>○ 廃ガラス</td> <td>仁多郡奥出雲町</td> <td>3.0</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>○ ガラスくず</td> <td>仁多郡奥出雲町</td> <td>3.0</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table> <p>家電リサイクル法の対象機器及びPOP排出抑制法に該当する廃棄物は適切に処理を行うこと。</p>	項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	DID 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化の有無等)	特定建設資材	○ コパルト機	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有	○ マカボ機	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有	特別管理産業廃棄物	・ コパルト及び鉄から成る建設資材					有	・ 木材					有	その他	○ 金属くず	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有	○ 廃ガラス	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有	○ ガラスくず	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有		㉑ ㉑ 保温	<p>1) 給水管、給湯管、排水管の保温は下記の部分を除きグラスウール保温材とし、施工順序は標準仕様書による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 暗室内及び屋内露出給水管の保温はグラスウール保温材とする。</li> <li>② 多湿箇所及び屋内露出排水管の保温はグラスウール保温材とする。</li> <li>③ 準耐火構造の防火区画を貫通する給水管、排水管及び給湯管の保温はロックウール保温材とする。</li> </ul> <p>2) スラブ上転がし排水管 (耐火二層管を除く) はグラスウール保温材とし、保温厚が確保できない場合はグラスウール保温材同等の性能を有する製品を監督職員の承諾のうえ使用できる。 ただし、エント付属部は耐火二層管とする。</p> <p>3) 一般ダクトの保温はグラスウール保温材とする。</p> <p>4) 機器の保温はグラスウール保温材とする。</p> <p>5) 冷媒管に断熱被覆銅管を使用した場合の外装材は下記による。 屋内露出 ・ 保温化樹脂加 ( ・ 樹脂製 ・ ) ・ 合成樹脂加 ( ・ シートタイプ ・ ジャケットタイプ ) 屋外露出 ○ 保温化樹脂加 ○ 樹脂製 ・ 熔融亜鉛めっき製 ・ スチール鋼板製 ・ スチールスチング (JIS G 4305)</p> <p>6) 機器から外壁までの排気ダクト保温 ○ 有 ・ 無</p> <p>7) 合成樹脂加 ( ・ 冷媒管以外の管 ) ・ 1 (シートタイプ) ・ 2 (ジャケットタイプ)</p>
項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	DID 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化の有無等)																																																			
特定建設資材	○ コパルト機	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有																																																			
	○ マカボ機	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有																																																			
特別管理産業廃棄物	・ コパルト及び鉄から成る建設資材					有																																																			
	・ 木材					有																																																			
その他	○ 金属くず	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有																																																			
	○ 廃ガラス	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有																																																			
	○ ガラスくず	仁多郡奥出雲町	3.0	無	有	有																																																			
	9 ⑳ ⑳ 交通安全管理	以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。		㉒ ㉒ 塗装	塗装は標準仕様書第2編3.2及び図示による。 残りねじ部及びパイプのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント塗りを行う。 下記場所は塗装しない。 * 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>人・日数</th> <th>交通安全管理の必要な作業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通誘導員A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通整理員</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 取扱いは「営繕工事における交通誘導員等の取扱い基準」(営繕課HP掲載)による</p>	名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員				㉓ ㉓ 再使用機器	取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。																																								
名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																							
交通誘導員A																																																									
交通誘導員B																																																									
交通整理員																																																									
		⑩ ㉒ ㉒ 技能士の適用	* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。																																																						
		⑪ ㉒ ㉒ 工事写真	下記のものを提出する。 仕様は、島根県営繕工事写真取扱要領による。																																																						
		⑫ ㉒ ㉒ 完成時の提出図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名・仕様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 電子データ (CD-R等) (写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等)</td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> <p>下記のものを提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名・仕様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ (CD-R等) (情報共有システムを使用した場合のみ) 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。</td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table>	品名・仕様	提出部数	* 電子データ (CD-R等) (写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等)	1 部	品名・仕様	提出部数	* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ (CD-R等) (情報共有システムを使用した場合のみ) 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。	1 部																																														
品名・仕様	提出部数																																																								
* 電子データ (CD-R等) (写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等)	1 部																																																								
品名・仕様	提出部数																																																								
* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ (CD-R等) (情報共有システムを使用した場合のみ) 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。	1 部																																																								
		⑬ ㉒ ㉒ 完成図	下記のものを、竣工後15日以内に提出する。 仕様は、島根県営繕工事完成図取扱要領による。																																																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名・仕様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 竣工図 製本サイズ ( * A3縮小版 ) 白焼 表装 ( * レザック表紙 (ラミネート仕上げ) )</td> <td>3 部</td> </tr> <tr> <td>* 電子データ (竣工図、施工図) (CD-R等)</td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> <p>製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、奥出雲町にある。 なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。</p>	品名・仕様	提出部数	* 竣工図 製本サイズ ( * A3縮小版 ) 白焼 表装 ( * レザック表紙 (ラミネート仕上げ) )	3 部	* 電子データ (竣工図、施工図) (CD-R等)	1 部																																																
品名・仕様	提出部数																																																								
* 竣工図 製本サイズ ( * A3縮小版 ) 白焼 表装 ( * レザック表紙 (ラミネート仕上げ) )	3 部																																																								
* 電子データ (竣工図、施工図) (CD-R等)	1 部																																																								

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
MO1	高齢者等福祉施設整備工事	特記仕様書1	N/S	R8.06	
機械					設計者

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																	
23	耐震措置	<p>1) 本工事に求められる耐震安全性については、下記及び「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（国土交通省大臣官房官庁庁舎構造部監修）令和3年版」による。            基準に基づき定められた区分等            構造体 ・ I類 ○II類 ・ III類            建築非構造部材 ○A類 ・ B類            建築設備 ・ 甲類 ○乙類            特定室（ ）            機能の停止が許されない室（ ）            ※記載のない室は一般室とする。</p> <p>2) 設備機器の固定は次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修）2014年版」及び「昇降機技術基準」及び「昇降機技術基準の解説（一般社団法人）日本建築設備・昇降機協会、（一般社団法人）日本エレベーター協会」による設計用地震力に耐える方法とする。            ①設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度(Ks)を乗じたものとする。            建築設備の設計用標準水平震度(Ks)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">建物の種別</th> <th colspan="2">○ 特定の施設</th> <th colspan="2">・ 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>機器種別</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>機 器</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階及び1階</td> <td>機 器</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 上層階の定義は次による。            2～6階建ての場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階            重要機器は次のものを示す。            水槽類（受水槽、高架(高置)水槽）            ボンプ類（加圧給水ボンプユニット、揚水ボンプ、オイルボンプ）            消火設備機器（消火ボンプユニット、自動消火設備機器、パナソニック形消火設備機器）            危険物貯蔵装置（オイルタンク、サビスタック）            エアコン室外機（R-410Aは除く）            中央監視盤（壁掛形、自立形）            （ ）            一般機器は重要機器以外で重量が1[kN]を超えるものを示す。            なお、1[kN]以下の機器の取付けは上記によるほか、機器製造者指定の方法により行う。            ②エレベーターの耐震クラス            ・ S14 ・ A14            エレベーターの設計用水平標準震度(Khs)は「昇降機技術基準の解説」による。            ③設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>3) あと施工アーク            施工後確認試験            試験方法 引張試験機による引張試験            対象機器 重要機器及び一般機器            (注) 機器重量が1[kN]以下の機器は使用するアークメカの確認試験資料を監督職員に提出し承諾をうけること。            確認強度 対象機器ごとのアークメカ1本あたりの短期引張強度の2/3以上            試験本数 機器1台に対し1本以上            試験箇所 監督職員の指示による。</p> <p>4) 既存アークの再使用            既存のアークメカは、原則として、使用しない。やむを得ず既存のアークメカを再使用する場合は、状態及び強度を確認し、監督職員と協議のうえ、十分に清掃を行ってから使用する。</p>											設置場所	建物の種別	○ 特定の施設		・ 一般の施設		機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	地階及び1階	機 器		1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																
		設置場所	建物の種別	○ 特定の施設		・ 一般の施設																																																																																																																								
機器種別	重要機器			一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																								
上層階 屋上及び塔屋	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																								
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																								
中間階	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																								
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																								
地階及び1階	機 器		1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																								
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																								
24	耐震施工	<p>1) 機器の耐震施工            ①エアコン室外機の転倒防止措置は図示による。            ②給湯設備機器の設置は「平成24年国土交通省告示第1447号」による。</p> <p>2) 横引き配管等は地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう建築設備耐震設計・施工指針2014年版によるSA種、A種又はB種耐震支持を行う。            ただし、次の場合を除く。            ①吊り長さが平均0.2m以下、または、40A以下の配管（鋼管は20A以下）            ②吊り長さが平均0.2m以下、または、周長1.0m以下のダクト</p>																																																																																																																												
25	外壁との取り合い	<p>1) 外壁と設備の取り合い部分（配管等の貫通部を含む）はシーリングを行う。            2) シーリング材は、建築工事標準仕様書表9.7.1及び建築改修工事標準仕様書表3.7.1により、外壁の種類に応じたものとする。</p>																																																																																																																												
26	冷温水管等の17抜き	<p>17溜まりを生ずるとと思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に17抜き弁装置（＊ 手動 ・ 自動）を設ける。</p>																																																																																																																												
27	配管施工	<p>1) ねじ加工に際しては、ねじゲージを使用し、ねじの長さを調整する。            2) イ化傾向の大きくなる異種管の接続には、絶縁継手を使用する。            3) 60Su以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の鋼管継手性能基準による継手とする。75Su以上のステンレス鋼管継手はワグング継手とする。            4) 架橋ホリフレイン管及びホリブレン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メカの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。            5) 給用水用高密度ホリフレイン管、空調配管用高性能ホリフレイン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメカ施工標準のうち短い方を適用する。</p>																																																																																																																												
28	支持金物、固定金物	<p>1) ボンプ及び屋外設置機器、ビット内、多湿箇所のアークメカ、ナット類はステンレス製(SUS304)、又は溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT49)とする。            2) 屋外及びビット内、多湿箇所の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製(SUS304)、又は溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT49)とする。            3) 屋外及びビット内、多湿箇所に使用する鋼材類はステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT49)とする。            4) ナット、架台の異種金属接合の際は絶縁を施すこと。</p>																																																																																																																												
29	締め付けマキنگ	<p>機器類の取付けに用いるナットは、適正トルク値で締め付け、規定であることを確認し、印をつける。</p>																																																																																																																												
30	地中埋設標	<p>標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。            ＊ 標準図（機材2）による。</p>																																																																																																																												
31	配管名等の表示方法	<p>配管ダクト類            1) 配管及びダクトの用途、系統及び流れ方向を表示する。            2) 弁には7mm札を取り付けて用途を明記する。            3) 貼付表示する場合は、耐候性のある材料を使用する。</p> <p>機器類            1) エアコン室外機には系統名及び機器番号、設置年月を明記する。            2) 水槽類には有効容量、設置年月を明記する。            3) 貼付表示する場合は、耐候性のある材料を使用し、日本語は10cm×10cm、英数字は10cm×5cm程度とする。</p>																																																																																																																												
32	機器操作要領の説明板	<p>1) 機器の運転操作要領及び取扱以上の留意事項を7mm板（白地に）黒及び朱色の文字で書く。            2) 板の大きさ及び文量は監督職員の承諾を受ける。</p>																																																																																																																												
33	負担金	<p>工事負担金は、本工事とする。            ・ 水道 円（内消費税相当額 円）            ・ ガス 円（内消費税相当額 円）            ・ 下水道 円</p>																																																																																																																												
34	関連他工事	<p>・            ・</p>																																																																																																																												
35	他工事との取り合い	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工 事 内 容</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>( ) 工 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">機器の基礎</td> <td>設備機器の基礎</td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>架台、アークメカ 図示した基礎</td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">開 口 部</td> <td>梁、床、壁、貫通パイプ</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>上記開口部の補強</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>経量経着下地、壁、天井ボード類の切込</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>埋込形消火栓等の型枠</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">点 検 口</td> <td>上記開口部の補強</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>パイプの穴埋め（壁等の穴埋めを含む）</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防 油 堤</td> <td>点検口</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>外部取付パイプ</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">配 管 ・ 配 線</td> <td>防 油 堤</td> <td>*</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>電線種</td> <td>配線・機器取付</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤等への電源供給配管配線（1次側）</td> <td>配管</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤以降の2次側の配管（接地共）</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤以降の2次側の配線（接地共）</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>空調機、全館空調機以外の機器</td> <td>付属取付台との取り配線</td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">そ の 他</td> <td>付属取付台</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>付属取付台の埋込パイプ</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別パイプの室内機、室外機との取り配線（接地共）</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発電設備の燃料配管</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> </tr> </tbody> </table> <p>操作、制御回路は（＊ 一括警報用無電圧端子付とする）</p>											工 事 内 容					( ) 工 事	機器の基礎	設備機器の基礎		*		*	架台、アークメカ 図示した基礎		*		*	開 口 部	梁、床、壁、貫通パイプ			*	*	上記開口部の補強			*	*	経量経着下地、壁、天井ボード類の切込			*	*	埋込形消火栓等の型枠	*		*	*	点 検 口	上記開口部の補強	*		*	*	パイプの穴埋め（壁等の穴埋めを含む）	*		*	*	防 油 堤	点検口	*		*	*	外部取付パイプ	*		*	*	配 管 ・ 配 線	防 油 堤	*		*	*	電線種	配線・機器取付		*	*	機器付属の制御盤等への電源供給配管配線（1次側）	配管		*	*	機器付属の制御盤以降の2次側の配管（接地共）			*	*	機器付属の制御盤以降の2次側の配線（接地共）			*	*	空調機、全館空調機以外の機器	付属取付台との取り配線		*	*	そ の 他	付属取付台			*	*	付属取付台の埋込パイプ			*	*		個別パイプの室内機、室外機との取り配線（接地共）			*	*		発電設備の燃料配管			*	*
工 事 内 容					( ) 工 事																																																																																																																									
機器の基礎	設備機器の基礎		*		*																																																																																																																									
	架台、アークメカ 図示した基礎		*		*																																																																																																																									
開 口 部	梁、床、壁、貫通パイプ			*	*																																																																																																																									
	上記開口部の補強			*	*																																																																																																																									
	経量経着下地、壁、天井ボード類の切込			*	*																																																																																																																									
	埋込形消火栓等の型枠	*		*	*																																																																																																																									
点 検 口	上記開口部の補強	*		*	*																																																																																																																									
	パイプの穴埋め（壁等の穴埋めを含む）	*		*	*																																																																																																																									
防 油 堤	点検口	*		*	*																																																																																																																									
	外部取付パイプ	*		*	*																																																																																																																									
配 管 ・ 配 線	防 油 堤	*		*	*																																																																																																																									
	電線種	配線・機器取付		*	*																																																																																																																									
	機器付属の制御盤等への電源供給配管配線（1次側）	配管		*	*																																																																																																																									
	機器付属の制御盤以降の2次側の配管（接地共）			*	*																																																																																																																									
	機器付属の制御盤以降の2次側の配線（接地共）			*	*																																																																																																																									
	空調機、全館空調機以外の機器	付属取付台との取り配線		*	*																																																																																																																									
そ の 他	付属取付台			*	*																																																																																																																									
	付属取付台の埋込パイプ			*	*																																																																																																																									
	個別パイプの室内機、室外機との取り配線（接地共）			*	*																																																																																																																									
	発電設備の燃料配管			*	*																																																																																																																									
36	特定元方事業者の指名	<p>下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。            ・ 関連他工事の発注者（ ）            ・ 本工事の発注者</p>																																																																																																																												
37	施工図及び施工計画書	<p>提出した施工図及び施工計画書に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。</p>																																																																																																																												
38	土工	<p>1) 埋戻しの種別            ○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種            ・ (材料: 工法: )            2) 建設発生土の処理            ・ 構内指定場所に敷ならし            ・ 構内指定場所に堆積            ○ 特記仕様書による            3) 山留め            工法等 ( )            残置 ・ する * しない            鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充てんする</p>																																																																																																																												
39	はつり工事等	<p>1) 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダクトメカによる。            2) はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。原則として探査方法は走査式埋設物調査（電磁誘導法または電磁波レー法）とする。            注) 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。</p>																																																																																																																												
40	事前調査	<p>受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の提示及び所管労働基準監督署長並びに都道府県知事等への報告を行うこと。            （大気汚染防止法第18条の15、石綿障害予防規則第3条及び第4条の2）            石綿分析結果報告書の貸与            ・ 有 事前調査箇所            ・ ( )            ・ 図示による            ・ 無            ・ 分析調査（定性分析）を行い、結果を報告する。            ・ 試料採取箇所 ( ) 試料数 ( )            ・ 図示による</p>																																																																																																																												
41	施工計画調査	<p>分析調査            ・ 塗膜塗料に含まれる有害物質            現場にてサンプル採取し、分析を行う。            有害物質の種類 ・ PCB ・ 鉛 ・ カドミウム            採取場所 ( )            採取箇所数 ( )</p>																																																																																																																												
42	施工調査	<p>1) 本工事の施工計画に先立ち事前調査を行う。            2) 事前調査後速やかに調査結果をまとめ監督職員に報告書を提出する。            3) 調査結果を考慮し施工計画書、施工図を作成する。</p>																																																																																																																												
43	木製安全施設製品（県産木材製品）	<p>＊ 工事用看板            （表示板1,400mm×500mm用） 2台            ＊ 工事用パイプ            5台            ・ 工事用標示板            （表示板1,400mm×1,100mm用） 台            (注) 取扱いは「建築工事における県産木材を使用した工事用看板等の使用に係る運用の一部改定について（通知）」（営繕課HP掲載）による</p>																																																																																																																												
2	1 配管材料	<p>1) 給水            ・ 水道用硬質塩化ビニルパイプ鋼管 (SGP-VA) (JWWA K 116)            ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)            ・ 給水用高密度ホリフレイン管 (JWWA K 144)            ・            2) 冷温水            ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)            ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP白) (JIS G 3452)            ・ 架橋ホリフレイン管 (JIS K 6769)            ・ ホリブレン管 (JIS K 6778)            (注) 架橋ホリフレイン管及びホリブレン管はファンコイルユニット機器接続部のみを使用する。            ・ 空調配管用高性能ホリフレイン管 (NETIS登録品)            ・            3) 冷却水            ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)            ・ 水道用硬質塩化ビニルパイプ鋼管 (SGP-VA) (JWWA K 116)            ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP白) (JIS G 3452)            ・ 給水用高密度ホリフレイン管 (JWWA K 144)            ・            4) 油            ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP黒) (JIS G 3452)            ・ ホリフレイン被覆鋼管 (JIS G 3469)            ・            5) 冷媒            ○ 冷媒用断熱材被覆鋼管 (ホリフレイン保温材 (難燃性)) (JCDA 0009)            ・            6) ドレン            ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP白) (JIS G 3452)            ○ 硬質ホリ塩化ビニル管 (VP) (JIS K 6741)            ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管            ・</p>																																																																																																																												
4	1 多機能トイレ	<p>1) 島根県ひとにやさしいまちづくり条例施設整備マニュアルによる。            2) リモコン等の配置はJIS S 0026による。</p>																																																																																																																												
4	2 洋風大便器	<p>洗浄方式            ○ 電気開閉式 セナ式 ( ・ AC電源 ・ 自己発電 ○ 乾電池 )            ○ 電気開閉式 タグスイッチ式 ( ・ AC電源 ○ 自己発電 ・ 乾電池 )            ・ 手動式</p>																																																																																																																												
4	3 小便器	<p>1) 据付方式            ○ 壁掛型 (低リブ) ・ 床置型            2) 洗浄方式            ○ 電気開閉式 ( ・ AC電源 ○ 自己発電 ・ 乾電池 )            ・ 手動式</p>																																																																																																																												
図面番号	工 事 名						図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者																																																																																																																				
MO2	高齢者等福祉施設整備工事						特記仕様書2	N/S	R8.06																																																																																																																					
機械										設計者																																																																																																																				



凡例  
 : 今回工事対象建築物を示す。



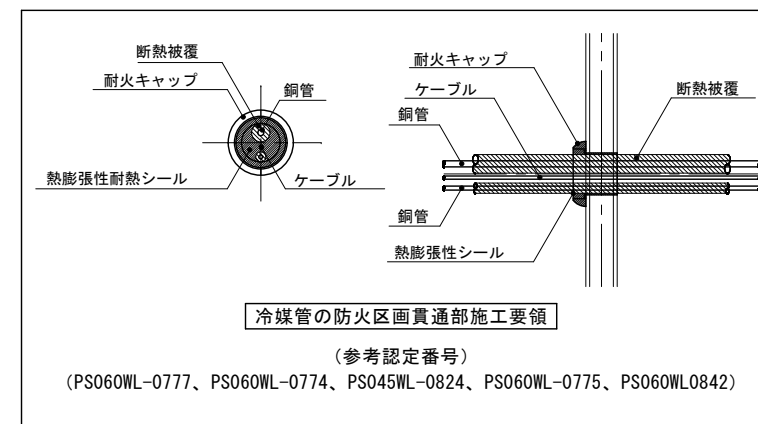
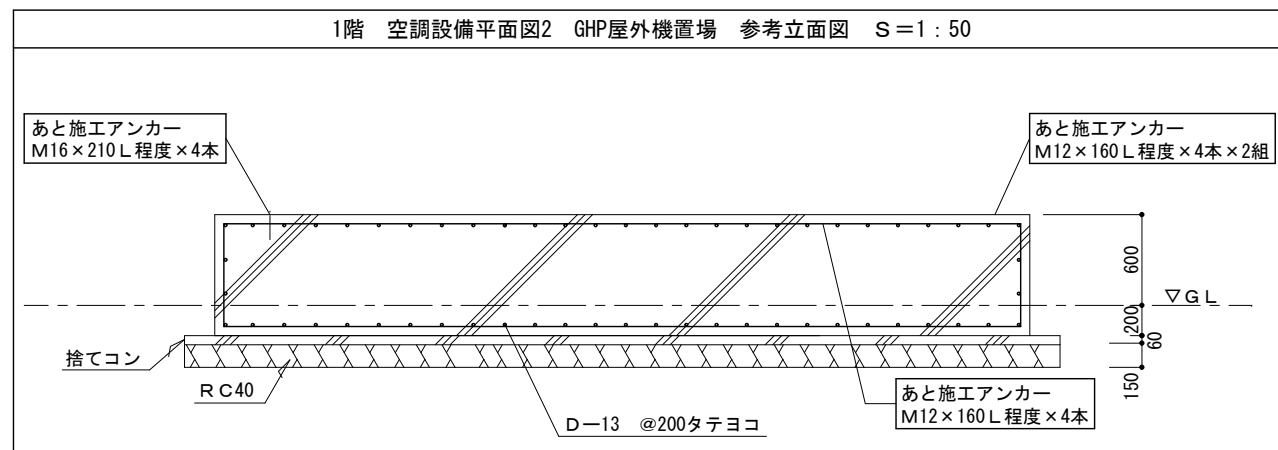
配置図 S=1:1000

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M04	高齢者等福祉施設整備工事	全体配置図	1:1000	R8.06	
機械					設計者

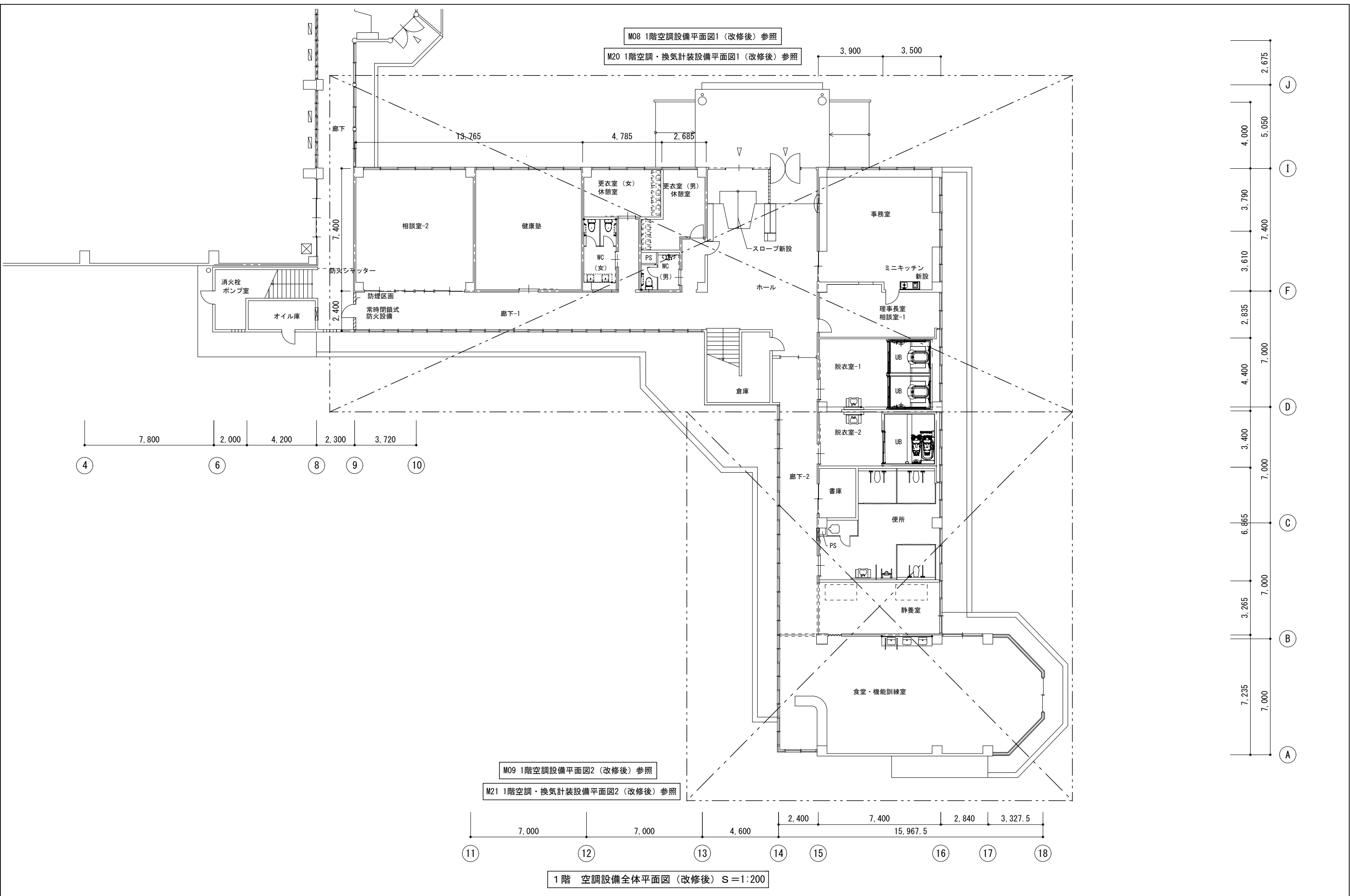
空調機器リスト1 (改修後)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
ⓖⓗⓔ 1	マルチパッケージ形 空調和機 (屋外機)	駆動方式: ガスエンジン 冷房能力: 45.0kW 暖房能力: 50.0kW (P450形) 燃 料: L P G 消費量: (冷) 36.4kW / (暖) 34.9kW 付 属 品: 防雪フード (S U S 製・吹出口のみ)	1	200	(冷) 1.14 (暖) 0.51	1	室外機置場	
ⓖⓗⓔ 1-1	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 11.2kW 暖房能力: 12.5kW (P112形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/2台)	1	200	(冷) 0.10 (暖) 0.09	2	1F 食堂・機能訓練室	
ⓖⓗⓔ 1-2	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット2方向吹出形 冷房能力: 7.1kW 暖房能力: 8.0kW (P71形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/1台)	1	200	(冷) 0.04 (暖) 0.04	1	1F 静養室	
ⓖⓗⓔ 1-3	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 14.0kW 暖房能力: 16.0kW (P140形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/1台)	1	200	(冷) 0.10 (暖) 0.10	1	1F 便所	
ⓖⓗⓔ 2	マルチパッケージ形 空調和機 (屋外機)	駆動方式: ガスエンジン 冷房能力: 56.0kW 暖房能力: 63.0kW (P560形) 燃 料: L P G 消費量: (冷) 45.3kW / (暖) 43.3kW 付 属 品: 防雪フード (S U S 製・吹出口のみ)	1	200	(冷) 1.24 (暖) 0.74	1	室外機置場	
ⓖⓗⓔ 2-1	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット2方向吹出形 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/1台)	1	200	(冷) 0.03 (暖) 0.03	1	1F 相談室1・理事長室	
ⓖⓗⓔ 2-2	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 8.0kW 暖房能力: 9.0kW (P80形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/2台)	1	200	(冷) 0.04 (暖) 0.04	2	1F 事務室	
ⓖⓗⓔ 2-3	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 4.5kW 暖房能力: 5.0kW (P45形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (2個/4台)	1	200	(冷) 0.02 (暖) 0.02	4	1F 健康塾×2 相談室-2×2	
ⓖⓗⓔ 3	マルチパッケージ形 空調和機 (屋外機)	駆動方式: ガスエンジン 冷房能力: 28.0kW 暖房能力: 31.5kW (P280形) 燃 料: L P G 消費量: (冷) 30.2kW / (暖) 26.5kW 付 属 品: 防雪フード (S U S 製・吹出口のみ)	1	200	(冷) 0.65 (暖) 0.41	1	室外機置場	
ⓖⓗⓔ 3-1	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット2方向吹出形 冷房能力: 9.0kW 暖房能力: 10.0kW (P90形)	1	200	(冷) 0.06 (暖) 0.06	3	1F 廊下 (デイサービス)	
ⓖⓗⓔ 4	マルチパッケージ形 空調和機 (屋外機)	駆動方式: ガスエンジン 冷房能力: 56.0kW 暖房能力: 63.0kW (P560形) 燃 料: L P G 消費量: (冷) 45.3kW / (暖) 43.3kW 付 属 品: 防雪フード (S U S 製・吹出口のみ)	1	200	(冷) 1.24 (暖) 0.74	1	室外機置場	
ⓖⓗⓔ 4-1	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 8.0kW 暖房能力: 9.0kW (P80形)	1	200	(冷) 0.04 (暖) 0.04	1	1F ホール (CH2800)	
ⓖⓗⓔ 4-2	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット4方向吹出形 冷房能力: 9.0kW 暖房能力: 10.0kW (P90形)	1	200	(冷) 0.04 (暖) 0.04	1	1F ホール (CH6550)	
ⓖⓗⓔ 4-3	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井カセット2方向吹出形 冷房能力: 8.0kW 暖房能力: 9.0kW (P80形)	1	200	(冷) 0.05 (暖) 0.05	3	1F 廊下 (健康塾)	
ⓖⓗⓔ 5-1	マルチパッケージ形 空調和機 (室内機)	形 式: 天井吊形 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56形) 付 属 品: ワイヤードリモコン (1個/2台)	1	200	(冷) 0.04 (暖) 0.04	2	2F 理科室	

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	担 当 者	設計者
M05	高齢者等福祉施設整備工事	空調機器リスト1	N/S	R8.06		
機械						

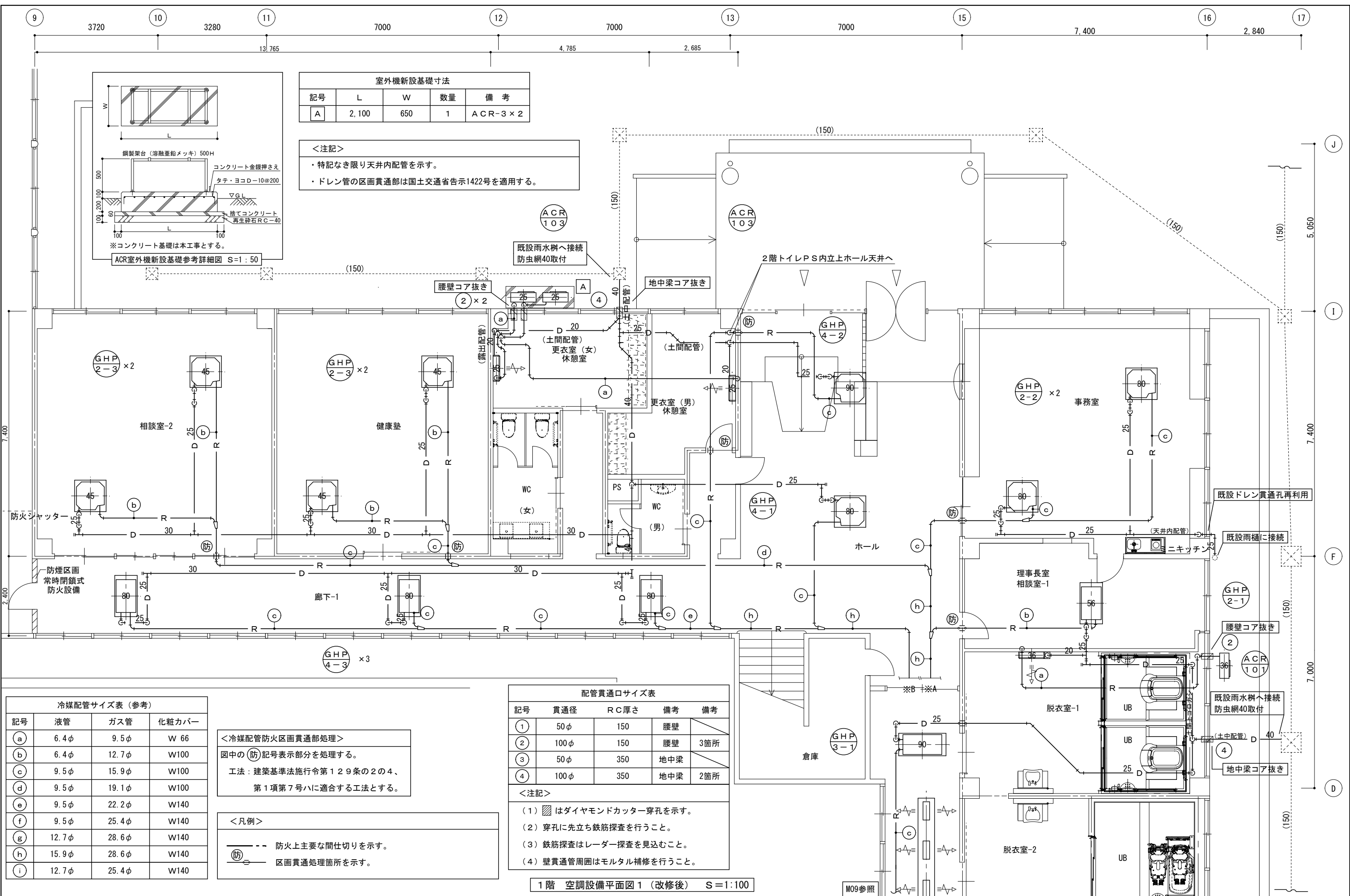
空調機器リスト2 (改修後)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
GHP OAC	マルチパッケージ形 空調機と機外気処理 (室外機)	駆動方式：ガスエンジン 冷房能力：28.0kW 暖房能力：31.5kW (P280形) 燃料：LPG 消費量：(冷)30.2kW/(暖)26.5kW 付属品：防雪フード(SUS製・吹出口のみ)	1	200	(冷)0.65 (暖)0.41	1	室外機置場	
GHP OAC	マルチパッケージ形 空調機と機外気処理 (室内機)	形式：天井埋込形外気処理ユニット・加湿機能付(自然気化式) 冷房能力：28.0kW 暖房能力：26.5kW 送風機：0.4kW 付属品：ワイヤードリモコン(1個/1台)・防振吊金具	1	200	(冷)0.79 (暖)0.79	1	1F廊下	
ACR 101	ルームエアコン (寒冷地仕様)	形式：空気熱源ヒートポンプ・室内機：壁掛形 冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.8kW 付属品：ワイヤードリモコン、リモコンホルダ、防振ゴム、ドレンアップメカ、鋼製架台(500H・溶融亜鉛メッキ)	1	200	(冷)1.07 (暖)1.10	1	1F脱衣室-1	
ACR 102	ルームエアコン (寒冷地仕様)	形式：空気熱源ヒートポンプ・室内機：壁掛形 冷房能力：2.2kW 暖房能力：2.8kW 付属品：ワイヤードリモコン、リモコンホルダ、防振ゴム、ドレンアップメカ、鋼製架台(500H・溶融亜鉛メッキ)	1	100	(冷)0.45 (暖)0.53	1	1F脱衣室-2	
ACR 103	ルームエアコン (寒冷地仕様)	形式：空気熱源ヒートポンプ・室内機：壁掛形 冷房能力：2.5kW 暖房能力：3.2kW 付属品：ワイヤードリモコン、リモコンホルダ、防振ゴム、鋼製架台(500H・溶融亜鉛メッキ)	1	100	(冷)0.53 (暖)0.63	2	1F更衣室・休憩室(男) 1F更衣室・休憩室(女)	
	GHP用集中コントローラー	形式：集中管理コントローラー、ON/OFFコントローラー、温度設定、風量設定、タイマー運転 付属品：	1	100		1	1F事務室	
<注記>								
(1) 機器はメーカー標準仕様とする。 (2) ガスエンジン式マルチパッケージ形空調機の冷暖房能力、消費電力及び燃料消費量はJIS B 8627による。 (3) ルームエアコンの冷暖房能力及び消費電力はJIS C 9612条件による。 (4) GHP及びACR室内外連絡配線及びリモコン配線は本工事とし、配管及び取付BOXは別途電気設備工事とする。								



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
MO6	高齢者等福祉施設整備工事	空調機器リスト2	N/S	R8.06	
機械					設計者



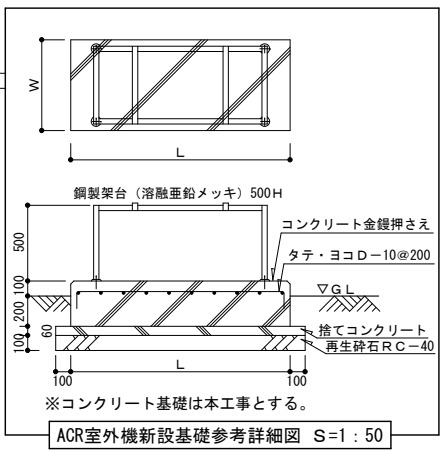
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M07	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調設備 全体平面図 (改修後)	1:200	R8.06	
機械					



室外機新設基礎寸法

記号	L	W	数量	備考
A	2,100	650	1	ACR-3×2

<注記>  
 ・特記なき限り天井内配管を示す。  
 ・ドレン管の区画貫通部は国土交通省告示1422号を適用する。



ACR 103

ACR 103

GHP 2-1

GHP 3-1

冷媒配管サイズ表 (参考)

記号	液管	ガス管	化粧カバー
(a)	6.4φ	9.5φ	W 66
(b)	6.4φ	12.7φ	W100
(c)	9.5φ	15.9φ	W100
(d)	9.5φ	19.1φ	W100
(e)	9.5φ	22.2φ	W140
(f)	9.5φ	25.4φ	W140
(g)	12.7φ	28.6φ	W140
(h)	15.9φ	28.6φ	W140
(i)	12.7φ	25.4φ	W140

<冷媒配管防火区画貫通部処理>  
 図中の(防)記号表示部分を処理する。  
 工法：建築基準法施行令第129条の2の4、  
 第1項第7号ハに適合する工法とする。

<凡例>  
 - - - 防火上主要な間仕切りを示す。  
 (防) 区画貫通処理箇所を示す。

配管貫通口サイズ表

記号	貫通径	RC厚さ	備考	備考
①	50φ	150	腰壁	
②	100φ	150	腰壁	3箇所
③	50φ	350	地中梁	
④	100φ	350	地中梁	2箇所

<注記>  
 (1) 斜線はダイヤモンドカッター穿孔を示す。  
 (2) 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。  
 (3) 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。  
 (4) 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

1階 空調設備平面図1 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
MO8 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調設備平面図1 (改修後)	1:100	R8.06	設計者

<屋外>	
SUS製深形フード	
φ200用(防虫網付)	5

<廊下-2>	
OA	525m <sup>3</sup> /h
VHS	200×550
	4

配管貫通口サイズ表				
記号	貫通径	RC厚さ	備考	備考
①	50φ	150	腰壁	
②	100φ	150	腰壁	1箇所
③	50φ	350	地中梁	
④	100φ	350	地中梁	1箇所
⑤	210φ	150	上部壁	5箇所

<注記>

(1) はダイヤモンドカッター穿孔を示す。  
 (2) 穿孔に先立ち鉄筋探索を行うこと。  
 (3) 鉄筋探索はレーダー探索を見込むこと。  
 (4) 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

室外機新設基礎寸法				
記号	L	W	数量	備考
B	10,000	1,650	1	GHP室外機置場

冷媒配管サイズ表(参考)			
記号	液管	ガス管	化粧カバー
a	6.4φ	9.5φ	W66
b	6.4φ	12.7φ	W100
c	9.5φ	15.9φ	W100
d	9.5φ	19.1φ	W100
e	9.5φ	22.2φ	W140
f	9.5φ	25.4φ	W140
g	12.7φ	28.6φ	W140
h	15.9φ	28.6φ	W140
i	12.7φ	25.4φ	W140

外調機OA取入口  
 廊下天井~梁下有効H=250

<冷媒配管防火区画貫通部処理>

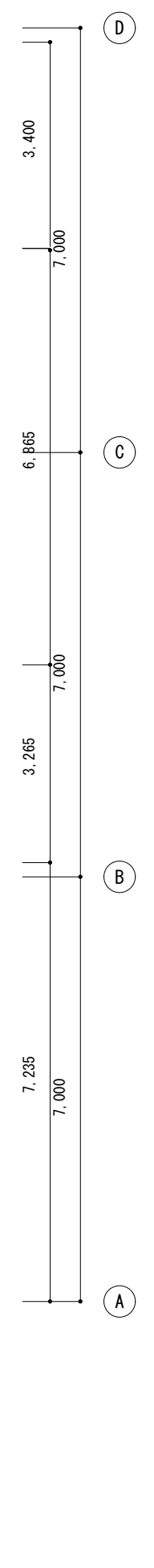
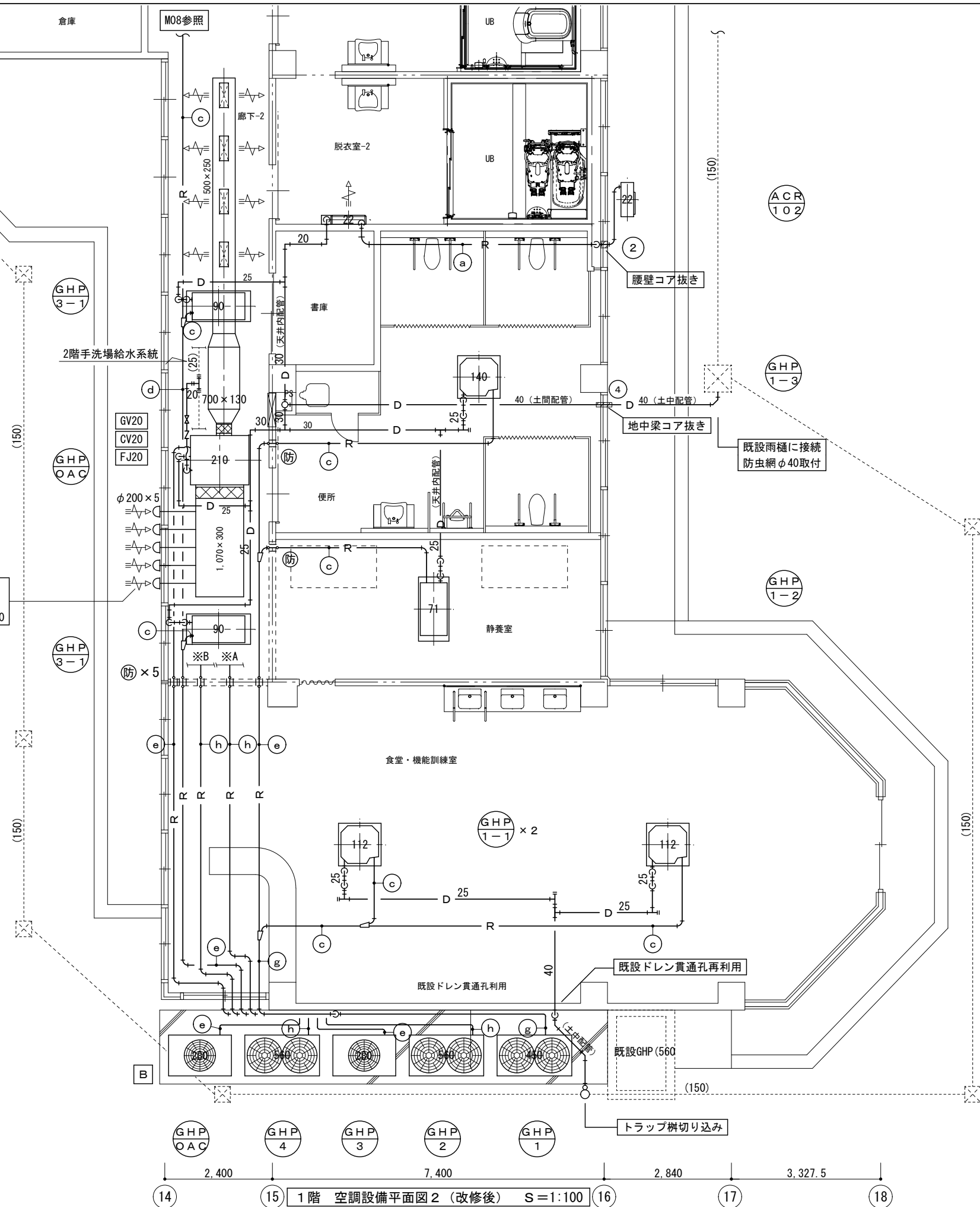
図中の(防)記号表示部分を処理する。  
 工法: 建築基準法施行令第129条の2の4、  
 第1項第7号ハに適合する工法とする。

<注記>

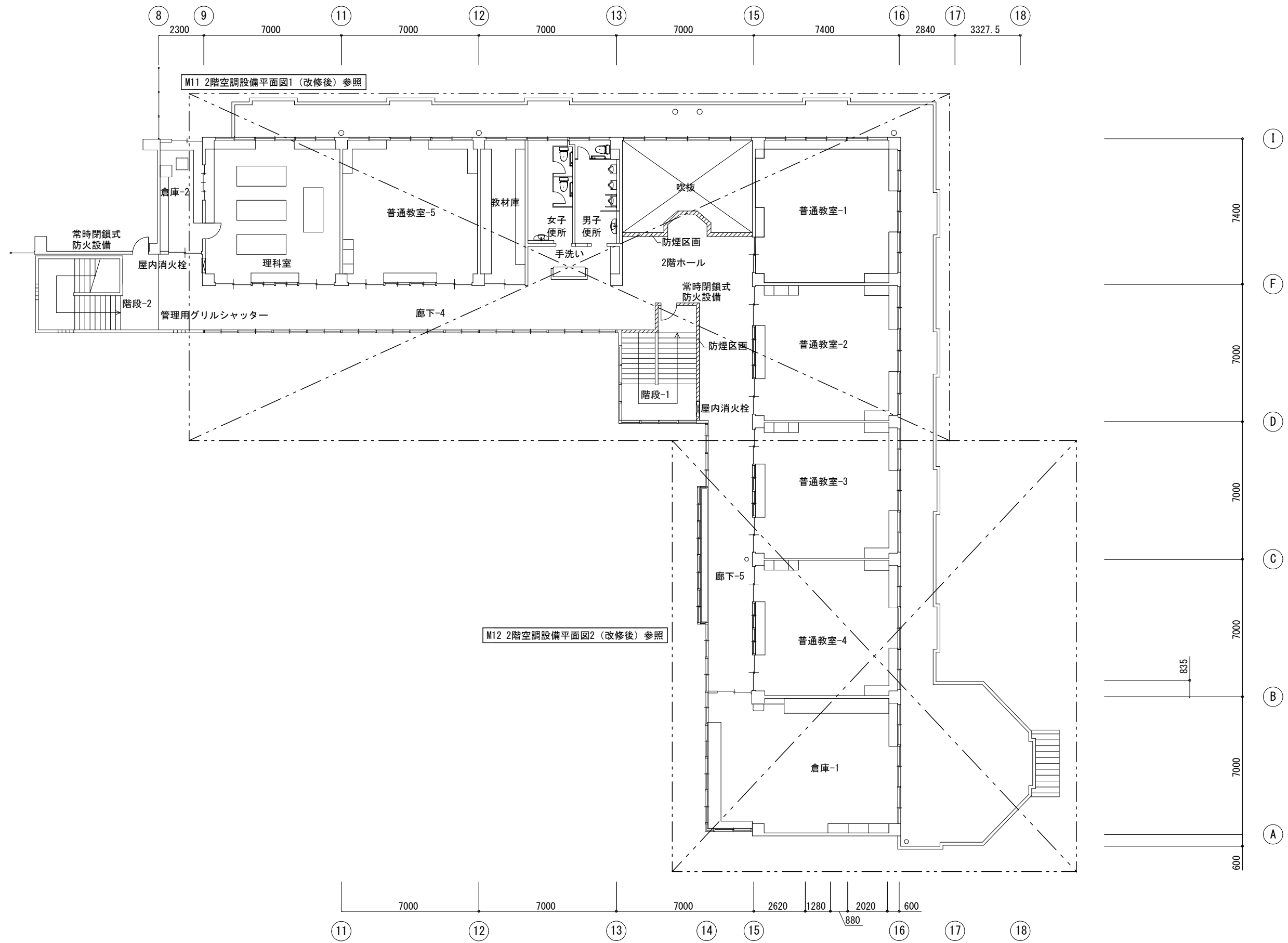
・特記なき限り天井内配管を示す。  
 ・ドレン管の区画貫通部は国土交通省告示1422号を適用する。

<凡例>

--- 防火上主要な間仕切りを示す。  
 (防) 区画貫通処理箇所を示す。

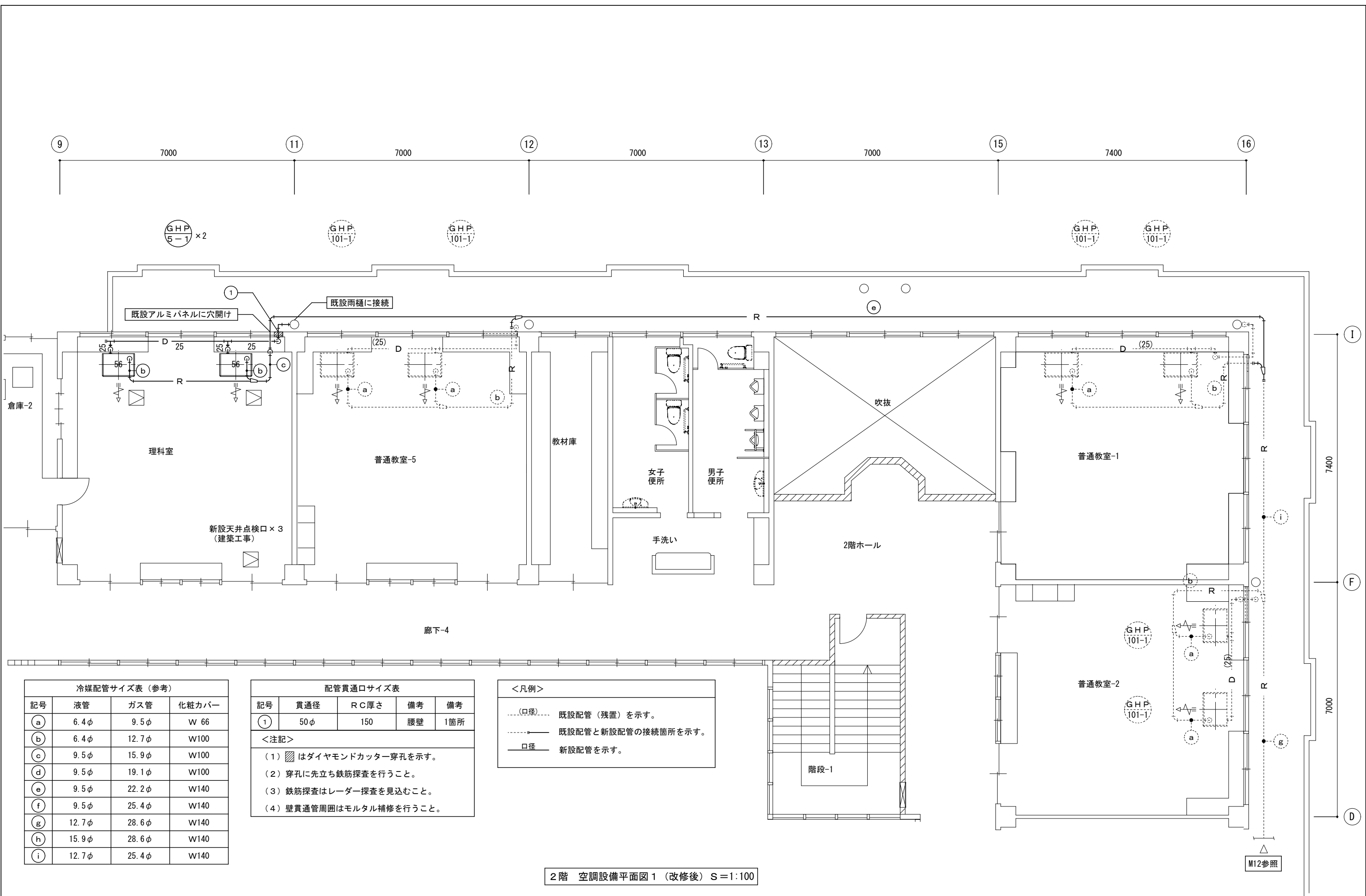


図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M09	高齢者等福祉施設整備工事	1階空調設備平面図2(改修後)	1:100	R8.06	
機械					設計者



2階 空調設備全体平面図 (改修後) S=1:200

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M10	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備 全体平面図 (改修後)	1:200	R8.06	設計者
機械					



記号	液管	ガス管	化粧カバー
(a)	6.4φ	9.5φ	W 66
(b)	6.4φ	12.7φ	W100
(c)	9.5φ	15.9φ	W100
(d)	9.5φ	19.1φ	W100
(e)	9.5φ	22.2φ	W140
(f)	9.5φ	25.4φ	W140
(g)	12.7φ	28.6φ	W140
(h)	15.9φ	28.6φ	W140
(i)	12.7φ	25.4φ	W140

記号	貫通径	R C厚さ	備考	備考
(1)	50φ	150	腰壁	1箇所

<注記>

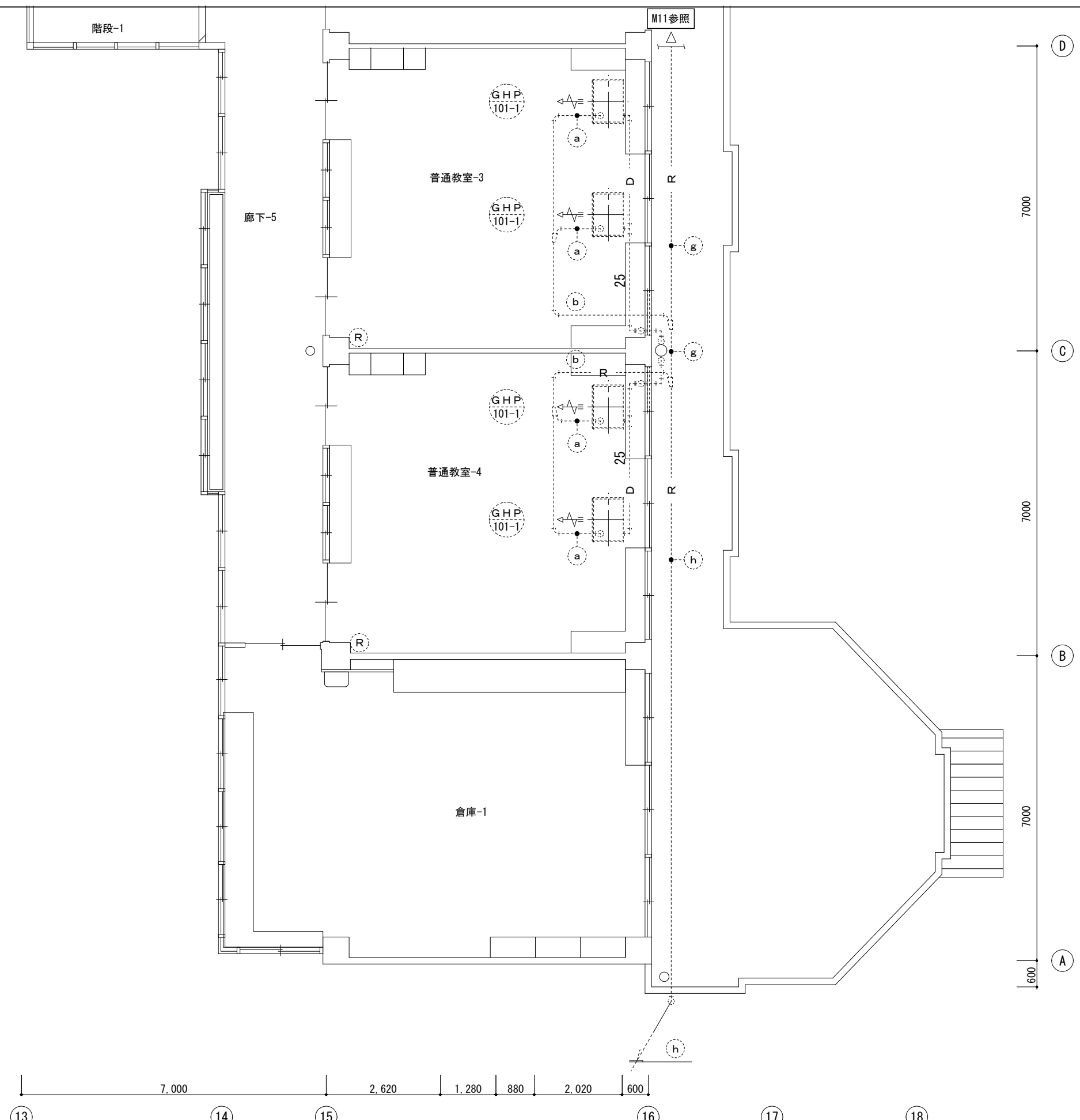
- (1) はダイヤモンドカッター穿孔を示す。
- 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。
- 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。
- 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

<凡例>

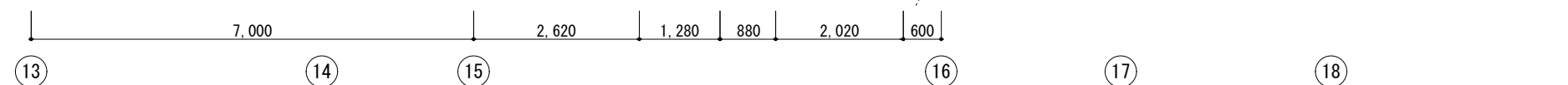
- (口径)--- 既設配管(残置)を示す。
- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- 口径 — 新設配管を示す。

2階 空調設備平面図1 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M11	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備平面図1 (改修後)	1:100	R8.06	設計者
機械					



冷媒配管サイズ表 (参考)			
記号	液管	ガス管	化粧カバー
(a)	6.4φ	9.5φ	W 66
(b)	6.4φ	12.7φ	W100
(c)	9.5φ	15.9φ	W100
(d)	9.5φ	19.1φ	W100
(e)	9.5φ	22.2φ	W140
(f)	9.5φ	25.4φ	W140
(g)	12.7φ	28.6φ	W140
(h)	15.9φ	28.6φ	W140
(i)	12.7φ	25.4φ	W140



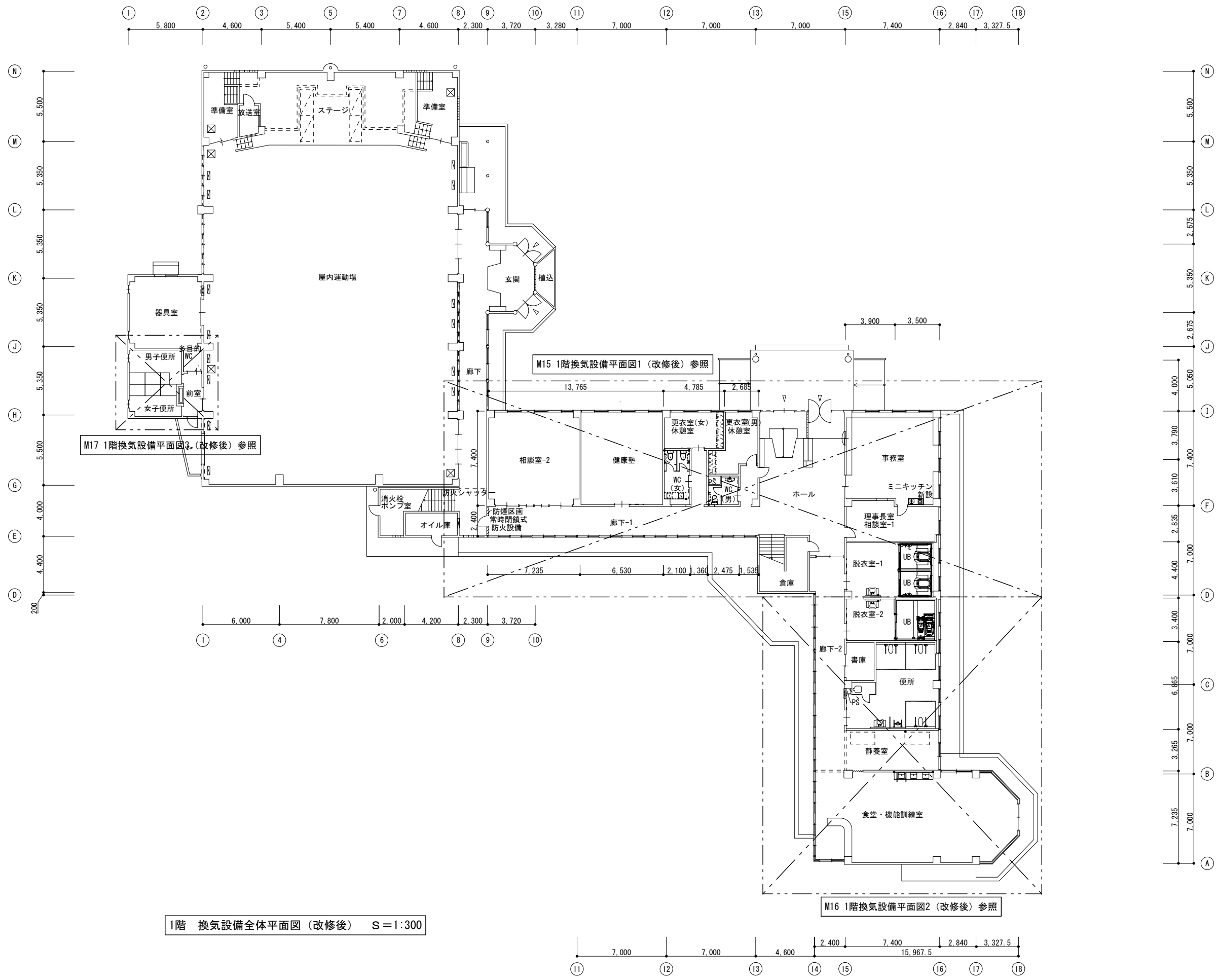
2階 空調設備平面図2 (改修後) S=1:100

※今回工事において本図範囲での改修対象はなし

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M12	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備平面図2 (改修後)	1:100	R8.06	設計者
機械					

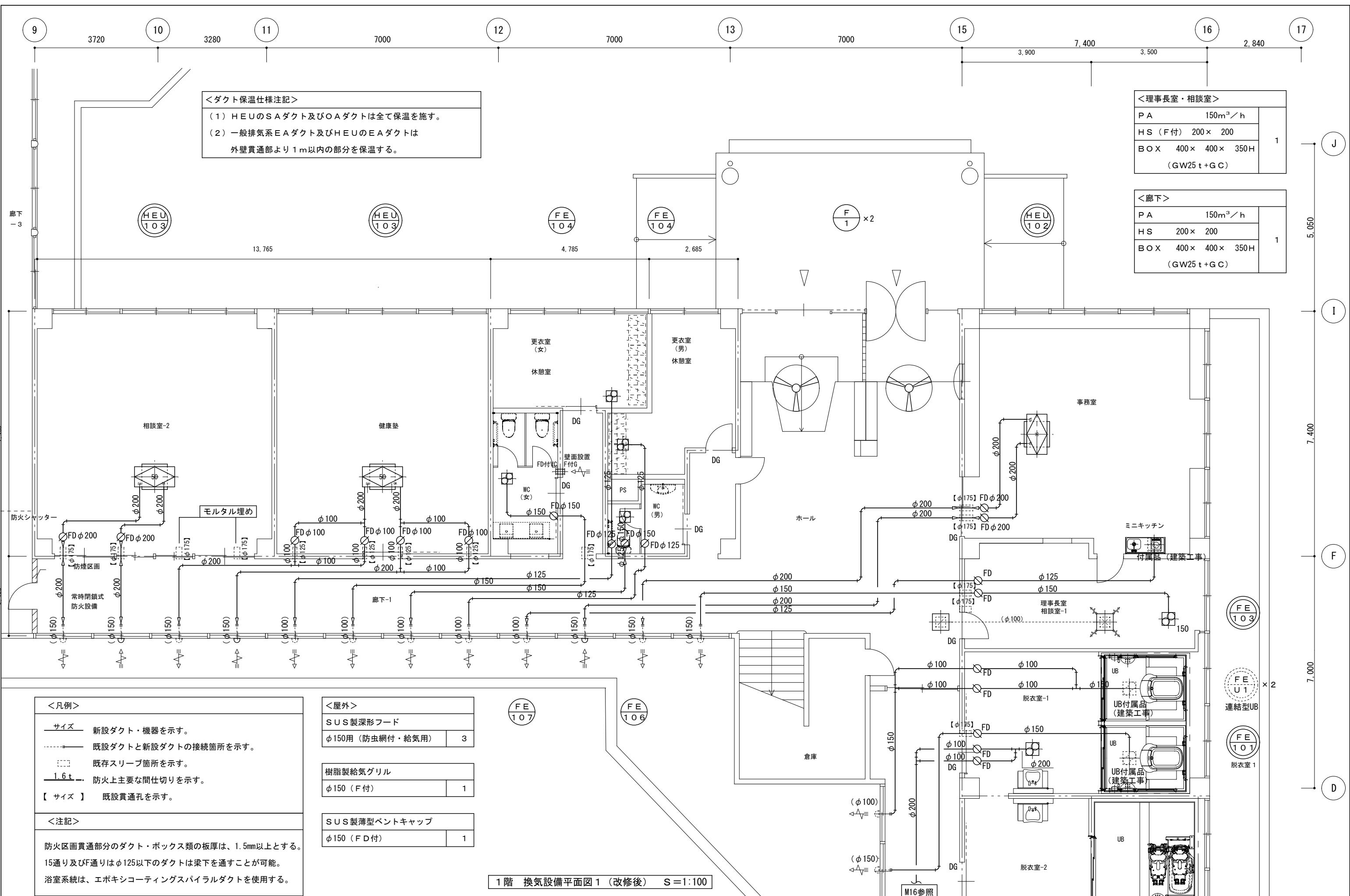
換気機器リスト (改修後)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
HEU 101	全熱交換ユニット	形式:天吊埋込形(DCモーター・マイコンタイプ) 処理風量:450m <sup>3</sup> /h・機外静圧:100Pa・全熱交換効率(冷房)65%以上(暖房)75%以上 付属品:防振吊金具・ワイヤードリモコン	1	100	510W (消費)	1	1F食堂・機能訓練棟室	LGH-N65RXW3(三菱電機)同等品
HEU 102	全熱交換ユニット	形式:天吊カセット形(マイコンタイプ) 処理風量:300m <sup>3</sup> /h・機外静圧:100Pa・全熱交換効率(冷房)65%以上(暖房)75%以上 付属品:防振吊金具・ワイヤードリモコン	1	100	190W (消費)	1	1F事務室	LGH-N35CX3(三菱電機)同等品
HEU 103	全熱交換ユニット	形式:天吊カセット形(マイコンタイプ) 処理風量:360m <sup>3</sup> /h・機外静圧:100Pa・全熱交換効率(冷房)65%以上(暖房)70%以上 付属品:防振吊金具・ワイヤードリモコン	1	100	250W (消費)	2	1F健康塾・相談室-2	LGH-N50CX3(三菱電機)同等品
FE 101	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ150 処理風量:250m <sup>3</sup> /h・機外静圧:60Pa 付属品:天吊金具	1	100	50W (消費)	1	1F脱衣室-1	VD-20ZC14(三菱電機)同等品
FE 102	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ150 処理風量:180m <sup>3</sup> /h・機外静圧:60Pa 付属品:天吊金具	1	100	30W (消費)	1	1F脱衣室-2	VD-18ZC14(三菱電機)同等品
FE 103	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:150m <sup>3</sup> /h・機外静圧:40Pa 付属品:天吊金具	1	100	20W (消費)	1	1F相談室-1・理事長室	VD-18ZVC7(三菱電機)同等品
FE 104	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:90m <sup>3</sup> /h・機外静圧:40Pa 付属品:天吊金具	1	100	20W (消費)	2	1F更衣室・休憩室(男) 1F更衣室・休憩室(女)	VD-13ZLC14-S(三菱電機)同等品
FE 105	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:100m <sup>3</sup> /h・機外静圧:40Pa 付属品:天吊金具	1	100	20W (消費)	1	1F書庫	VD-13ZC14(三菱電機)同等品
FE 106	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:150m <sup>3</sup> /h・機外静圧:20Pa 付属品:天吊金具	1	100	20W (消費)	1	1F男子便所	VD-15ZC14(三菱電機)同等品
FE 107	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:230m <sup>3</sup> /h・機外静圧:60Pa 付属品:天吊金具	1	100	50W (消費)	1	1F女子便所	VD-20ZC14(三菱電機)同等品
FE 108	有圧換気扇	形式:格子形(電気式シャッタータイプ)・羽根径:φ200 処理風量:90m <sup>3</sup> /h 付属品:パネル取付枠	1	100	20W (消費)	1	1F静養室	EX-20SC4(三菱電機)同等品
FE 109	有圧換気扇	形式:格子形(電気式シャッタータイプ)・羽根径:φ300 処理風量:1,180m <sup>3</sup> /h 付属品:パネル取付枠	1	100	50W (消費)	1	1F便所	EX-30SC4-S(三菱電機)同等品
F 1	天井サイクル扇	形式:天井取付形・羽根径:φ140 付属品:埋込形速度調節スイッチ(電気設備へ支給)	1	100	55W (消費)	2	1Fホール(CH6550)	C140-YB(三菱電機)同等品
FE U1	浴室天井換気扇 (建築工事)	形式:浴室換気乾燥暖房機(電気式シャッタータイプ)・羽根径:φ100 処理風量:80m <sup>3</sup> /h・機外静圧:20Pa 付属品:イオン発生機	1	100	10W (消費)	(4)	1F連結型UB×2 機械浴UB×2	BS-261H-CX-SH3(清水ホムテック)同等品
FE 201	有圧換気扇	形式:格子形(電気式シャッタータイプ)・羽根径:φ250 処理風量:300m <sup>3</sup> /h 付属品:パネル取付枠	1	100	40W (消費)	6	2F理科室 普通教室-1、2、3、4、5	EX-25SC4(三菱電機)同等品
FE 110	天井埋込換気扇	形式:低騒音形(サニタリ用)・接続ダクト:φ100 処理風量:80m <sup>3</sup> /h・機外静圧:40Pa 付属品:天吊金具	1	100	20W (消費)	1	屋内運動場多目的トイレ	VD-13ZC14(三菱電機)同等品
<注記>								
(1) 機器はメーカー標準仕様とする。 (2) 全熱交換器の全熱交換効率はJIS B 8628に規定された試験方法による。 (3) 換気ファンの電動機出力はJIS C 4213に規定された試験方法による。 (4) ワイヤードリモコン取付は別途自動制御設備工事とする。 (5) 換気機器のスイッチは24H換気であることを表示する(ただし、スイッチ取付は電気設備工事)。 (6) ◎は24H換気機器とする。								

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M13 機械	高齢者等福祉施設整備工事	換気設備リスト	N/S	R8.06		



1階 換気設備全体平面図 (改修後) S=1:300

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M14	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備 全体平面図 (改修後)	1:300	R8.06	
機械					



**<ダクト保温仕様注記>**  
 (1) HEUのSAダクト及びOAダクトは全て保温を施す。  
 (2) 一般排気系EAダクト及びHEUのEAダクトは  
 外壁貫通部より1m以内の部分を保温する。

**<理事長室・相談室>**

PA	150m <sup>2</sup> /h	1
HS (F付)	200 × 200	
BOX	400 × 400 × 350H (GW25 t + GC)	

**<廊下>**

PA	150m <sup>2</sup> /h	1
HS	200 × 200	
BOX	400 × 400 × 350H (GW25 t + GC)	

**<凡例>**

— サイズ — 新設ダクト・機器を示す。  
 - - - 既設ダクトと新設ダクトの接続箇所を示す。  
 [ ] 既存スリーブ箇所を示す。  
 1.6t 防火上主要な間仕切りを示す。  
 【 サイズ 】 既設貫通孔を示す。

**<注記>**

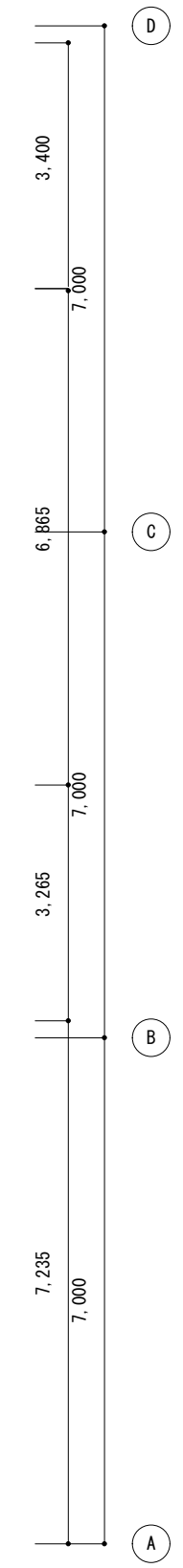
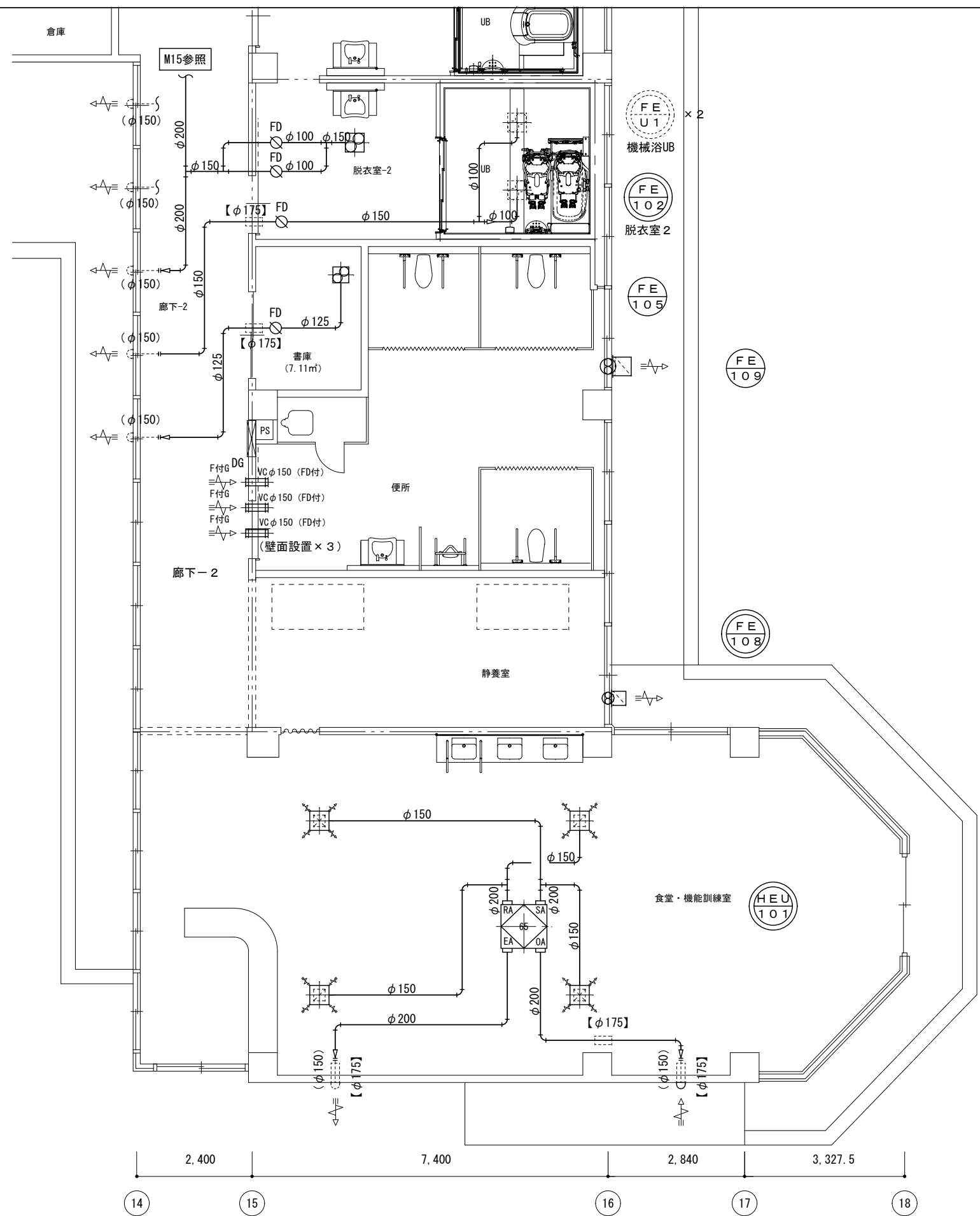
防火区画貫通部分のダクト・ボックス類の板厚は、1.5mm以上とする。  
 15通り及びF通りはφ125以下のダクトは梁下を通すことが可能。  
 浴室系統は、エポキシコーティングスパイラルダクトを使用する。

**<屋外>**

SUS製深形フード	φ150用 (防虫網付・給気用)	3
樹脂製給気グリル		φ150 (F付)
SUS製薄型ペントキャップ	φ150 (FD付)	1

1階 換気設備平面図1 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M15	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図1 (改修後)	1:100	R8.06	設計者
機械					



<凡例>

— サイズ — 新設ダクト・機器を示す。  
 - - - - 既存ダクトと新設ダクトの接続箇所を示す。  
 □ 既存スリーブ箇所を示す。  
 1.6 t 防火上主要な間仕切りを示す。  
 【 サイズ 】 既存貫通孔を示す。

<注記>

防火区画貫通部分のダクト・ボックス類の板厚は、1.5mm以上とする。  
 15通りはφ125以下のダクトは梁下を通すことが可能。  
 浴室系統は、エポキシコーティングスパイラルダクトを使用する。

<食堂・機能訓練室>		
SA	450m <sup>3</sup> /h	2
VHS	250 × 250	
BOX	450 × 450 × 400H (GW25 t + GC)	

<食堂・機能訓練室>		
RA	450m <sup>3</sup> /h	2
GVS (F付)	250 × 250	
BOX	450 × 450 × 400H (GW25 t + GC)	

<屋外>		
SUS製深形フード		
φ150用 (防虫網付・給気用)		1

<屋外>		
SUSウエザーカバー		
φ200用 (防鳥網付)		1
φ300用 (防鳥網付)		1

樹脂製給気グリル		
φ150 (F付)		3

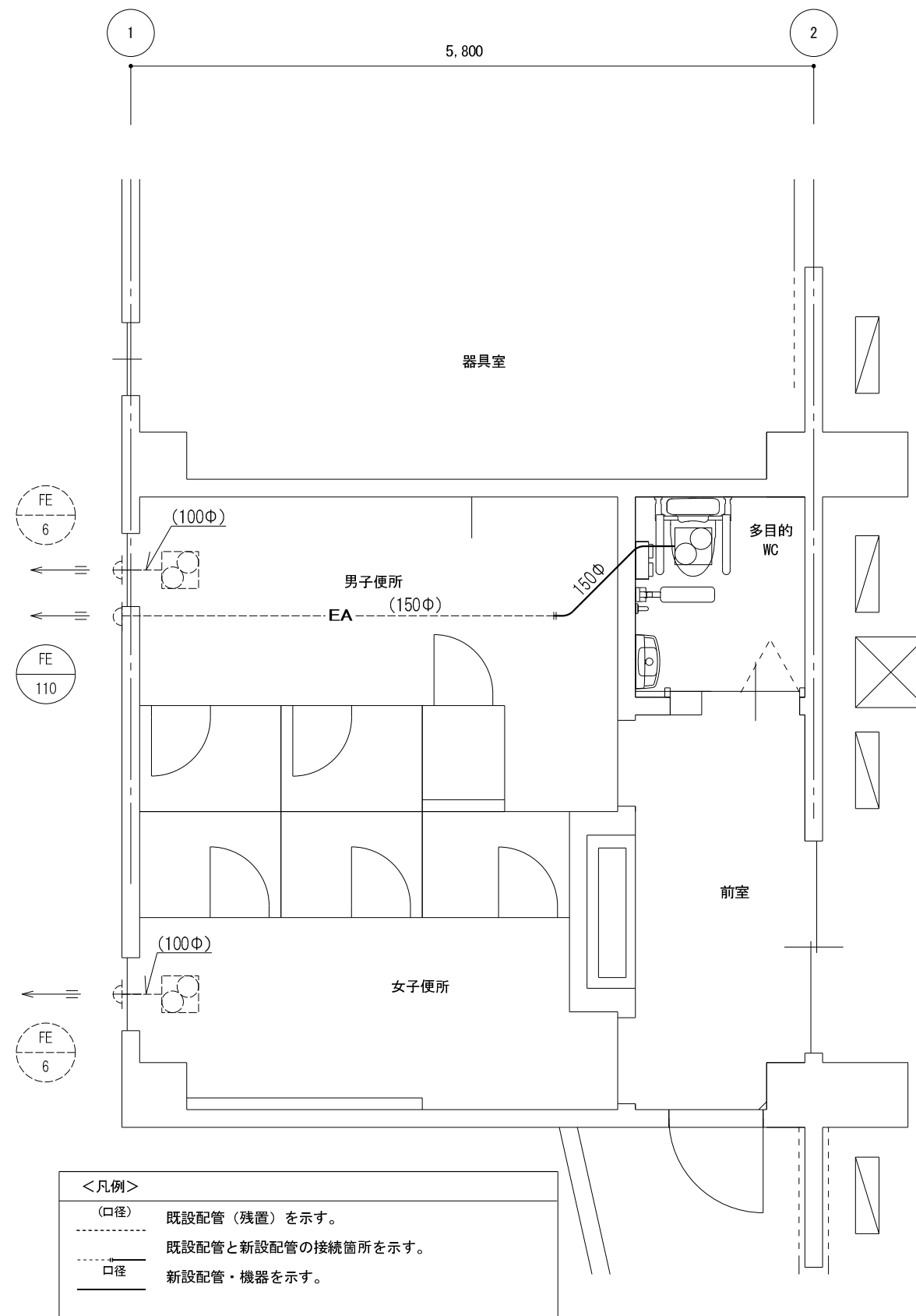
SUS製薄型ベントキャップ		
φ150 (FD付)		3

<ダクト保温仕様注記>

(1) HEUのSAダクト及びOAダクトは全て保温を施す。  
 (2) 一般排気系EAダクト及びHEUのEAダクトは  
 外壁貫通部より1m以内の部分保温する。

1階 換気設備平面図2 (改修後) S=1:100

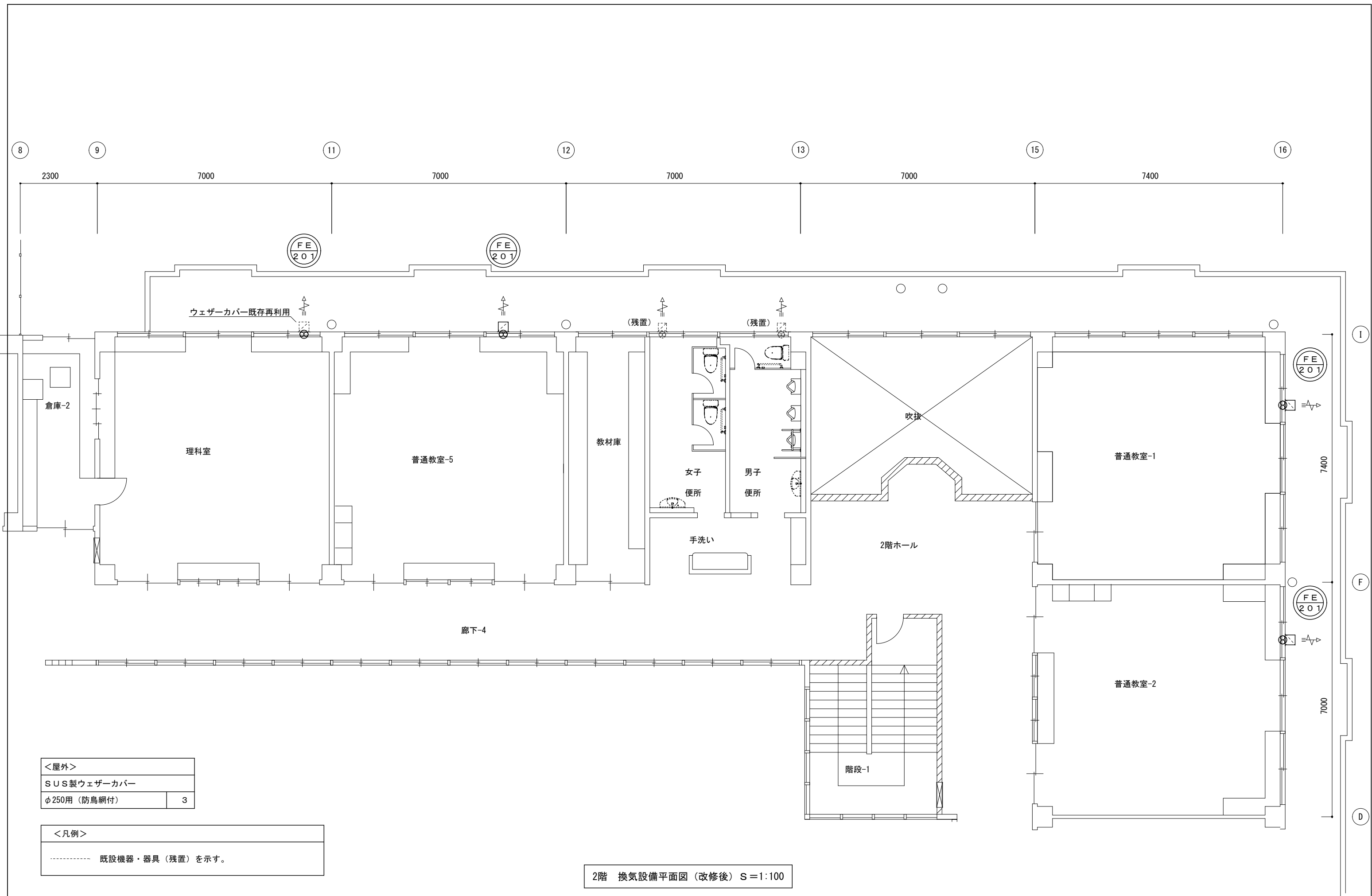
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M16 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図2 (改修後)	1:100	R8.06	設計者



1階 換気設備平面図3 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M17	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図3 (改修後)	1:50	R8.06	
機械					





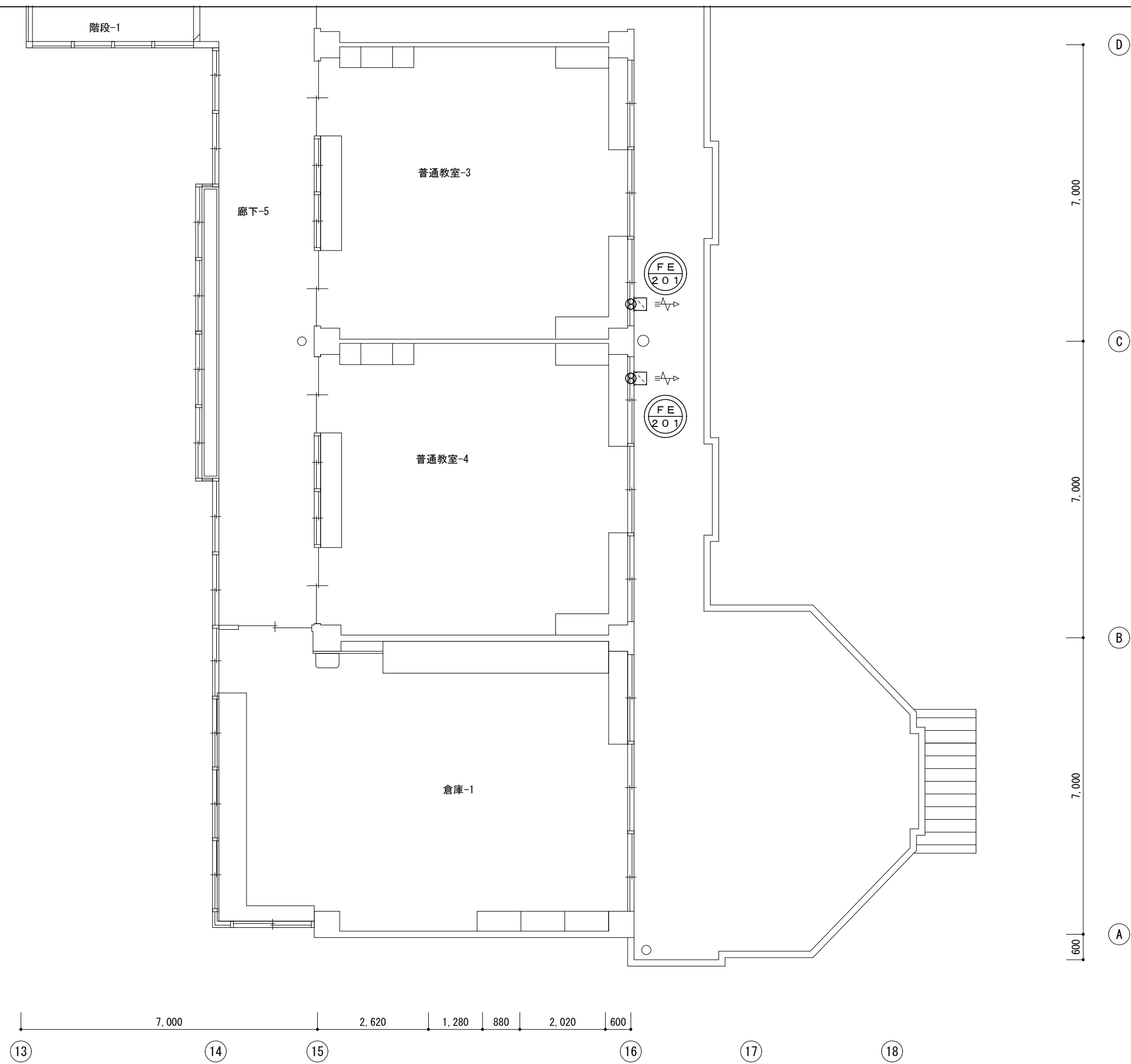
<屋外>	
SUS製ウェザーカバー	
φ250用 (防鳥網付)	3

<凡例>	
-----	既設機器・器具 (残置) を示す。

2階 換気設備平面図 (改修後) S=1:100

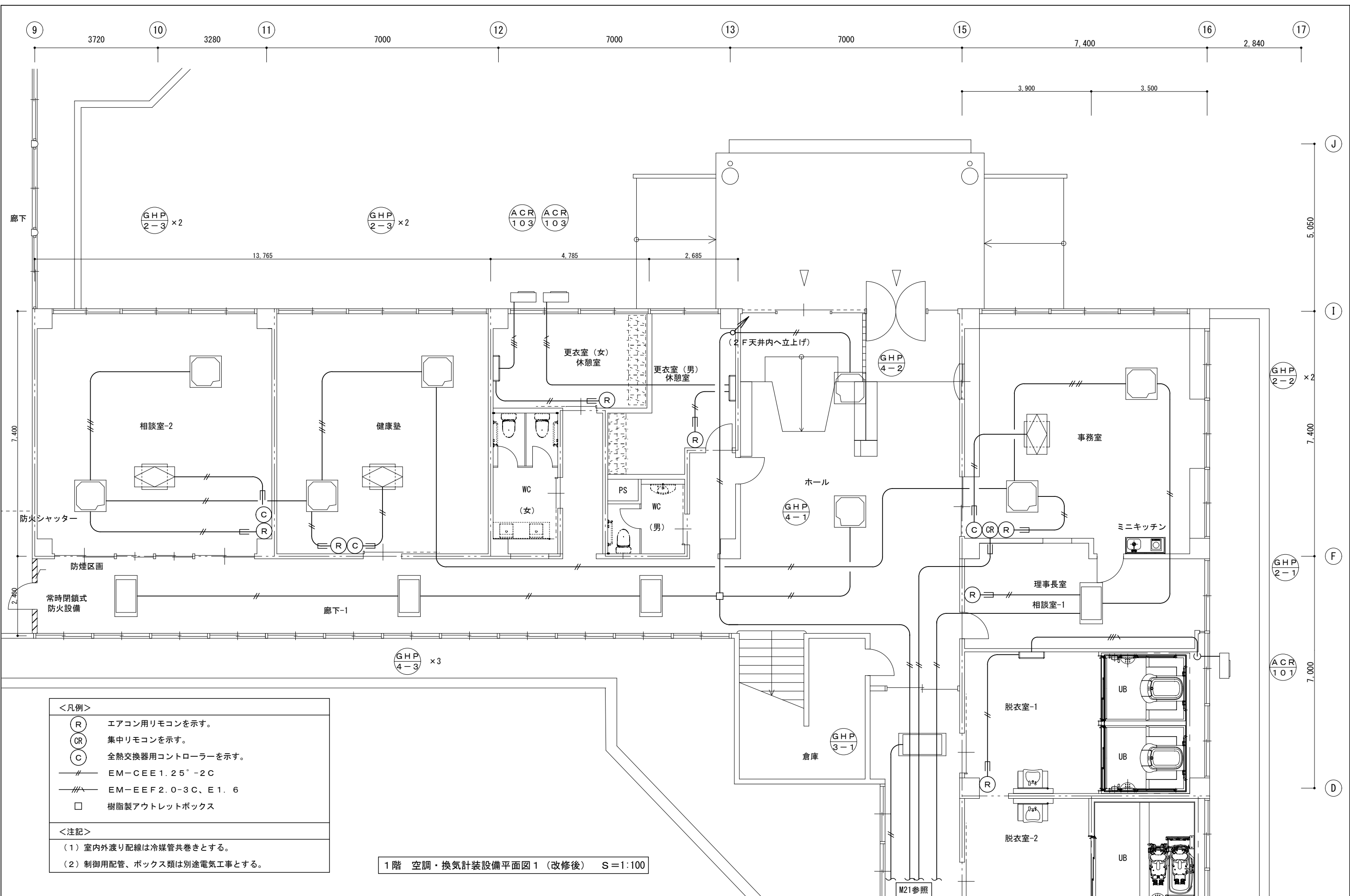
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M19	高齢者等福祉施設整備工事	2階 換気設備平面図 (改修後)	1:100	R8.06	
機械					設計者

<屋外>	
SUS製ウェザーカバー	
φ250用 (防鳥網付)	2



2階 換気設備平面図2 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M20	高齢者等福祉施設整備工事	2階 換気設備平面図2 (改修後)	1:100	R8.06	
機械					



- <凡例>
- (R) エアコン用リモコンを示す。
  - (CR) 集中リモコンを示す。
  - (C) 全熱交換器用コントローラーを示す。
  - // EM-CEE1.25°-2C
  - /// EM-EEF2.0-3C、E1.6
  - 樹脂製アウトレットボックス

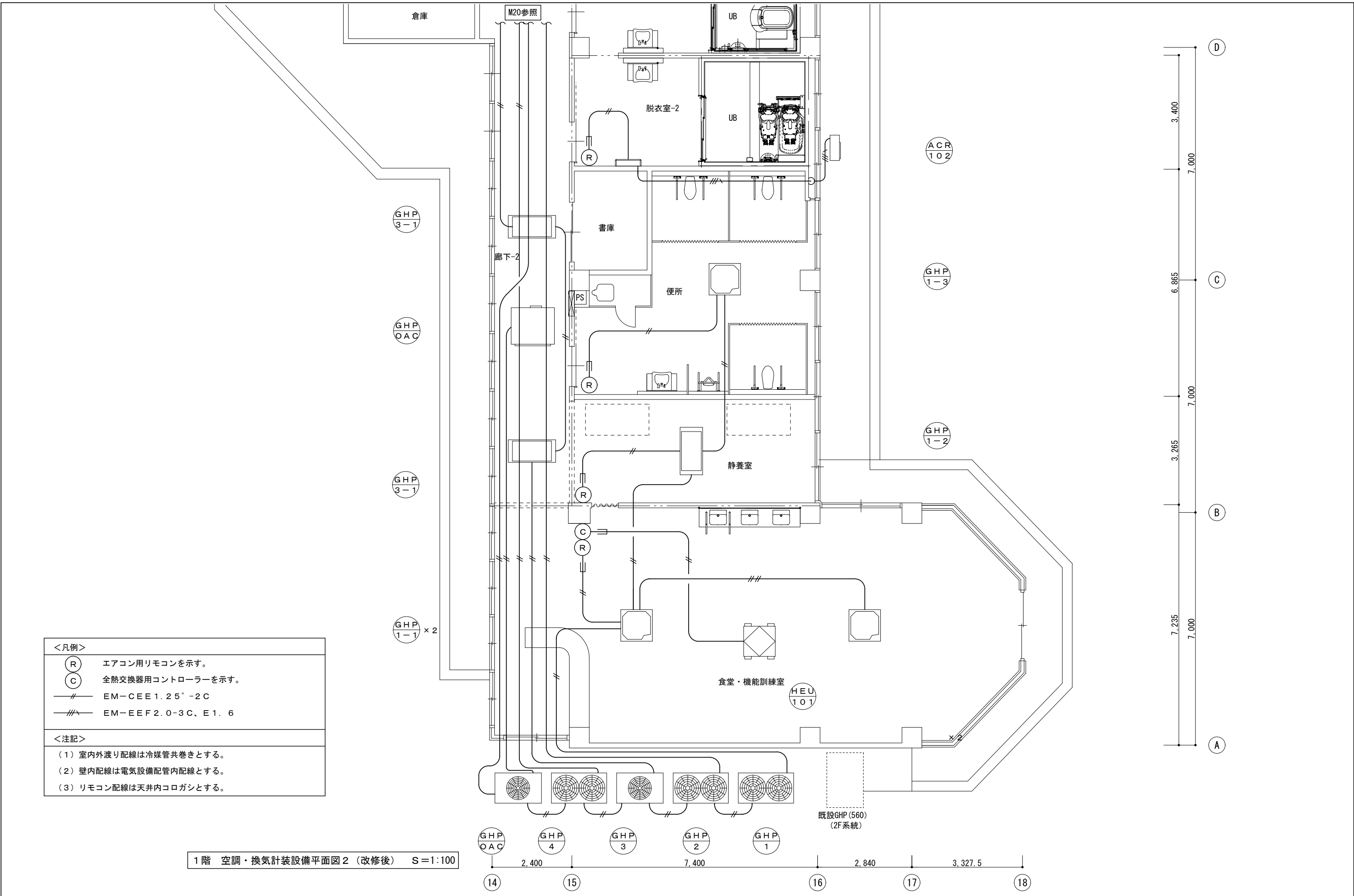
<注記>

(1) 室内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。

(2) 制御用配管、ボックス類は別途電気工事とする。

1階 空調・換気計装設備平面図1 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M21	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調換気計装平面図1 (改修後)	1/100	R8.06	設計者
機械					



<凡例>

(R) エアコン用リモコンを示す。

(C) 全熱交換器用コントローラーを示す。

— EM-CEE1.25°-2C

— EM-EEF2.0-3C、E1.6

<注記>

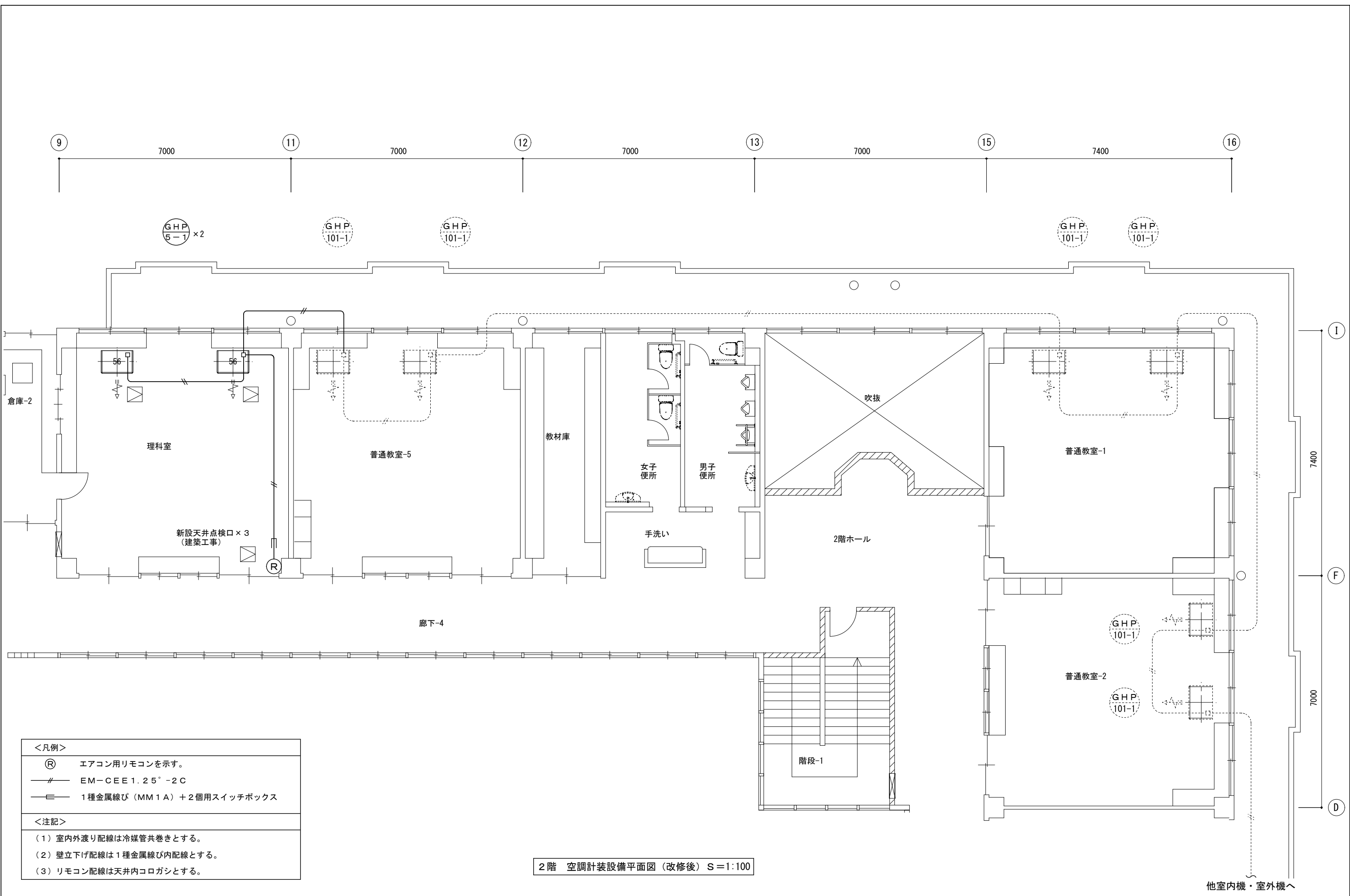
(1) 室内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。

(2) 壁内配線は電気設備配管内配線とする。

(3) リモコン配線は天井内コログシとする。

1階 空調・換気計装設備平面図2 (改修後) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M22	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調換気計装平面図2 (改修後)	1/100	R8.06	設計者
機械					

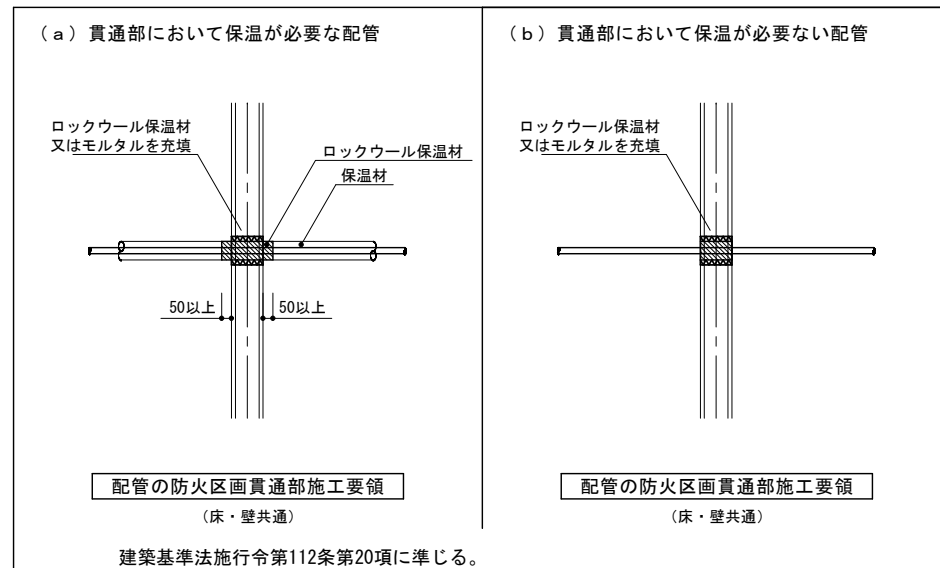


2階 空調計装設備平面図 (改修後) S=1:100

- <凡例>
- Ⓡ エアコン用リモコンを示す。
  - EM-CEE 1.25°-2C
  - 1種金属線び (MM1A) + 2個用スイッチボックス
- <注記>
- (1) 室内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。
  - (2) 壁立下げ配線は1種金属線び内配線とする。
  - (3) リモコン配線は天井内コログシとする。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M23	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調計装設備 平面図 (改修後)	1:100	R8.06	
機械					

衛生機器リスト (改修後)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
WHG 1	瞬間式ガス湯沸器	形式：50号・架台付屋外据置型・即湯ポンプユニット一体型 加熱能力：87.2kW 燃料：LPG・消費量：91.9kW 付属品：配管カバー・リモコン・リモコンコード(10m)、鋼製架台一式、親機・子機連結部材一式、減圧弁	1	100	304W (最大運転消費) 330W (凍結防止消費)	1	屋外	
WHG 2	瞬間式ガス湯沸器	形式：24号屋外壁掛形(高効率タイプ) 加熱能力：41.9kW 燃料：LPG・消費量：45.2kW 付属品：リモコン・リモコンコード(20m)、電気式循環ユニット(消費電力700W)、減圧弁	1	100	56W (消費) 89W	1	屋外	
WHG 3	ガス温水器	形式：12号屋外壁 加熱能力：高温側：2.50~12.1kW、低温側：2.50~7.44kW、 燃料：LPG・消費量：14.5kW 付属品：	1	100	85W (消費)	1	屋外	バルク内部ガス蒸発器加熱用
TVB 1	ガスバルク貯槽	形式：LPG用鋼板製地上置縦形 容量：990L(呼称充填量1.0t) 付属品：過充填防止装置・液取弁・均圧弁・液面計・安全弁・液取出弁・緊急遮断弁・調整器・車止め	-	-	-	1	屋外	基礎は本工事とする。
<注記>								
(1) ガス湯沸器の定格能力、消費電力及び燃料消費量はJIS S 2109の規定による。 (2) 給湯配管の保温仕様については、「建築物省エネ法」に規定する配管保温仕様2以上とする。 (3) 給湯器の固定方法は、平成24年12月12日国土交通省告示第1447号の示す方法による。 (4) 電気瞬間湯沸器の定格能力、消費電力はJIS C 9335-2-35の規定による。(建築工事ミニキッチン附属品)								



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M24 機械	高齢者等福祉施設整備工事	衛生機器リスト 樹リスト	N/S	R8.06		

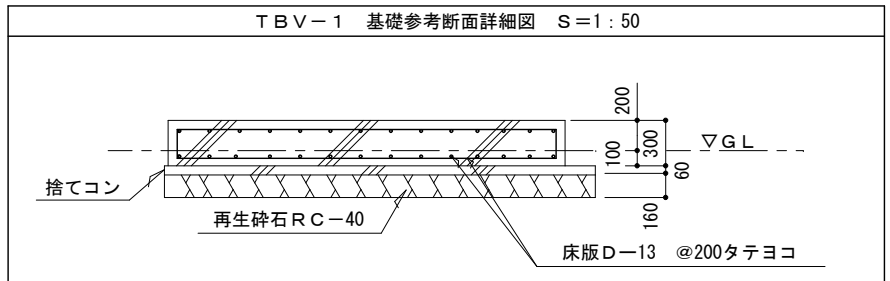
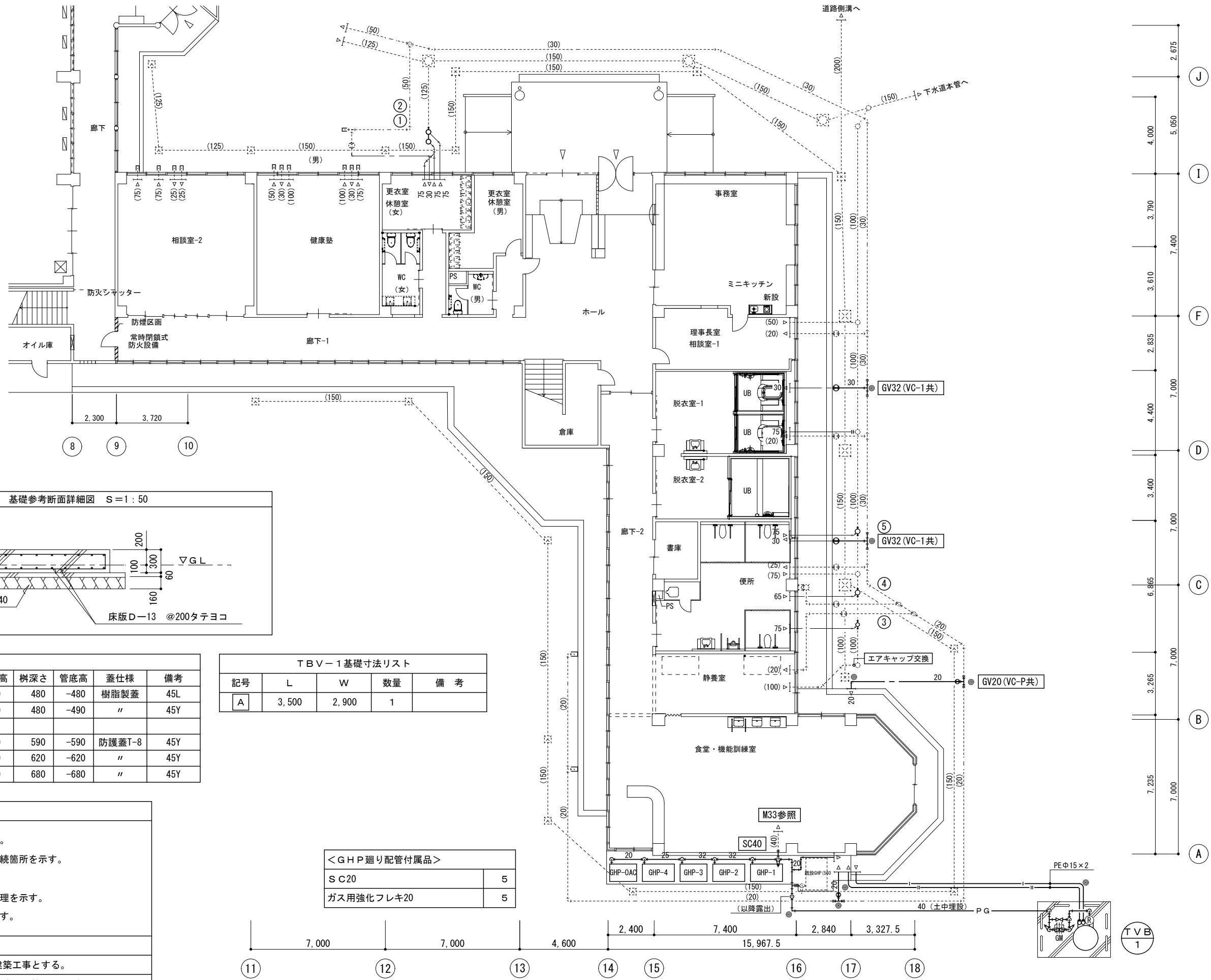
衛生器具リスト（改修後）デイサービス				
設置場所	品名	仕様・型式・寸法	数量	参考型番
1階	WC(女)	洋風便器	2	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AE・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA231ALQE-NE-R2 :CF-63HST
		洗面カウンター	1	TOTO :MB50C1700CPA13W・LS722C・TLE26SS1A LIXIL :MB-500FS・L-555FC・AM-320CV1
		L形手摺	2	TOTO :T112CL9 LIXIL :KF-920AE70D12J
		化粧鏡	2	TOTO :YM4560F LIXIL :KF-4560A
	WC(男)	洋風便器	1	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AE・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA231ALQE-NE-R2 :CF-63HST
		壁掛洗面器	1	TOTO :L270C・TLE33SB3A・TLDP2201JA・TL345C LIXIL :L-275FCR・AM-311V1・LF-WN7PF
		L形手摺	1	TOTO :T112CL9 LIXIL :KF-920AE70D12J
		化粧鏡	1	TOTO :YM4560F LIXIL :KF-4560A
	事務室	ミニキッチン	(1)	(建築工事)
	脱衣室1	洗面カウンター	1	TOTO :MVHJH0900JA・TLE33SM4A・MXHJAA
		化粧鏡	1	TOTO :YM6090F LIXIL :KF-6090A
	脱衣室2	洗面カウンター	1	TOTO :MVHJ・TLE33SM4A・TL345C・MX548P
化粧鏡		1	TOTO :YM6090F LIXIL :KF-6090A	
便所	洋風便器	3	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AEY・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA21ALQE-NEC-R2 :CF-63HST	
	洗面カウンター	1	TOTO :MVHJH0900JA・TLE33SM3A・MXHJAA・MXHJBBR	
	背もたれ付可動式手摺	3	TOTO :EWC783 LIXIL :KFC-273EU	
	ストール小便器	1	TOTO :UFS900JS LIXIL :U-A51AP	
	小便器用手すり	1	TOTO :T112CU22 LIXIL :KF-701AEJ	
	掃除流し	1	TOTO :SK22A・T23AEQ20C LIXIL :S-202A・LF-7KEZ-19-U・SF-20SAF-P	
	化粧鏡	1	TOTO :YM6090F LIXIL :KF-6090A	
	食堂・機能訓練室	洗面カウンター	1	TOTO :MLHM・TLE33SB4A・TL345C・RHE436-60 LIXIL :DM-601NT7S・AM-311TCV1
洗面カウンター用手摺		2	TOTO :M924S LIXIL :BB-DCX2J-WA	
化粧鏡		3	TOTO :YM6090F LIXIL :KF-6090A	

衛生器具リスト（改修後）2階トイレ				
設置場所	品名	仕様・型式・寸法	数量	参考型番
2階	WC(女)	洋風便器	2	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AE・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA231ALQE-NE-R2 :CF-63HST
		カウンター一体形手洗器	1	TOTO :L650D・TLS01101J・TA3N×2・TL4CFU・TL595BP LIXIL :L-275AN・LF-E02・LF-3V・LF-105PA
		L形手摺	2	TOTO :T112CL9 LIXIL :KF-920AE70D12J
		化粧鏡	1	TOTO :YM4560F LIXIL :KF-4560A
	WC(男)	洋風便器	1	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AE・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA231ALQE-NE-R2 :CF-63HST
		ストール小便器	3	TOTO :UFS900JS LIXIL :U-A51AP
		カウンター一体形手洗器	1	TOTO :L650D・TLS01101J・TA3N×2・TL4CFU・TL595BP LIXIL :L-275AN・LF-E02・LF-3V・LF-105PA
		L形手摺	1	TOTO :T112CL9 LIXIL :KF-920AE70D12J
		化粧鏡	1	TOTO :YM4560F LIXIL :KF-4560A
		小便器用手すり	1	TOTO :T112CU22 LIXIL :KF-701AEJ

衛生器具リスト（改修後）屋内運動場				
設置場所	品名	仕様・型式・寸法	数量	参考型番
1階	多目的トイレ	洋風便器	1	TOTO :CFS498BCK・TCF5534AEY・YH702 LIXIL :BC-P110SMA・DQ-PA150CH・CW-PA21ALQE-NEC-R2 :CF-63HST
		背もたれ付可動式手摺	1	TOTO :EWC783 LIXIL :KFC-273EU
		I形手摺	1	TOTO :T112CM6 LIXIL :KF-910AE60J
		前方ボード	1	TOTO :EWC720R LIXIL :KF-AA482H67
		手洗器	1	TOTO :LSE870APFRMS LIXIL :L-A74TA2C
		化粧鏡	1	TOTO :YM6090F LIXIL :KF-6090A

<特記事項>  
(1) 機器はメーカー標準仕様とする。  
(2) 給湯設備には逃し弁等安全装置を設けること。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M25	高齢者等福祉施設整備工事	衛生器具表	N/S	R8.06		
機械						



樹リスト (一般系統)

記号	樹名称	樹寸法	地盤高	樹深さ	管底高	蓋仕様	備考
①	樹脂製小口径樹	125-150	±0	480	-480	樹脂製蓋	45L
②	"	"	±0	480	-490	"	45Y
③	樹脂製小口径樹	100-150	±0	590	-590	防護蓋T-8	45Y
④	"	100-150	±0	620	-620	"	45Y
⑤	"	100-150	±0	680	-680	"	45Y

TBV-1 基礎寸法リスト

記号	L	W	数量	備考
A	3,500	2,900	1	

<凡例>

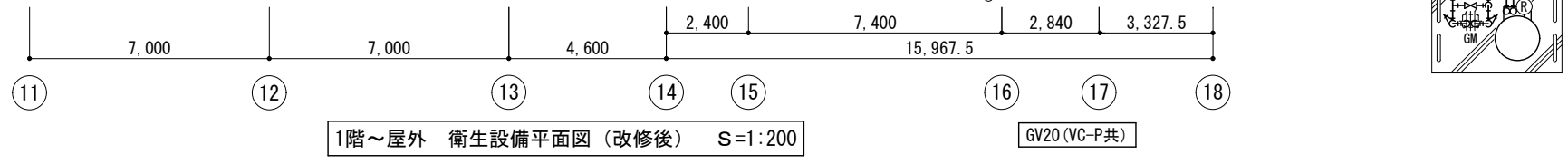
- (口径)--- 既設配管(残置)を示す。
- (口径)--- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- (口径)— 新設配管を示す。
- (口径) 既設管のキャップ止め処理を示す。
- ◎ 地中埋設標(鉄製)を示す。

<注記>

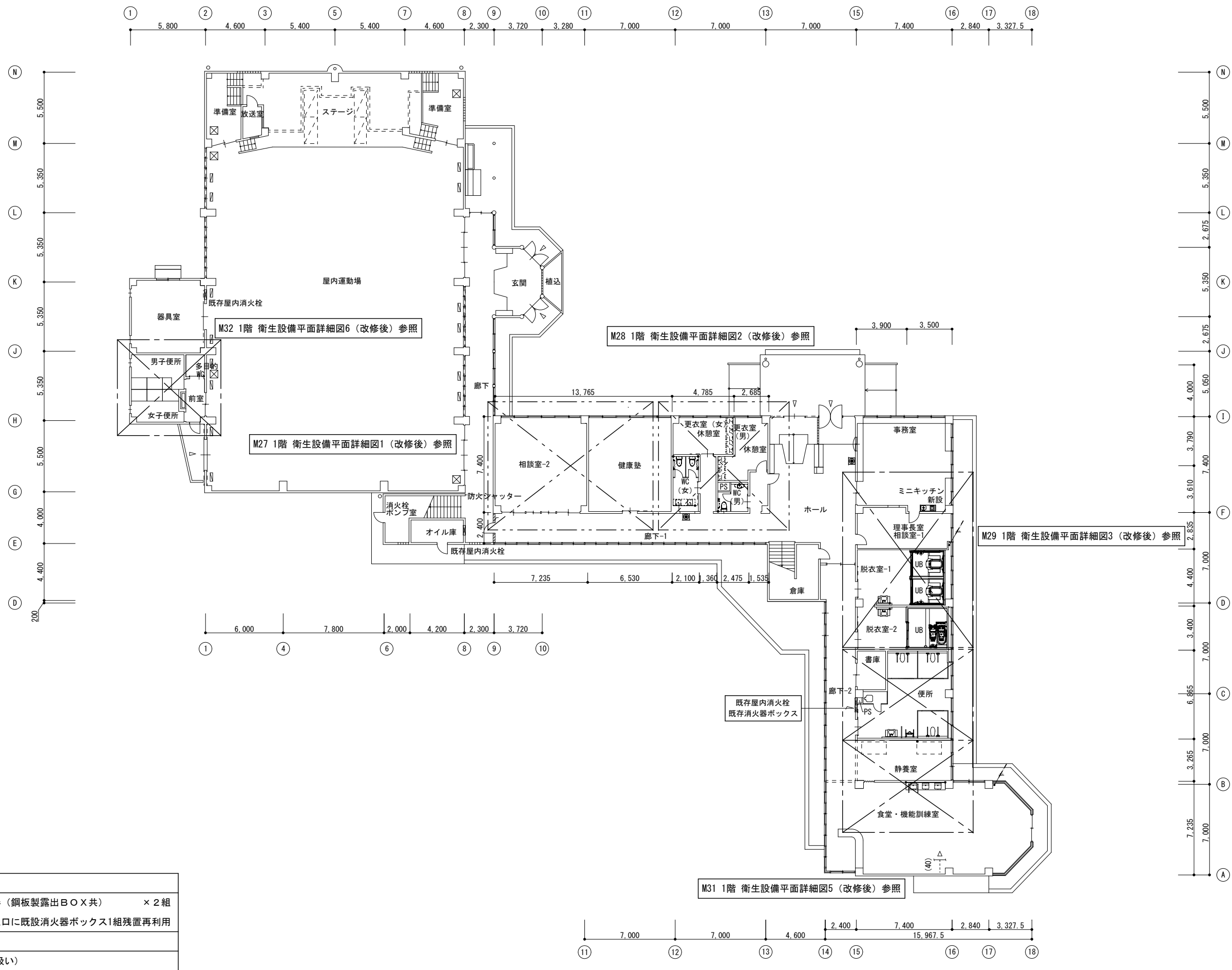
- 犬走りコンクリート研~復旧は建築工事とする。
- アスファルト復旧は本工事とする。範囲はM50参照。

<GHP廻り配管付属品>

SC20	5
ガス用強化フレキ20	5



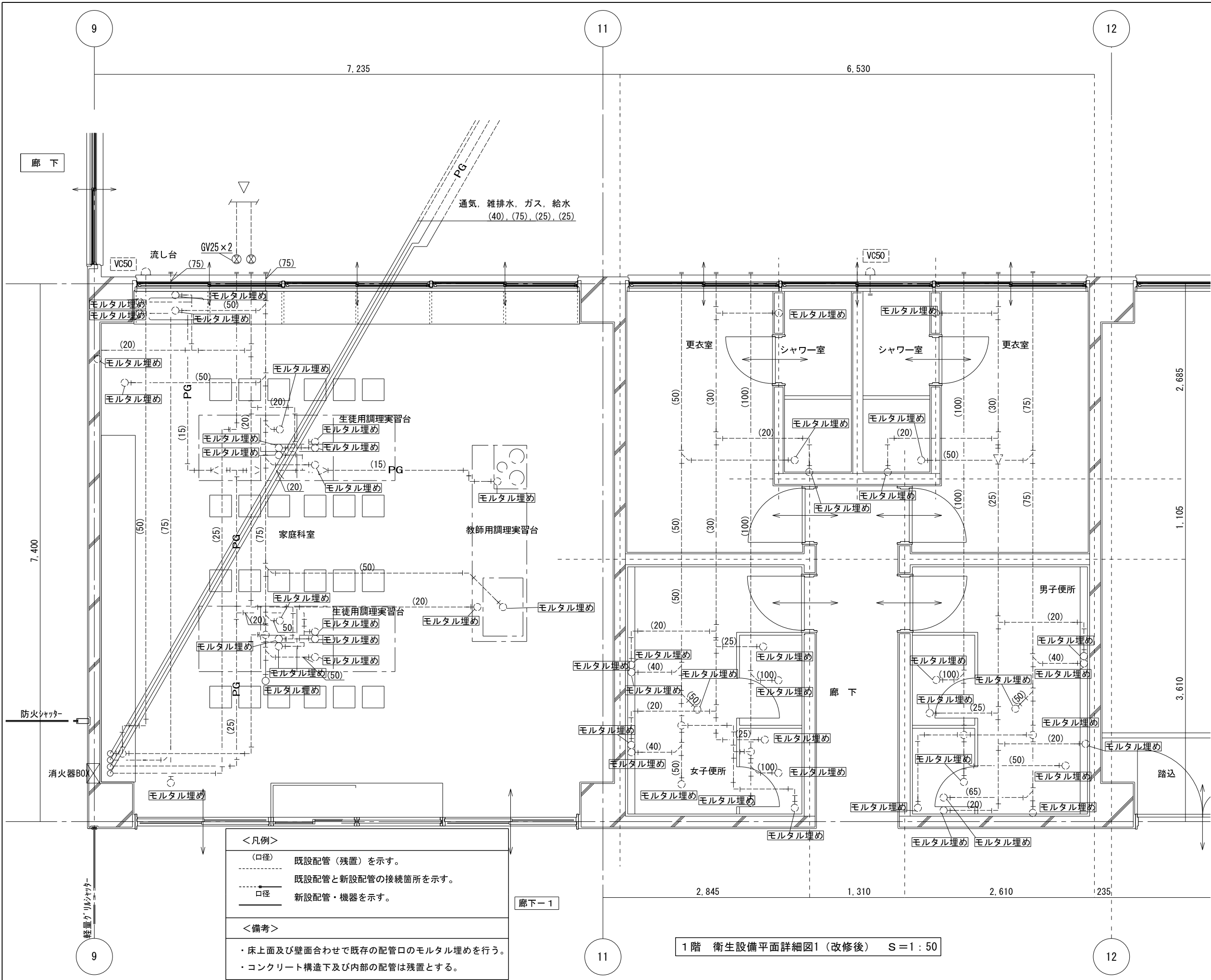
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M26	高齢者等福祉施設整備工事	1階~屋外 衛生設備平面図 (改修後)	1:200	R8.06	
機械					設計者



<b>&lt;凡例&gt;</b>	
	ABC粉末10型消火器（銅板製露出BOX共） × 2組 ※デイサービス便所入口に既設消火器ボックス1組残置再利用
<b>&lt;注記&gt;</b>	
・消火栓は残置とする。（任意設置扱い）	

1階 衛生設備全体平面図（改修後） S=1:300

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M27	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 全体平面図 (改修後)	1:300	R8.06	設計者
機械					



<凡例>

(口径) 既設配管(残置)を示す。

--- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。

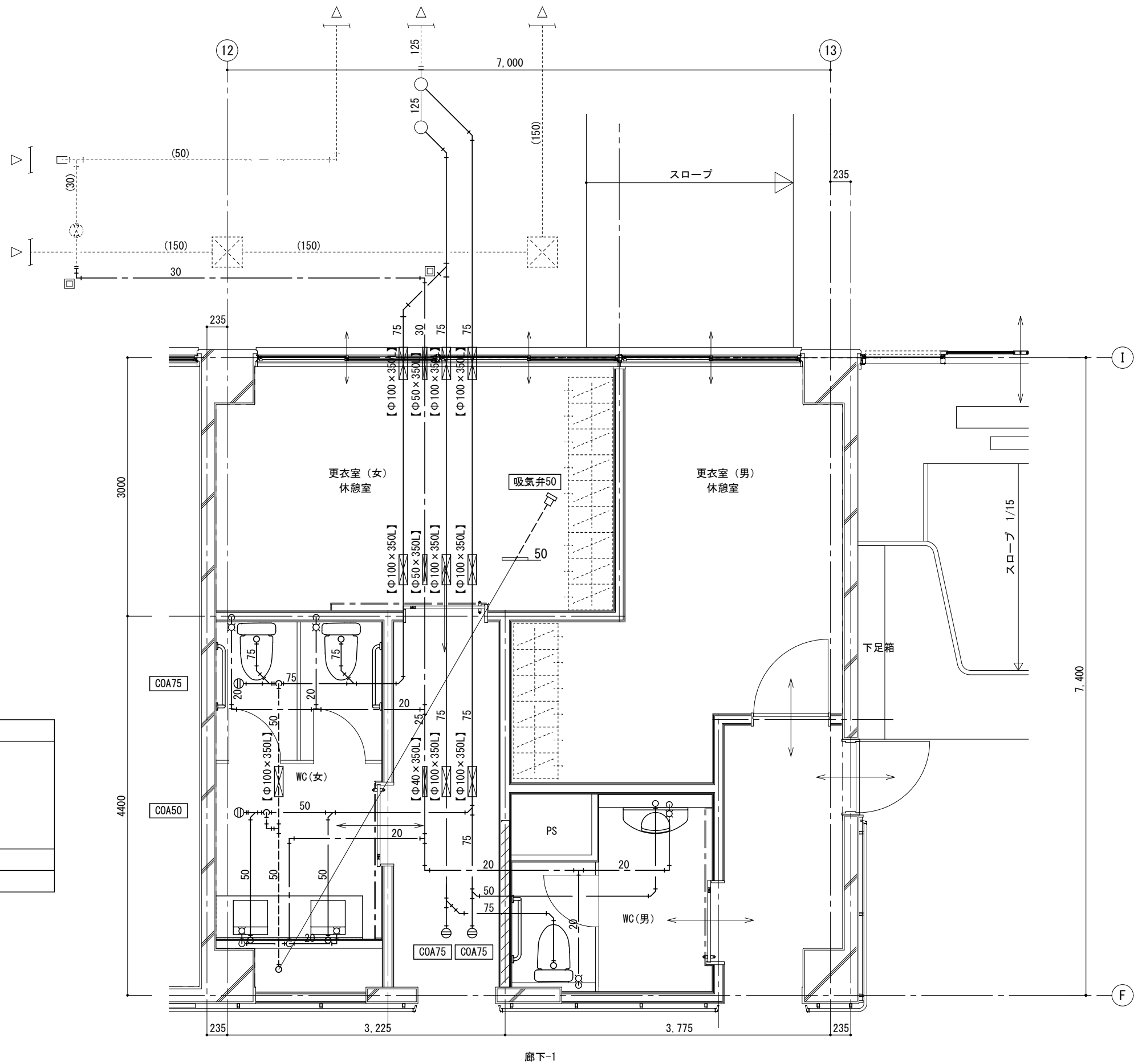
— 口径 新設配管・機器を示す。

<備考>

- ・床上面及び壁面合わせで既存の配管口のモルタル埋めを行う。
- ・コンクリート構造下及び内部の配管は残置とする。

1階 衛生設備平面詳細図1 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M28	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図1 (改修後)	1:50	R8.06	設計者
機械					



1階 衛生設備平面詳細図2 (改修後) S=1:50

<凡例>

- (口径)--- 既設配管(残置)を示す。
- (口径)--- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- (口径)— 新設配管・機器を示す。
- 地中埋設標(樹脂製杭)を示す。

<注記>

土間・犬走りコンクリート研~復旧は建築工事とする。

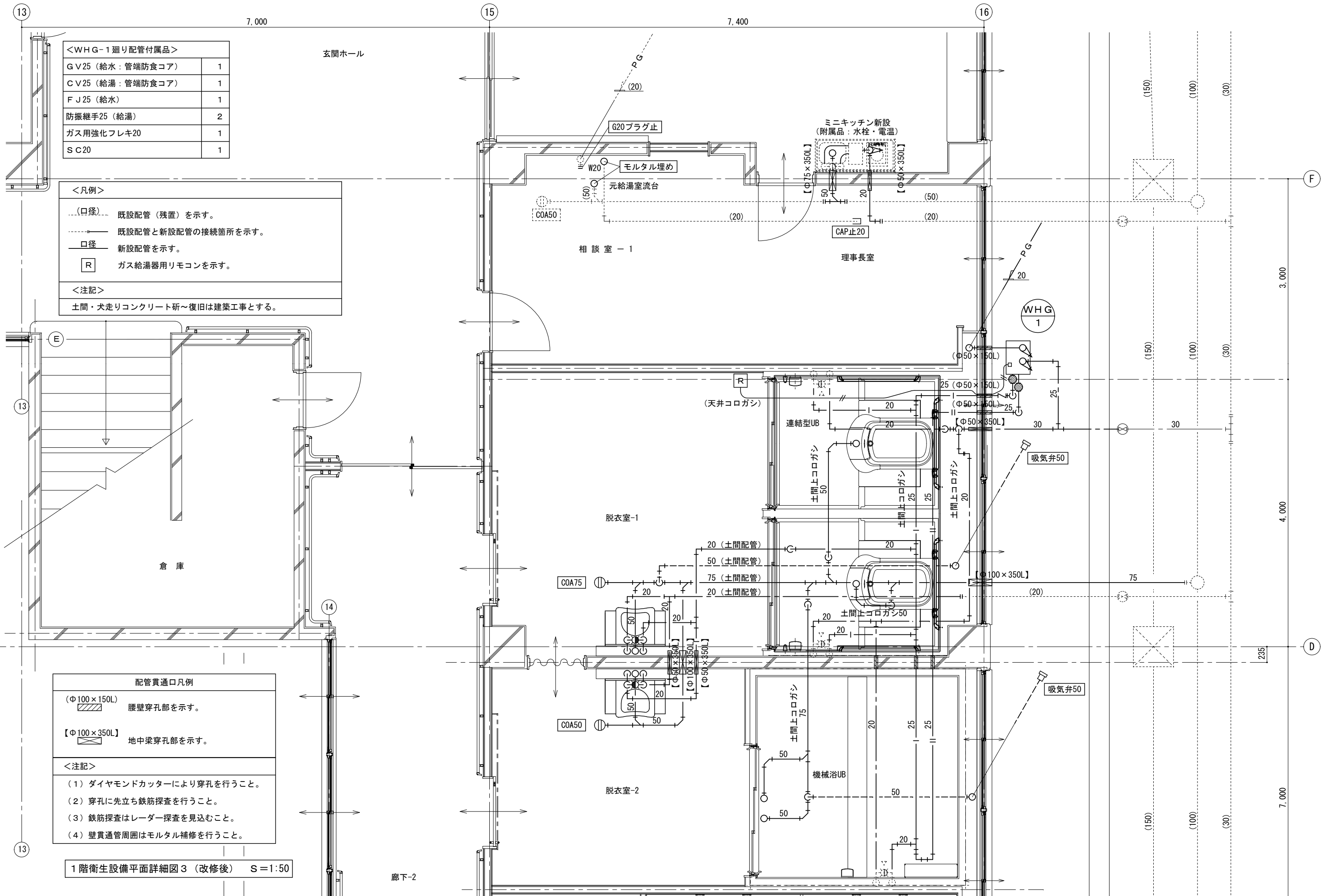
配管貫通口凡例

- (Φ100×150L) 腰壁穿孔部を示す。
- 【Φ100×350L】 地中梁穿孔部を示す。

<注記>

- (1) ダイヤモンドカッターにより穿孔を行うこと。
- (2) 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。
- (3) 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。
- (4) 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M29	高齢者等福祉施設整備工事	1階衛生設備 平面詳細図2 (改修後)	1:50	R8.06	設計者
機械					



<WHG-1 廻り配管付属品>

G V 25 (給水: 管端防食コア)	1
C V 25 (給湯: 管端防食コア)	1
F J 25 (給水)	1
防振継手25 (給湯)	2
ガス用強化フレキ20	1
S C 20	1

<凡例>

- (口径) 既設配管 (残置) を示す。
- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- 口径 新設配管を示す。
- R ガス給湯器用リモコンを示す。

<注記>

土間・犬走りコンクリート研~復旧は建築工事とする。

配管貫通口凡例

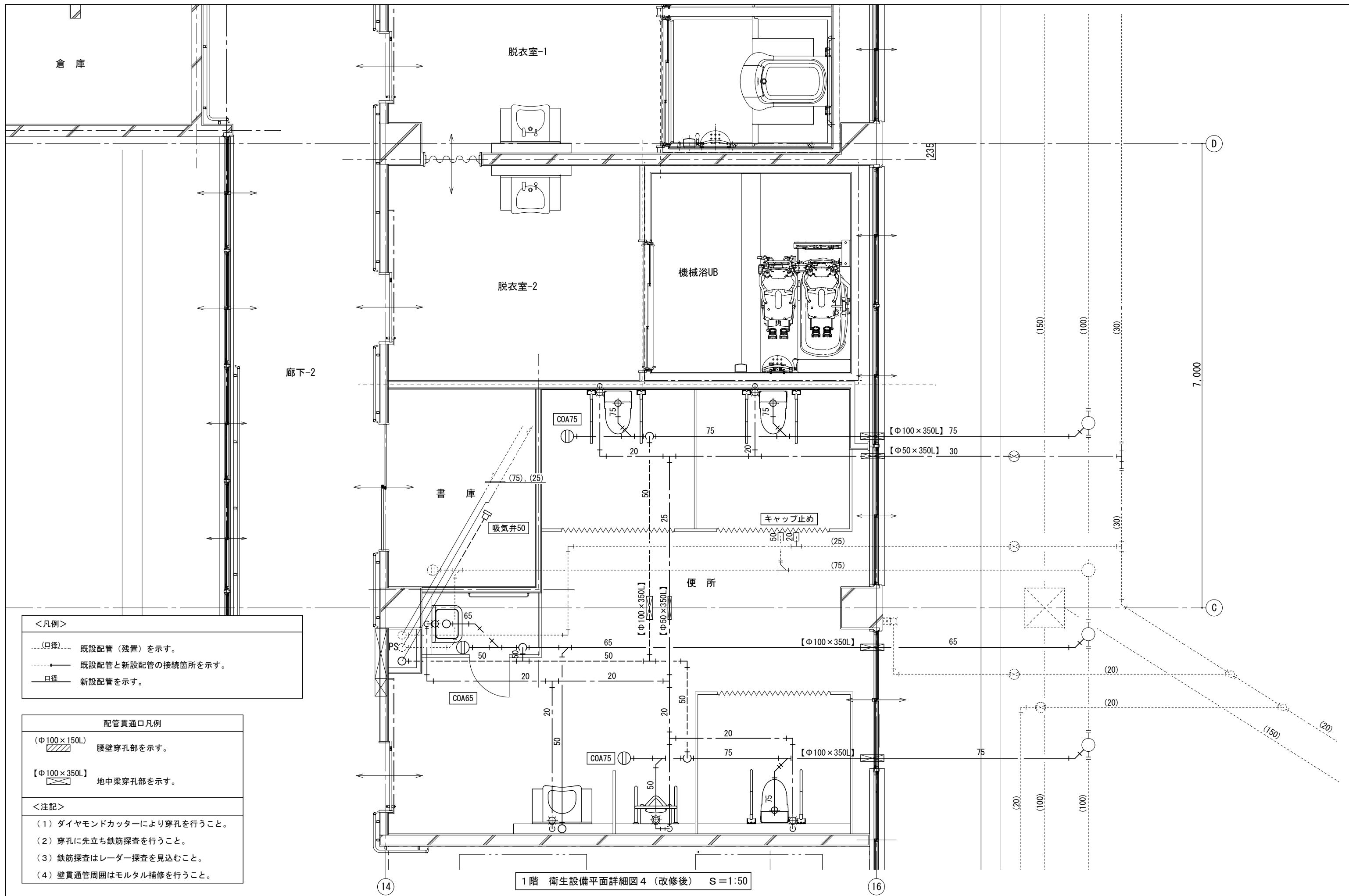
(Φ100×150L)	腰壁穿孔部を示す。
【Φ100×350L】	地中梁穿孔部を示す。

<注記>

- ダイヤモンドカッターにより穿孔を行うこと。
- 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。
- 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。
- 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

1階衛生設備平面詳細図3 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M30	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図3 (改修後)	1:50	R8.06		
機械						



<凡例>

- (口径)--- 既設配管(残置)を示す。
- (口径)--- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- (口径)— 新設配管を示す。

配管貫通口凡例

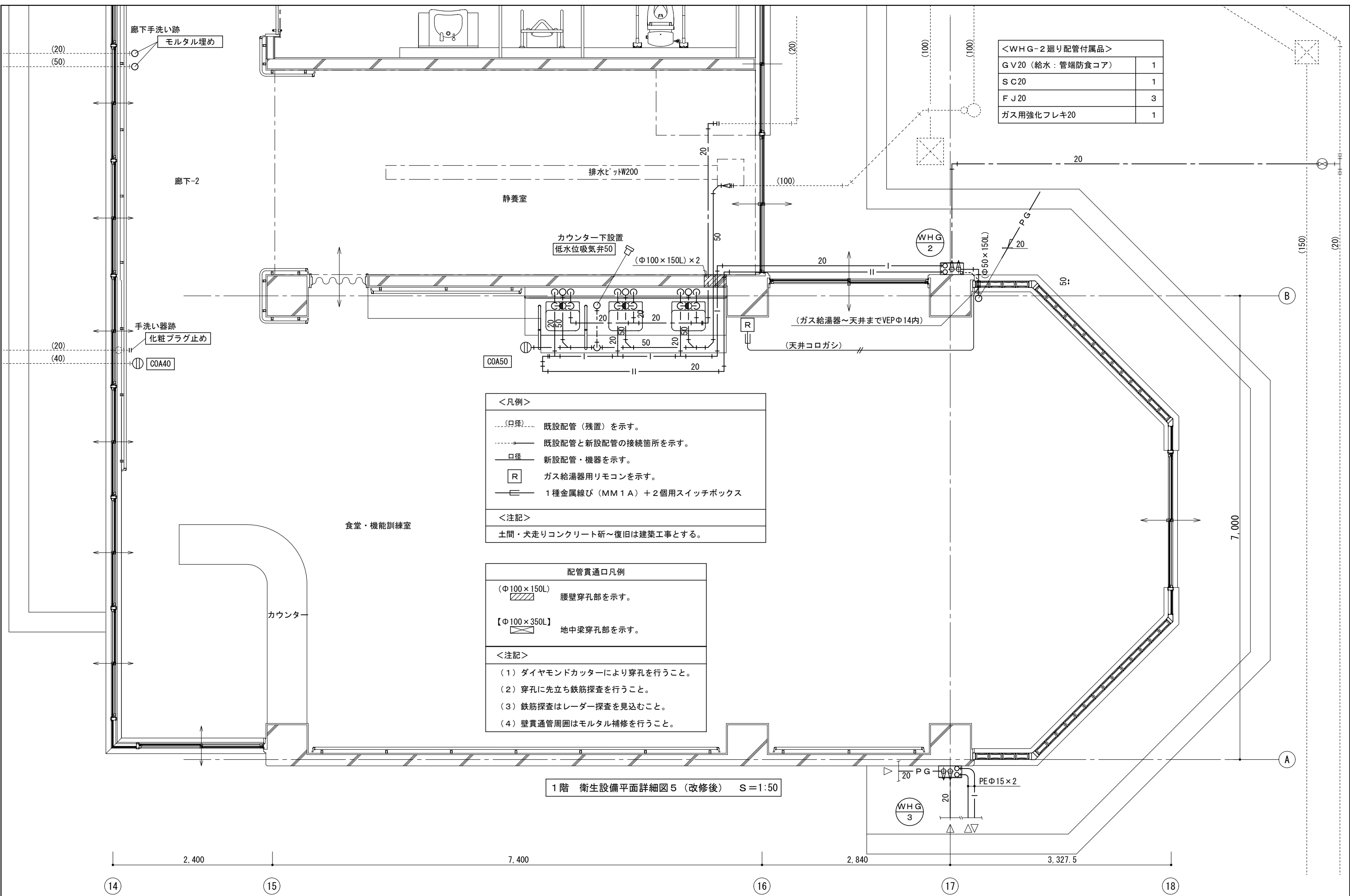
- ▨(Φ100×150L) 腰壁穿孔部を示す。
- ▨【Φ100×350L】 地中梁穿孔部を示す。

<注記>

- (1) ダイヤモンドカッターにより穿孔を行うこと。
- (2) 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。
- (3) 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。
- (4) 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。

1階 衛生設備平面詳細図4 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M31	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図4 (改修後)	1:50	R8.06	
機械					



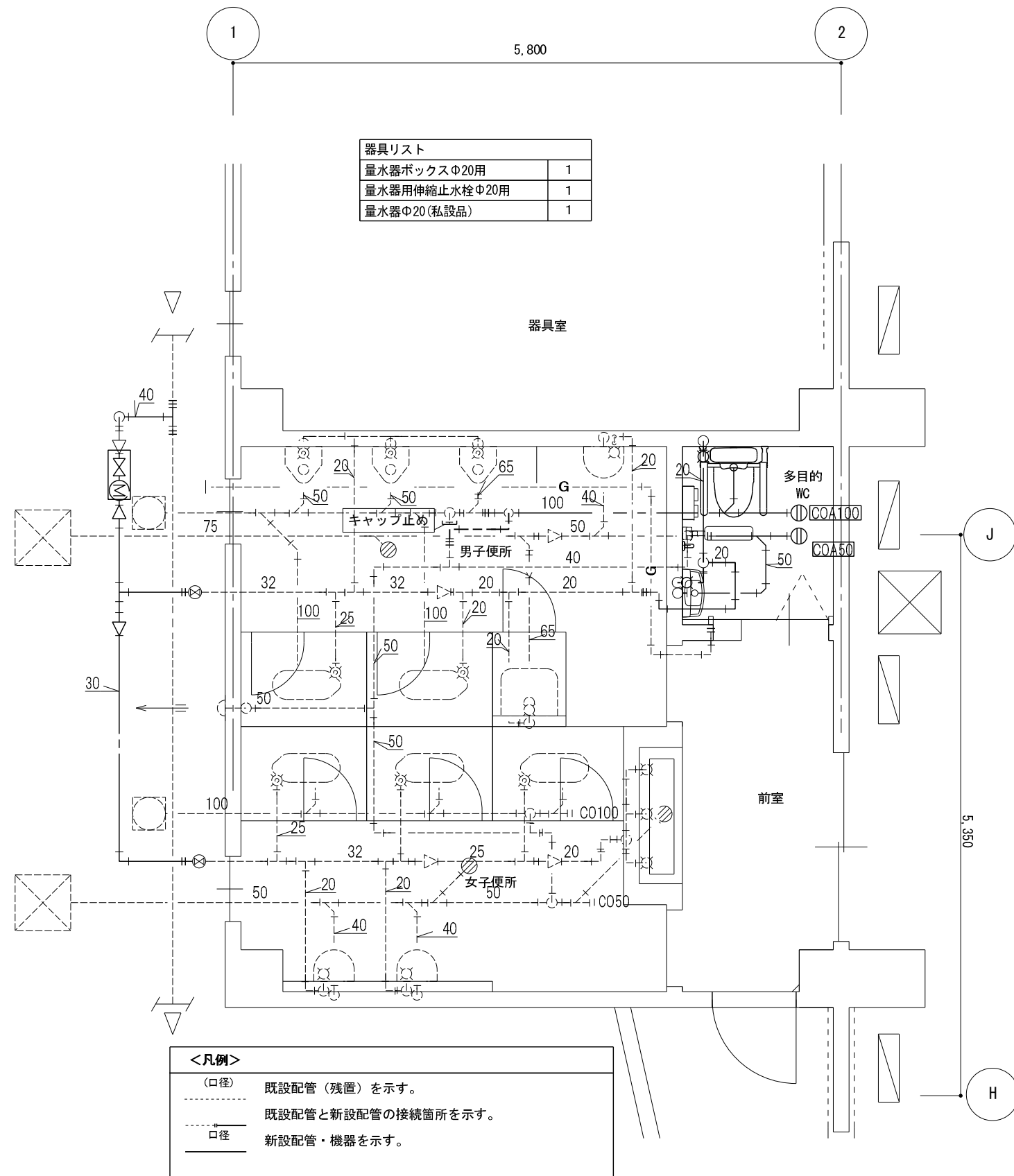
<WHG-2 廻り配管付属品>	
GV20 (給水: 管端防食コア)	1
SC20	1
FJ20	3
ガス用強化フレキ20	1

<凡例>	
---(口径)---	既設配管 (残置) を示す。
---(口径)---	既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
---(口径)---	新設配管・機器を示す。
[R]	ガス給湯器用リモコンを示す。
---	1種金属線び (MM1A) + 2個用スイッチボックス
<注記>	
土間・犬走りコンクリート研~復旧は建築工事とする。	

配管貫通口凡例	
(Φ100×150L)	腰壁穿孔部を示す。
【Φ100×350L】	地中梁穿孔部を示す。
<注記>	
(1) ダイヤモンドカッターにより穿孔を行うこと。	
(2) 穿孔に先立ち鉄筋探査を行うこと。	
(3) 鉄筋探査はレーダー探査を見込むこと。	
(4) 壁貫通管周囲はモルタル補修を行うこと。	

1階 衛生設備平面詳細図5 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M32	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図5 (改修後)	1:50	R8.06	
機械					設計者

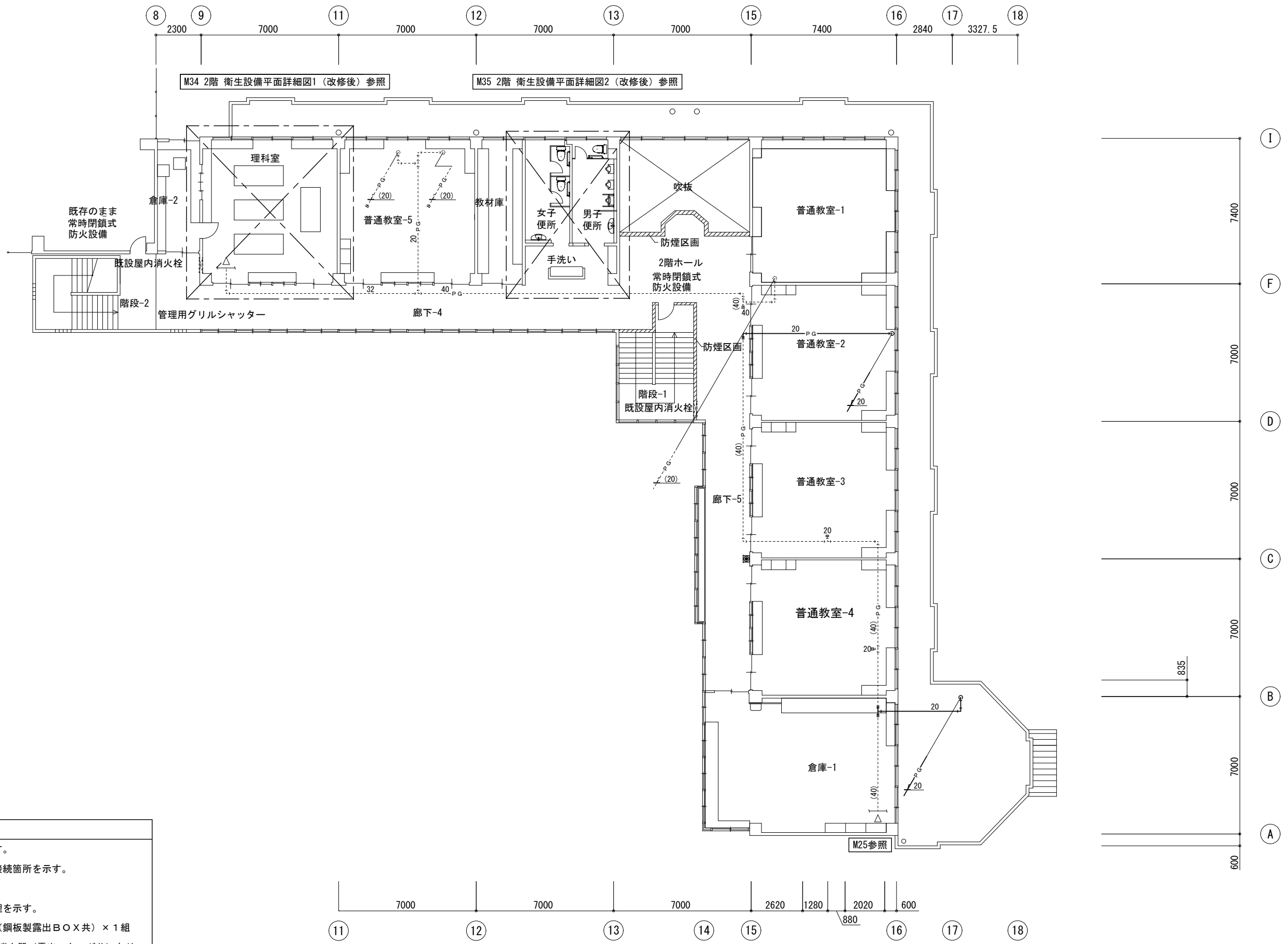


器具リスト	
量水器ボックスΦ20用	1
量水器用伸縮止水栓Φ20用	1
量水器Φ20(私設品)	1

<凡例>	
— (口径)	既設配管 (残置) を示す。
- - -	既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
— (口径)	新設配管・機器を示す。

1階 衛生設備平面詳細図6 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M33	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図6 (改修後)	1:50	R8.06	
機械					



<凡例>

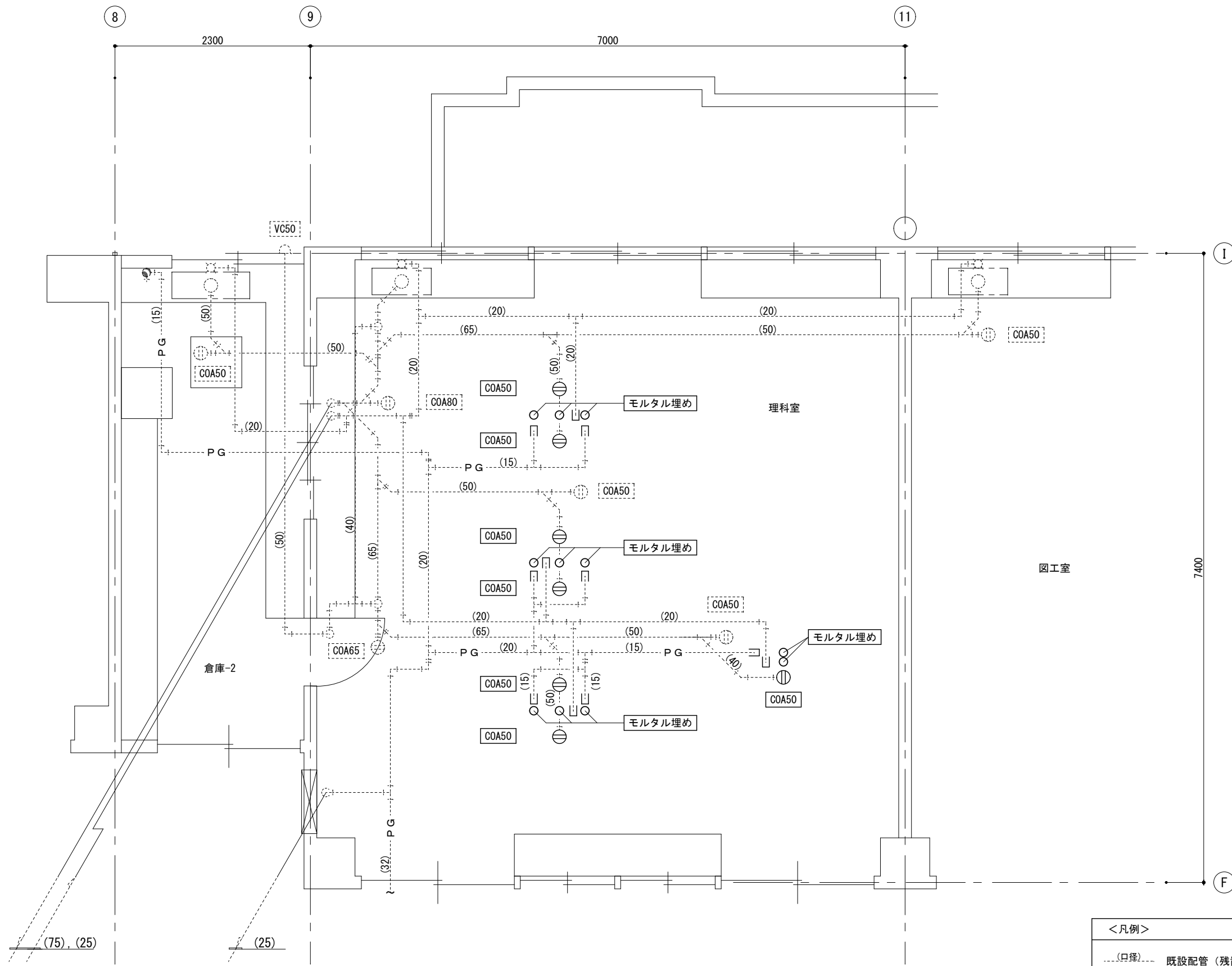
- (口径)--- 既設配管(残置)を示す。
- (口径)--- 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
- (口径)— 新設配管を示す。
- ||-(口径)|| 既設管のプラグ止め処理を示す。
- ☉ ABC粉末10型消火器(銅板製露出BOX共)×1組  
※理科室と廊下4に既設消火器(露出スタンド共)あり。

<注記>

- ・消火栓は残置とする。(任意設置扱い)

2階 衛生設備全体平面図(改修後) S=1:200

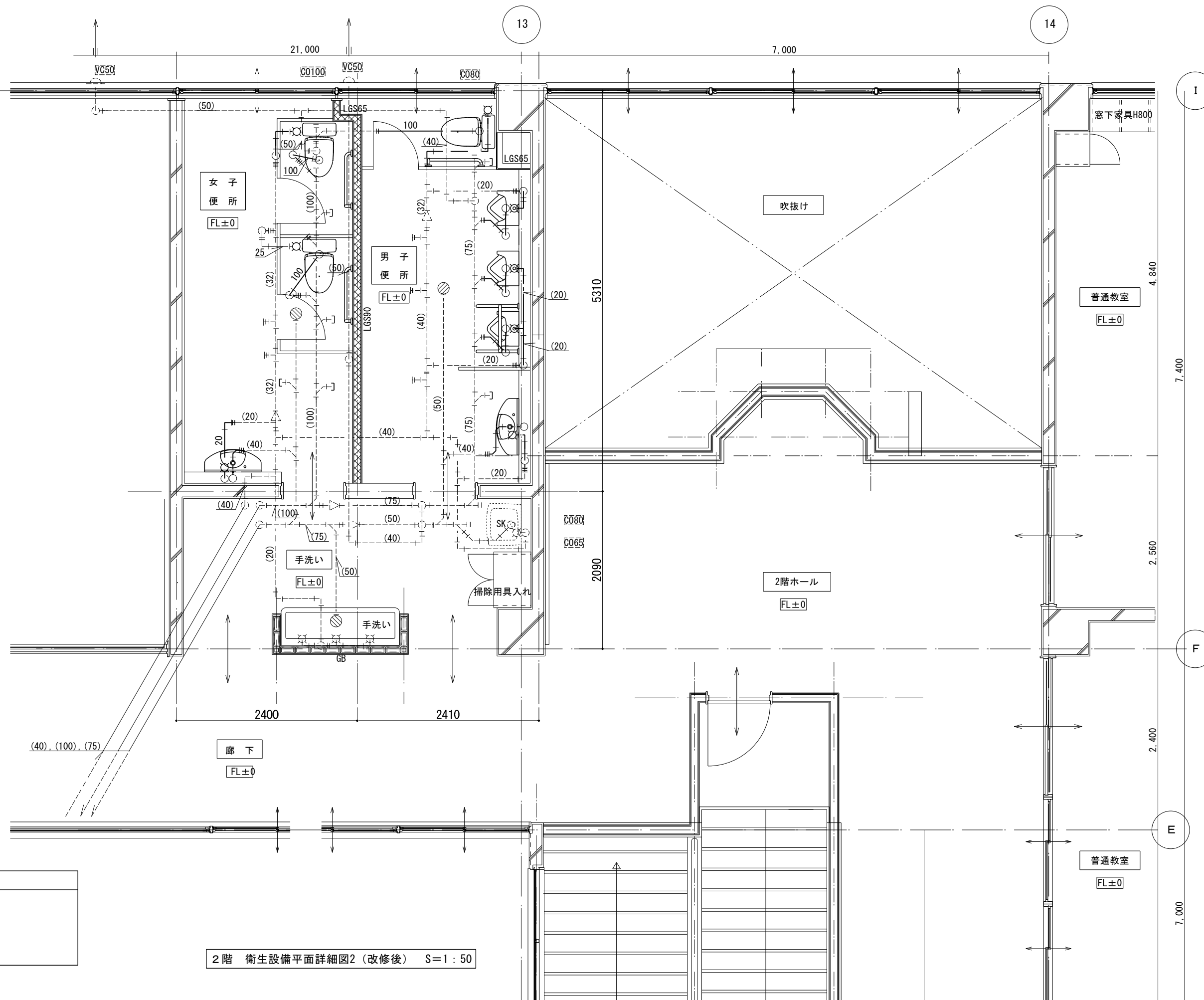
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M34	高齢者等福祉施設整備工事	2階 衛生設備 全体平面図(改修後)	1:200	R8.06	
機械					



2階 給排水衛生設備平面詳細図1 (改修後) S=1:50

<凡例>	
---(口径)---	既設配管(残置)を示す。
-----	既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
—口径—	新設配管・器具を示す。
□----	鋼管ネジ込み式キャップ止めを示す。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M35	高齢者等福祉施設整備工事	2階 給排水衛生設備 平面詳細図1 (改修後)	1:50	R8.06	
機械					



- <凡例>
- (口径) 既設配管(残置)を示す。
  - (口径) 既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
  - (口径) 新設配管・機器を示す。
  - [ ] キャップ止めを行う箇所を示す。

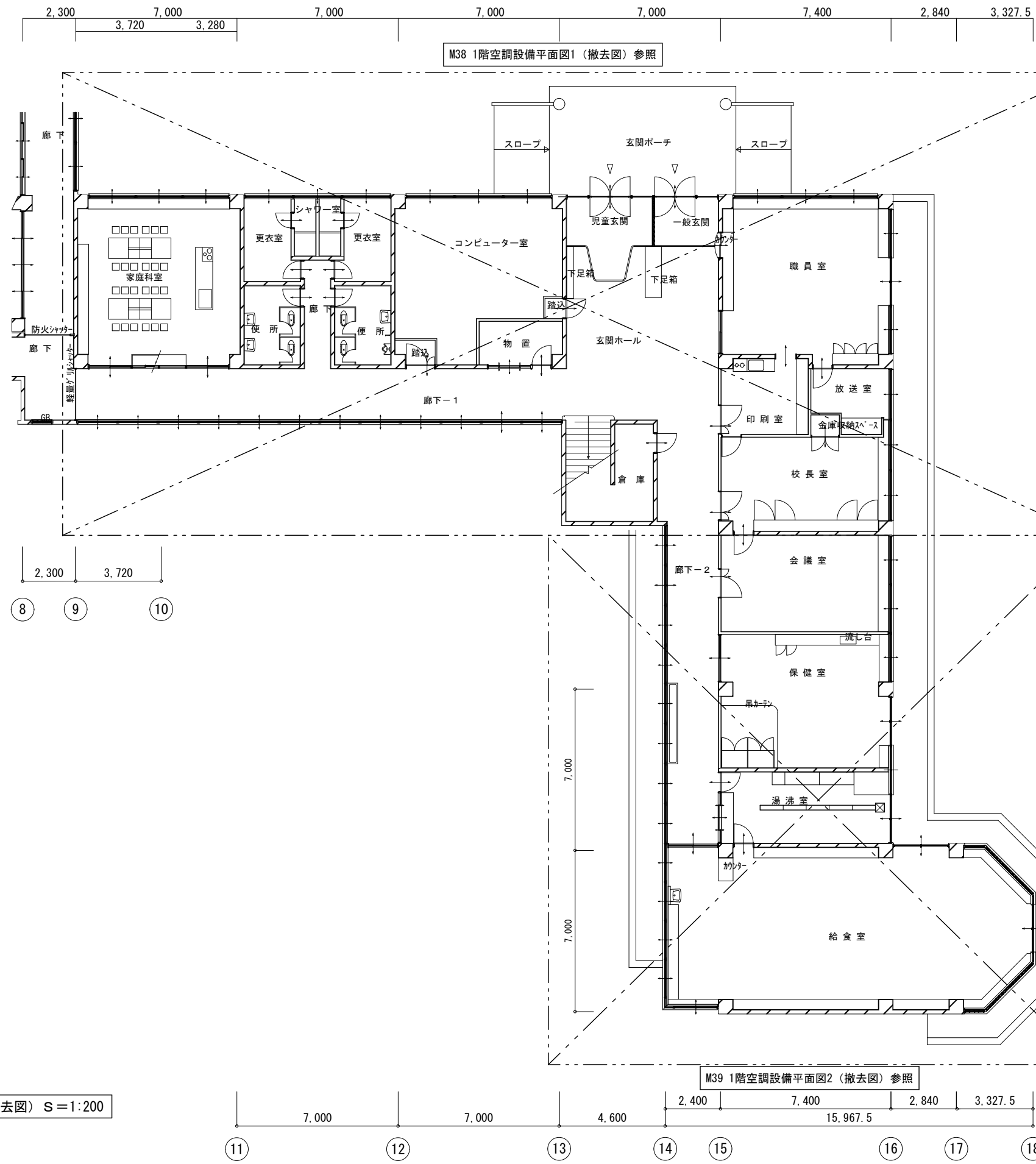
2階 衛生設備平面詳細図2 (改修後) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M36	高齢者等福祉施設整備工事	2階 衛生設備 平面詳細図2 (改修後)	1:50	R8.06	設計者
機械					

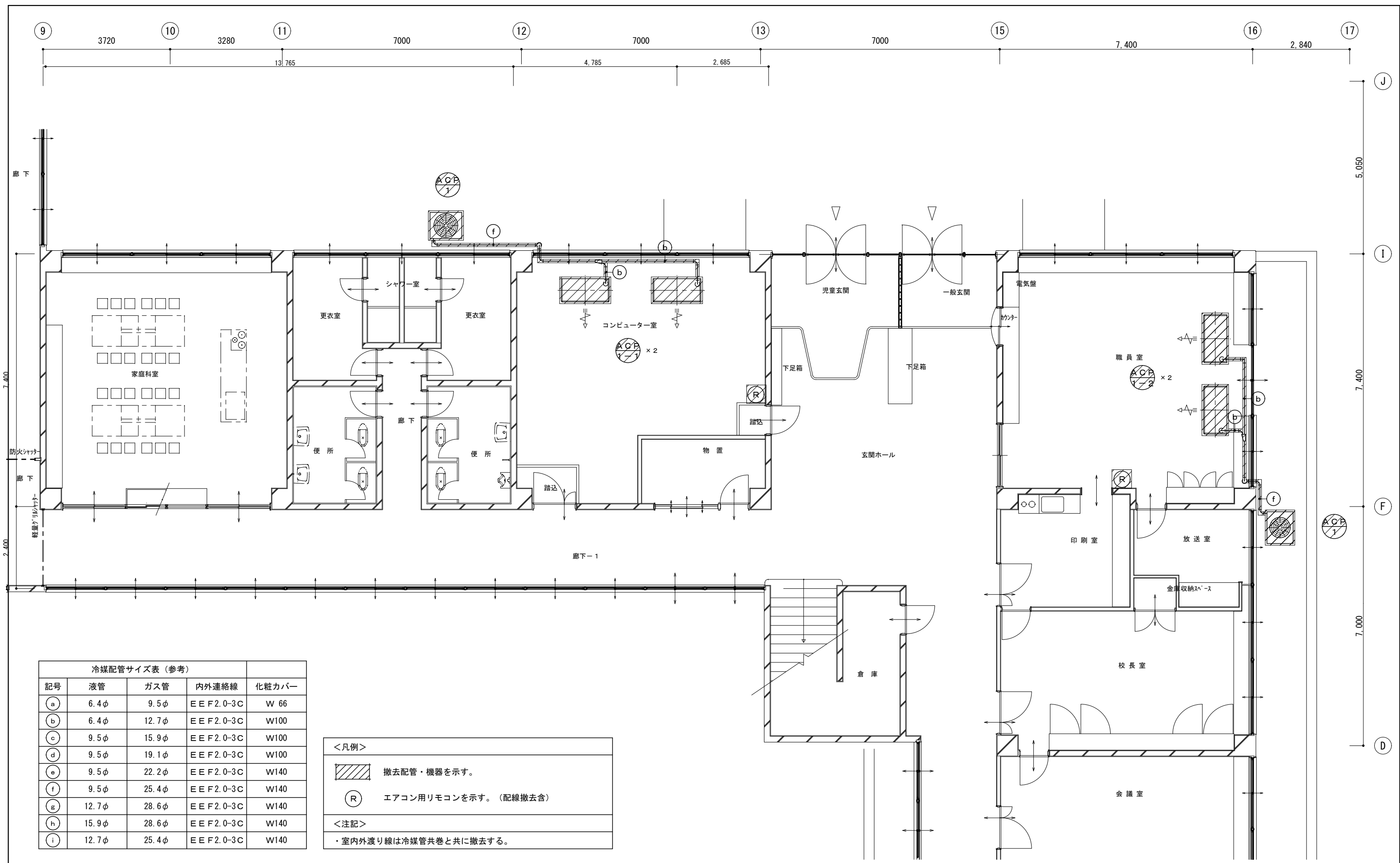
空調機器リスト (撤去)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
ACP 1	パッケージ形空調機 (屋外機)	形式: 空気熱源ヒートポンプ式 冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW (P224) 付属品: 鋼製架台・防護ネット・防雪フード	1	200	(冷) 6.00 (暖) 6.27	2	室外機置場	パナソニック:CU-P224XF
ACP 1	パッケージ形空調機 (室内機)	形式: 空冷式パッケージエアコン: 天吊形 冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW (P112) 付属品: ワイヤードリモコン	1	200	(冷) 0.22 (暖) 0.22	4	職員室 コンピューター室	パナソニック:CS-P112TF
ACP 2	パッケージ形空調機 (屋外機)	形式: 空冷式パッケージエアコン 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56) 付属品: RCブロック架台	1	200	(冷) --- (暖) ---	1	室外機置場	東芝:ROA-AP632HJ
ACP 2	パッケージ形空調機 (室内機)	形式: 空冷式パッケージエアコン: 天井カセット形 (4方向) 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56) 付属品: ワイヤードリモコン	1	200	(冷) --- (暖) ---	1	給食室	東芝:ROA-AP632HJ
ACR 1	ルームエアコン (屋外機)	形式: 壁掛形ルームエアコン 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56) 付属品: 樹脂製ブロック架台	1	200	(冷) --- (暖) ---	1	室外機置場 室外機置場	パナソニック:CS-63NA2E9-W
ACR 1	ルームエアコン (室内機)	形式: 壁掛形ルームエアコン 冷房能力: 5.6kW 暖房能力: 6.3kW (P56)	1	200	(冷) --- (暖) ---	1	保健室	パナソニック:CS-63NA2E9-W
FH 1	石油暖房機	形式: FF式・タンク別置タイプ 暖房能力: 8,500kcal/h 燃料消費量: 1.11l/h	1	100	(暖) 0.59	1	室外機置場	VKB100S

換気機器リスト (撤去)								
記号	機器名	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	kW			
EF 1	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ150 処理風量: 580m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	81W (消費)	1	1F印刷室	三菱電機:VD23ZXC
EF 2	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ150 処理風量: 480m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	70W (消費)	3	1F保健室・給食室×2	三菱電機:VD20ZXC
EF 3	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ150 処理風量: 380m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	51W (消費)	4	1F家庭科室	三菱電機:VD20ZXC
EF 4	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ150 処理風量: 270m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	22W (消費)	5	1F職員室×2・校長室 会議室×2	三菱電機:VD18ZXC
EF 5	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ150 処理風量: 135m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	14W	2	1Fコンピューター室 放送室	三菱電機:VD15ZXC
EF 6	天井埋込換気扇	形式: 低騒音形・接続ダクト: φ100 処理風量: 72m <sup>3</sup> /h・機外静圧: 40Pa 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	16.5W	4	1F男子・女子便所 シャワー室×2	三菱電機:VD10ZXC
EF 7	有圧換気扇	形式: 格子形 (電気式シャッタータイプ)・羽根径: φ300 処理風量: 1,900m <sup>3</sup> /h 付属品: 風量切替スイッチ	1	100	16.5W	1	1F湯沸室	三菱電機:VD10ZXC
EF 8	壁扇	形式: 格子形 (電気式シャッタータイプ)・羽根径: φ250 処理風量: 900m <sup>3</sup> /h	1	100	18W (消費)	3	1F湯沸室 2F理科室×2	三菱電機:EX-25EH2
EF 9	壁扇	形式: 格子形 (電気式シャッタータイプ)・羽根径: φ200 処理風量: 600m <sup>3</sup> /h	1	100	20.5W (消費)	2	2F普通教室-5	三菱電機:EX-25EH2

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M37 機械	高齢者等福祉施設整備工事	空調換気設備撤去 機器リスト	N/S	R8.06		



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M38	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調設備 全体平面図 (撤去図)	1:200	R8.06	
機械					



冷媒配管サイズ表 (参考)				
記号	液管	ガス管	内外連絡線	化粧カバー
a	6.4φ	9.5φ	EEF2.0-3C	W 66
b	6.4φ	12.7φ	EEF2.0-3C	W100
c	9.5φ	15.9φ	EEF2.0-3C	W100
d	9.5φ	19.1φ	EEF2.0-3C	W100
e	9.5φ	22.2φ	EEF2.0-3C	W140
f	9.5φ	25.4φ	EEF2.0-3C	W140
g	12.7φ	28.6φ	EEF2.0-3C	W140
h	15.9φ	28.6φ	EEF2.0-3C	W140
i	12.7φ	25.4φ	EEF2.0-3C	W140

<凡例>

撤去配管・機器を示す。

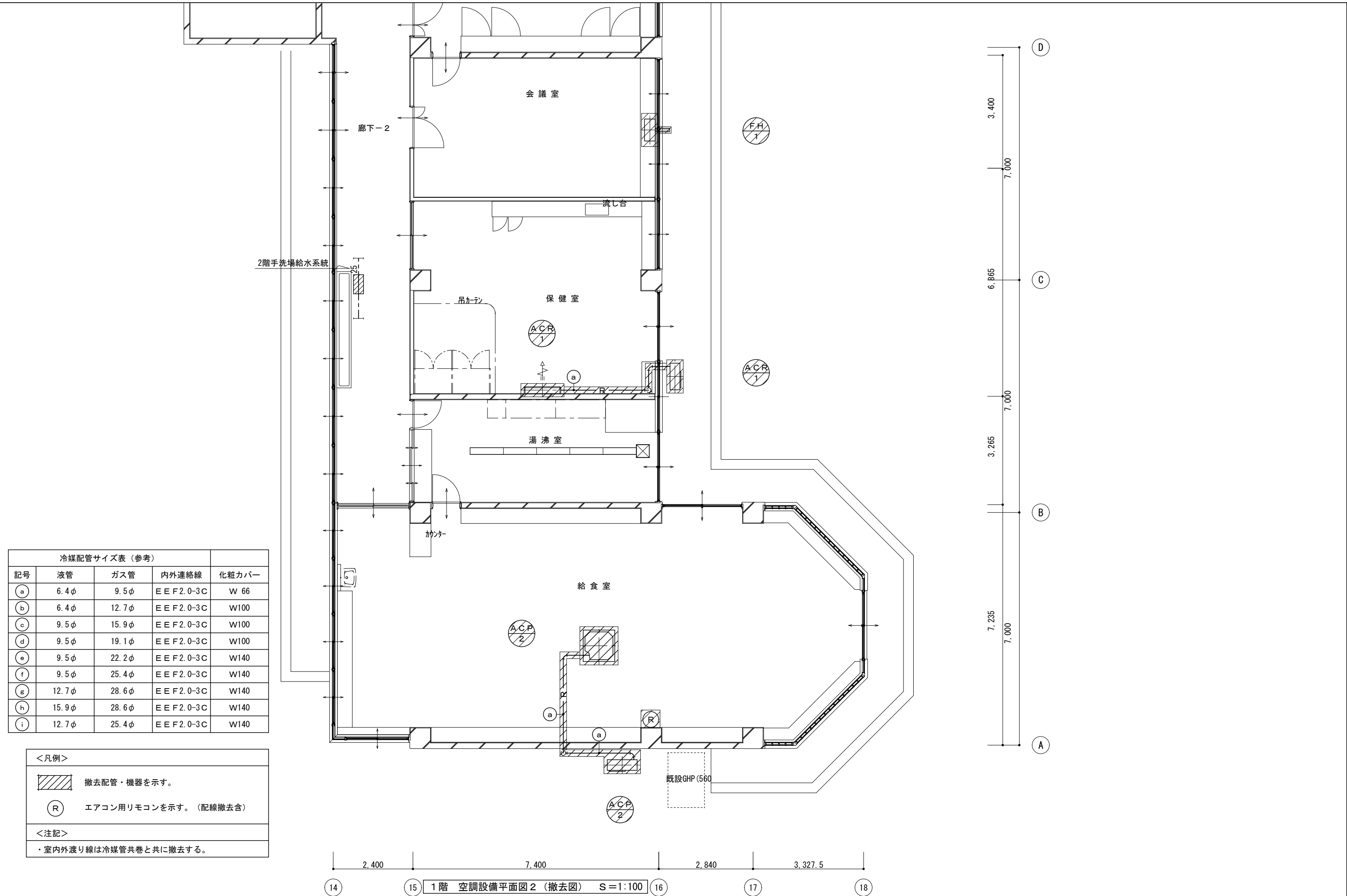
エアコン用リモコンを示す。(配線撤去含)

<注記>

・室内外渡り線は冷媒管共巻と共に撤去する。

1階 空調設備平面図1 (撤去図) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M39	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調設備平面図1 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					



冷媒配管サイズ表 (参考)				
記号	液管	ガス管	内外連絡線	化粧カバー
a	6.4φ	9.5φ	EEF2.0-3C	W 66
b	6.4φ	12.7φ	EEF2.0-3C	W100
c	9.5φ	15.9φ	EEF2.0-3C	W100
d	9.5φ	19.1φ	EEF2.0-3C	W100
e	9.5φ	22.2φ	EEF2.0-3C	W140
f	9.5φ	25.4φ	EEF2.0-3C	W140
g	12.7φ	28.6φ	EEF2.0-3C	W140
h	15.9φ	28.6φ	EEF2.0-3C	W140
i	12.7φ	25.4φ	EEF2.0-3C	W140

<凡例>

撤去配管・機器を示す。

エアコン用リモコンを示す。(配線撤去含)

<注記>

・室内外渡り線は冷媒管共巻と共に撤去する。

14 15 16 17 18

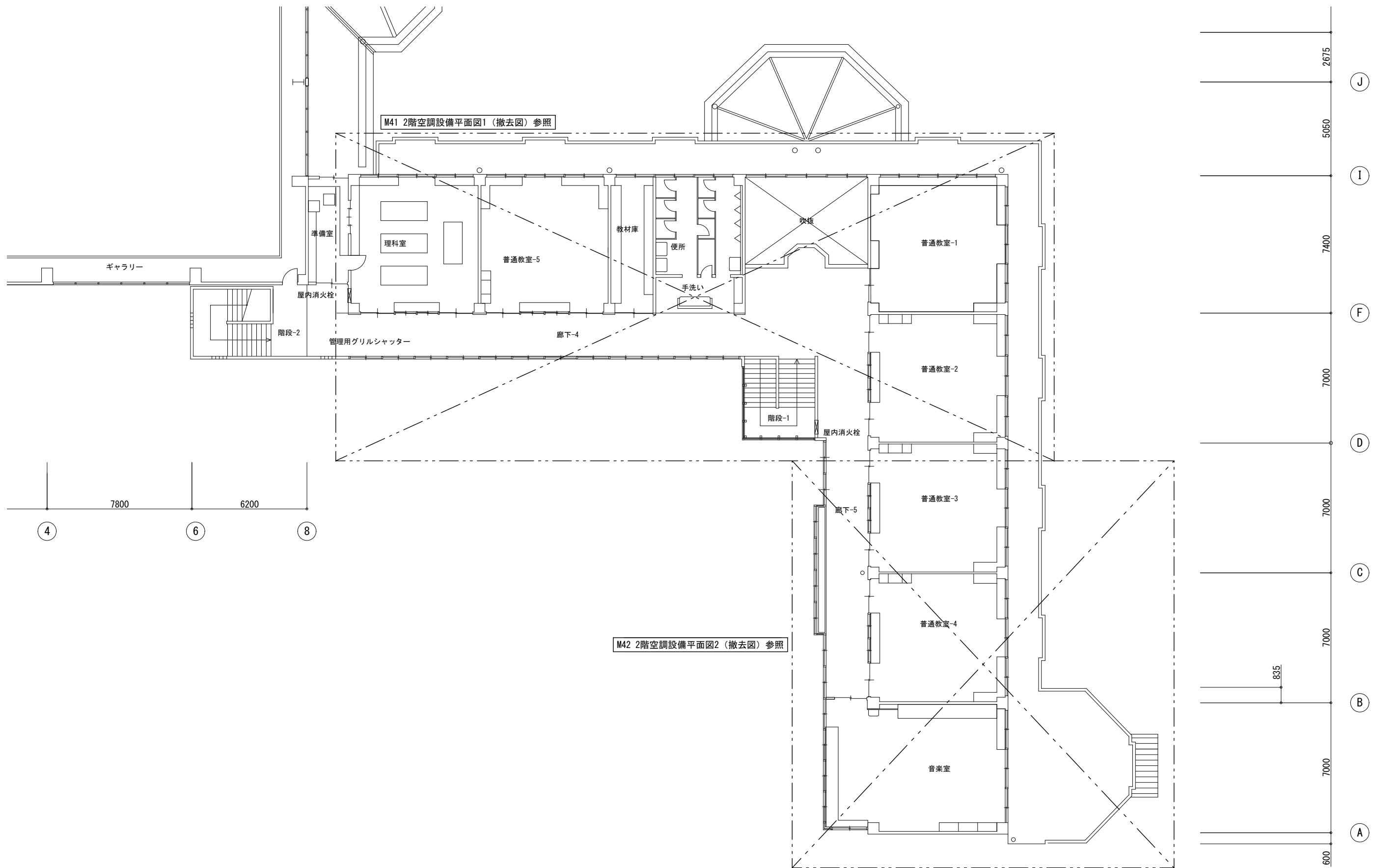
2,400 7,400 2,840 3,327.5

15 1階 空調設備平面図2 (撤去図) S=1:100

3,400 7,000 6,865 7,000 3,265 7,000 7,235 7,000

A B C D

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M40	高齢者等福祉施設整備工事	1階 空調設備平面図2 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					設計者

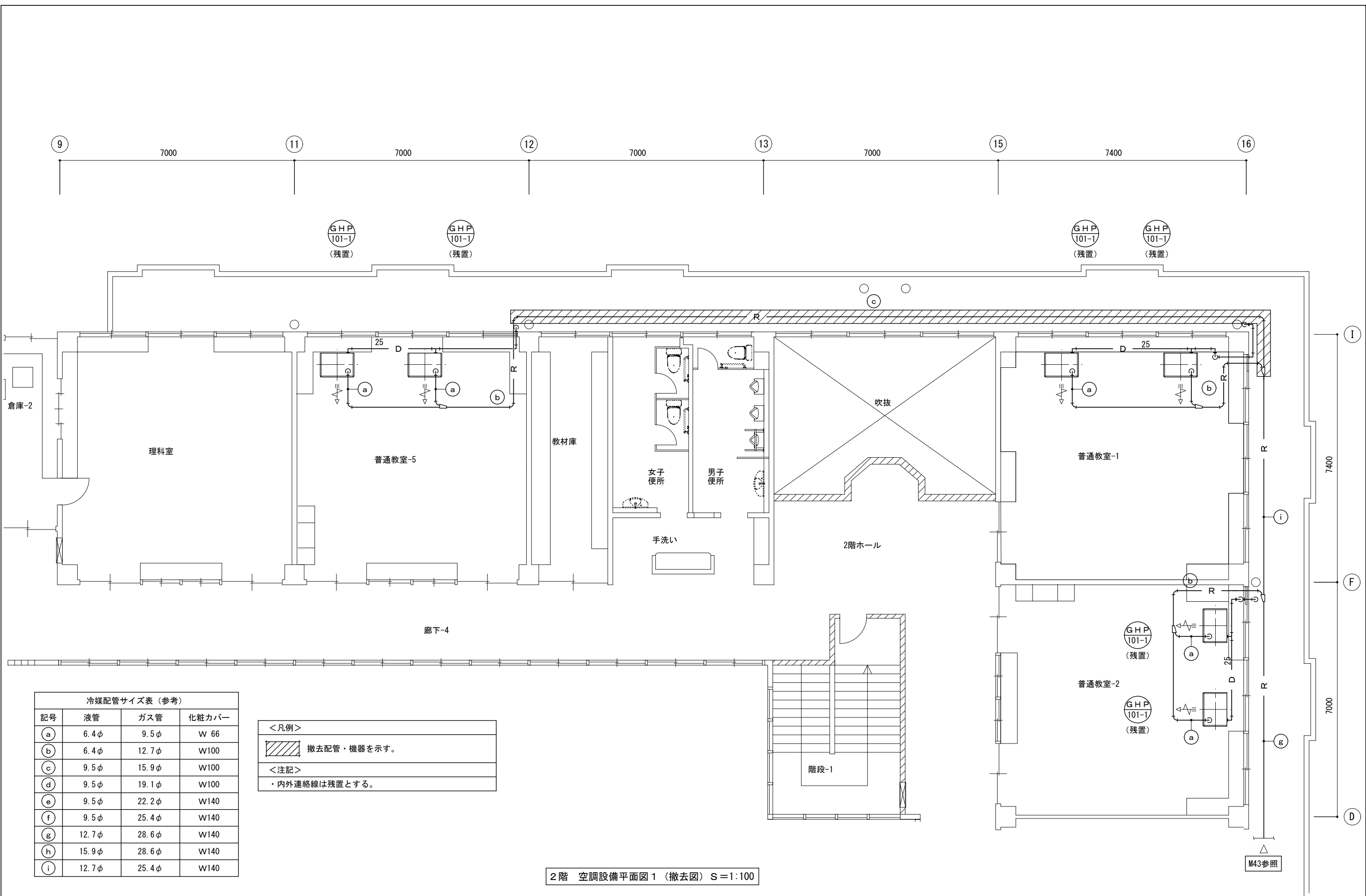


M42 2階空調設備平面図2 (撤去図) 参照

M41 2階空調設備平面図1 (撤去図) 参照

2階 空調設備全体平面図 (撤去図) S=1:200

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M41	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備 全体平面図 (撤去図)	1:200	R8.06	
機械					



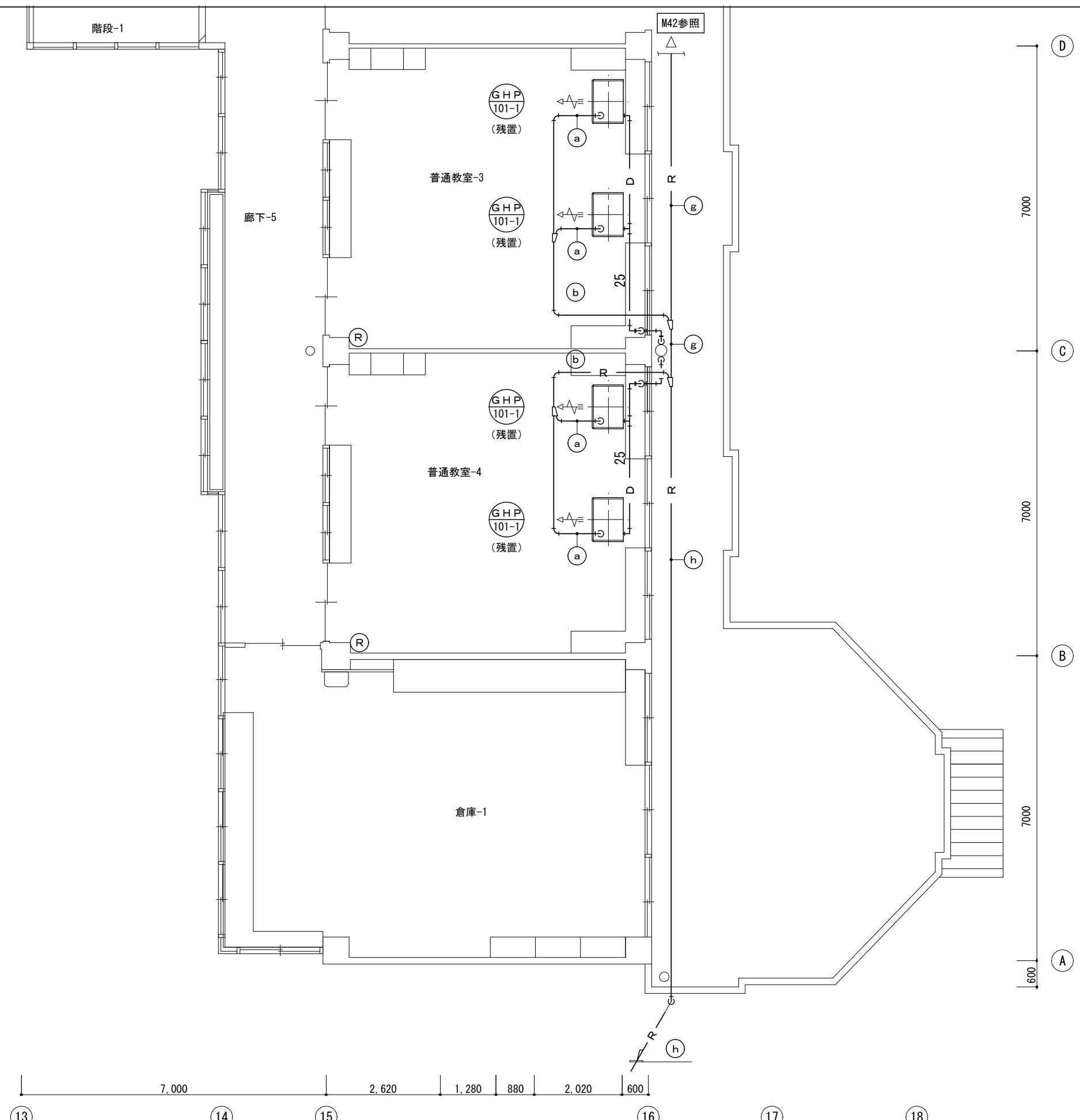
冷媒配管サイズ表 (参考)

記号	液管	ガス管	化粧カバー
a	6.4φ	9.5φ	W 66
b	6.4φ	12.7φ	W100
c	9.5φ	15.9φ	W100
d	9.5φ	19.1φ	W100
e	9.5φ	22.2φ	W140
f	9.5φ	25.4φ	W140
g	12.7φ	28.6φ	W140
h	15.9φ	28.6φ	W140
i	12.7φ	25.4φ	W140

<凡例>  
 撤去配管・機器を示す。  
 <注記>  
 ・内外連絡線は残置とする。

2階 空調設備平面図1 (撤去図) S=1:100

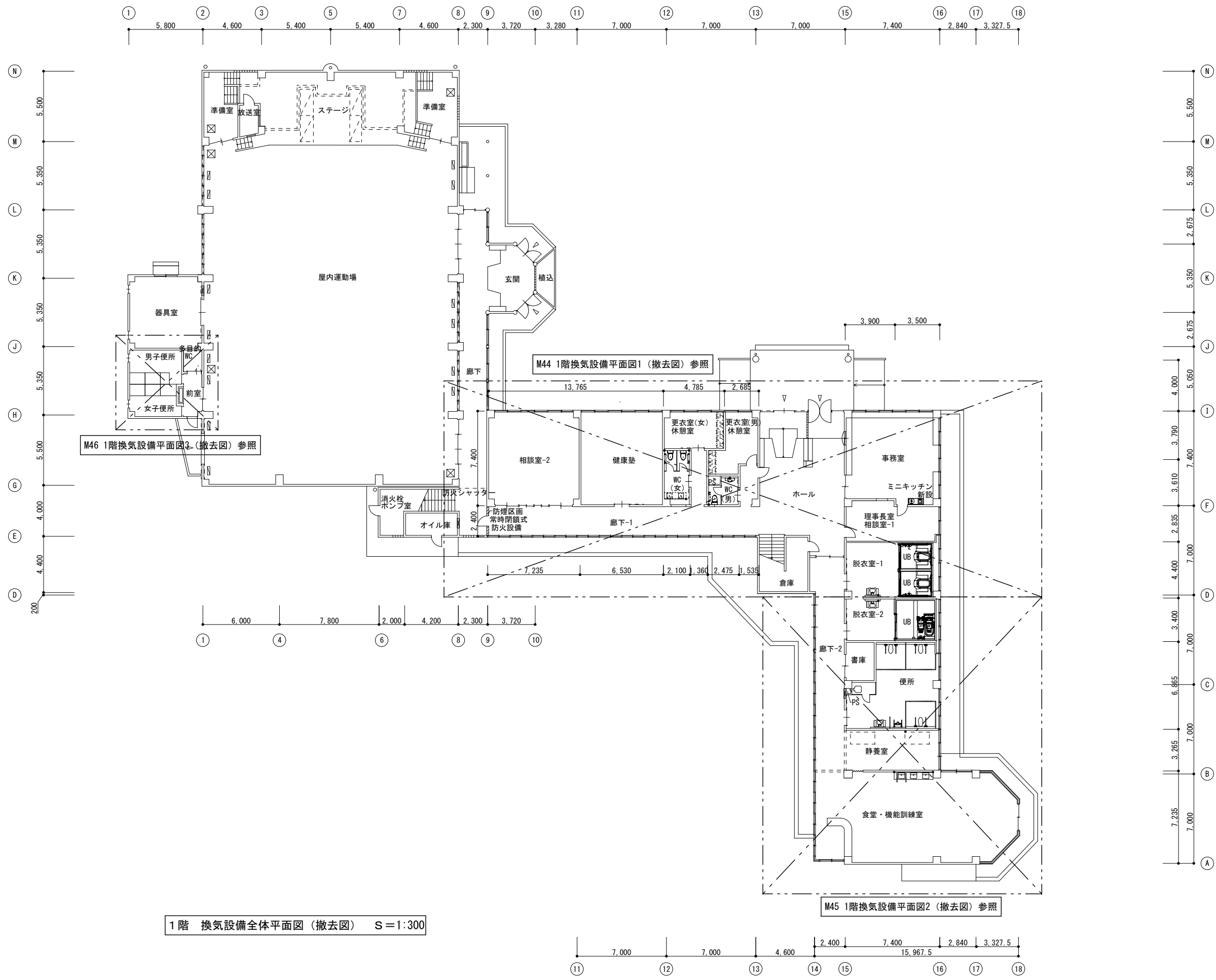
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M42	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備平面図1 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					設計者



冷媒配管サイズ表 (参考)			
記号	液管	ガス管	化粧カバー
a	6.4φ	9.5φ	W 66
b	6.4φ	12.7φ	W100
c	9.5φ	15.9φ	W100
d	9.5φ	19.1φ	W100
e	9.5φ	22.2φ	W140
f	9.5φ	25.4φ	W140
g	12.7φ	28.6φ	W140
h	15.9φ	28.6φ	W140
i	12.7φ	25.4φ	W140

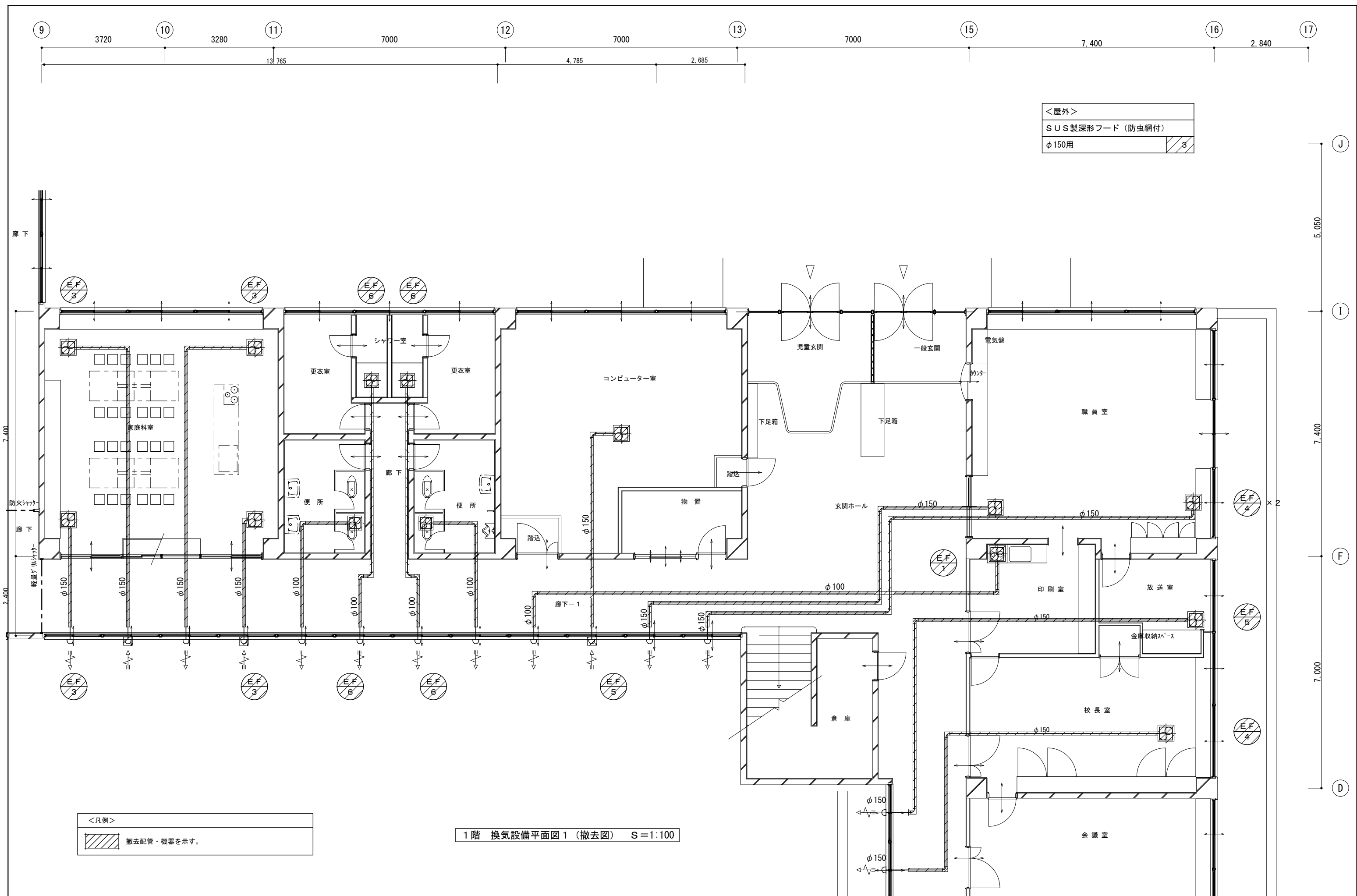
2階 空調設備平面図2 (撤去図) S=1:100  
 ※今回工事において本図範囲での撤去対象はなし

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M43	高齢者等福祉施設整備工事	2階 空調設備平面図2 (撤去図)	1:100	R8.06	設計者
機械					



1階 換気設備全体平面図 (撤去図) S=1:300

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M44	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備 全体平面図 (撤去図)	1:300	R8.06	
機械					

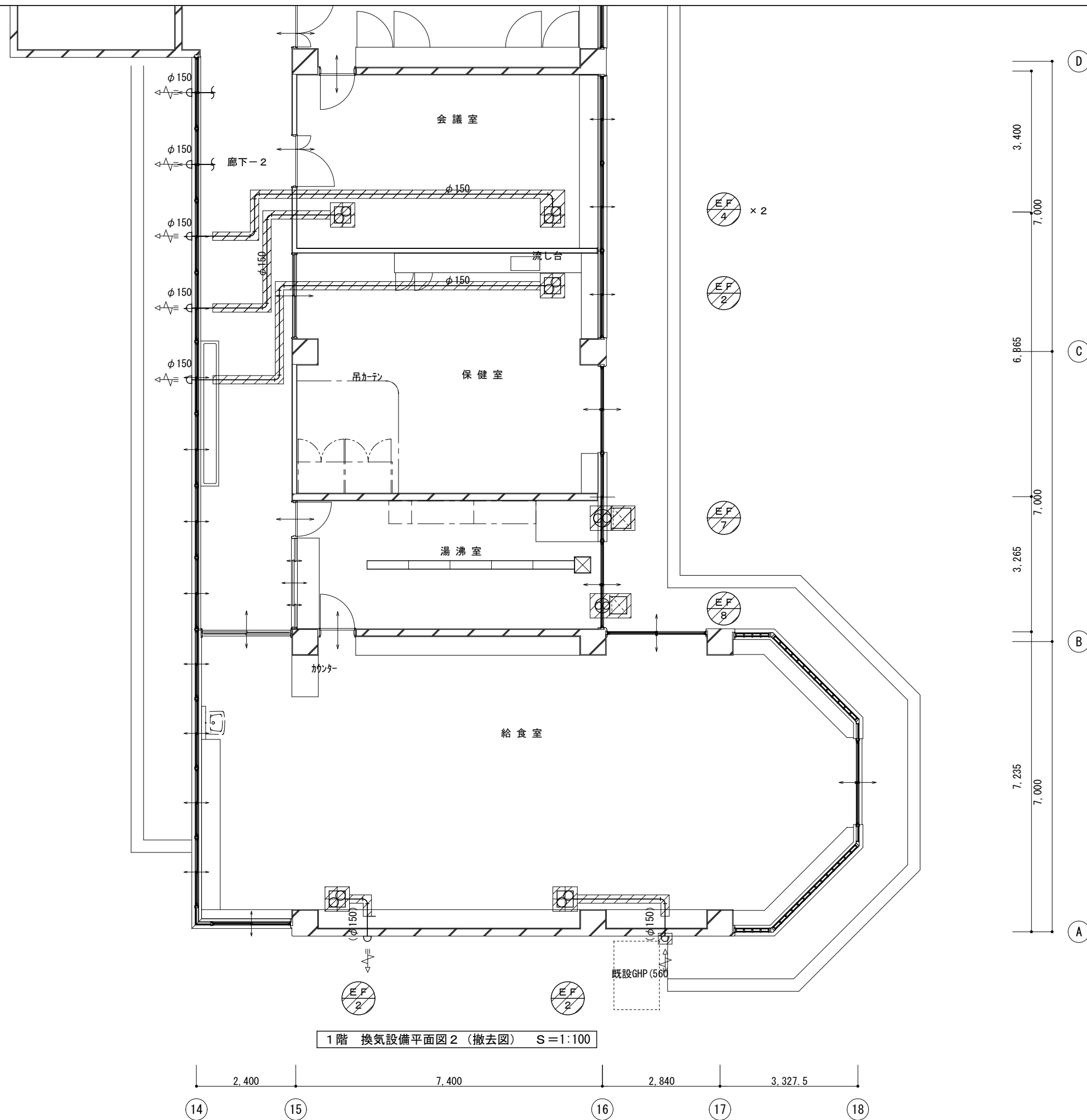


<屋外>  
 SUS製深形フード (防虫網付)  
 φ150用

<凡例>  
 撤去配管・機器を示す。

1階 換気設備平面図1 (撤去図) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M45	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図1 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					設計者

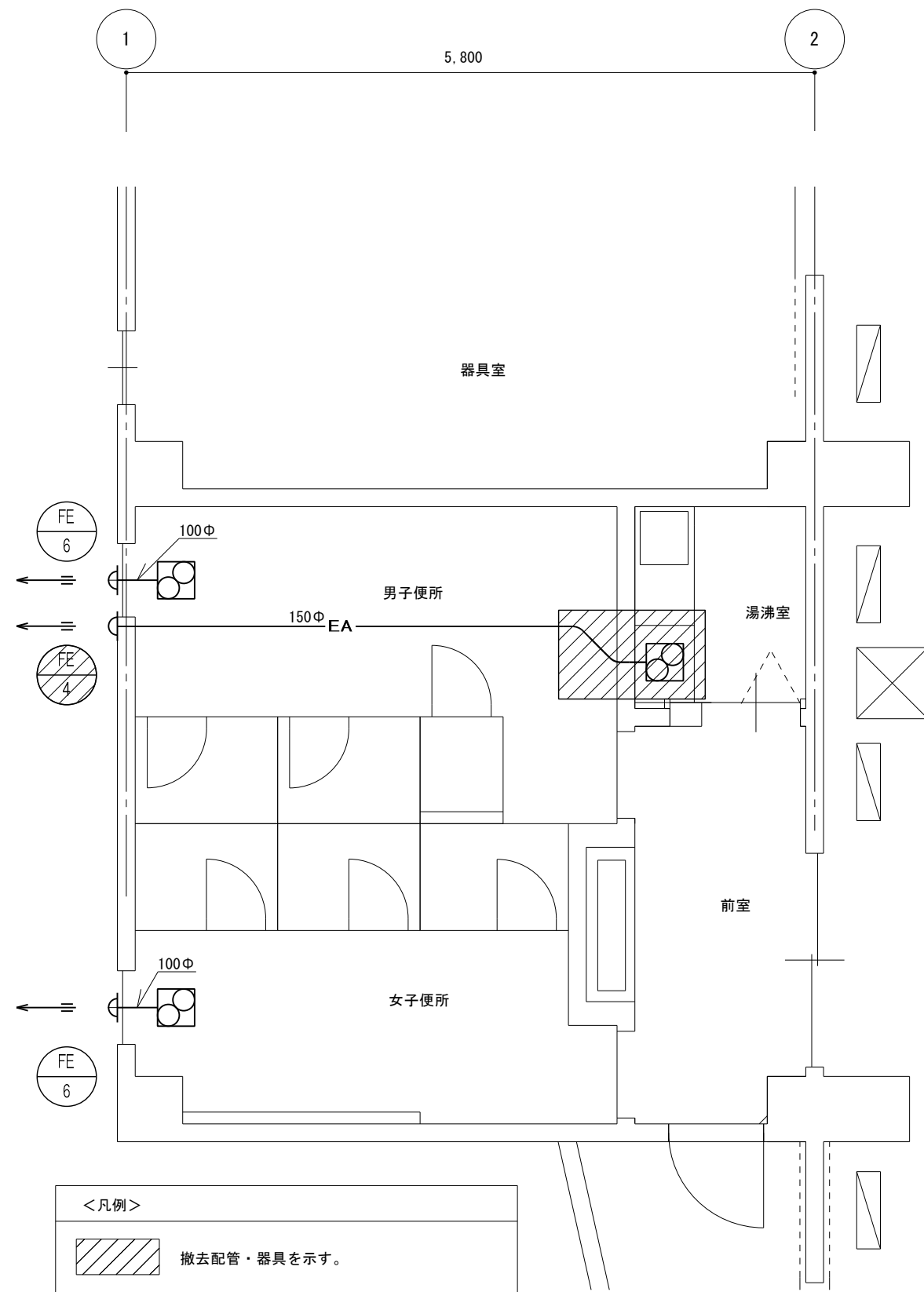


1階 換気設備平面図2 (撤去図) S=1:100

<屋外>	
SUS製深形フード	
φ150用 (防虫網付)	1
SUS製ウェザーカバー	
25cm用	1
30cm用	1

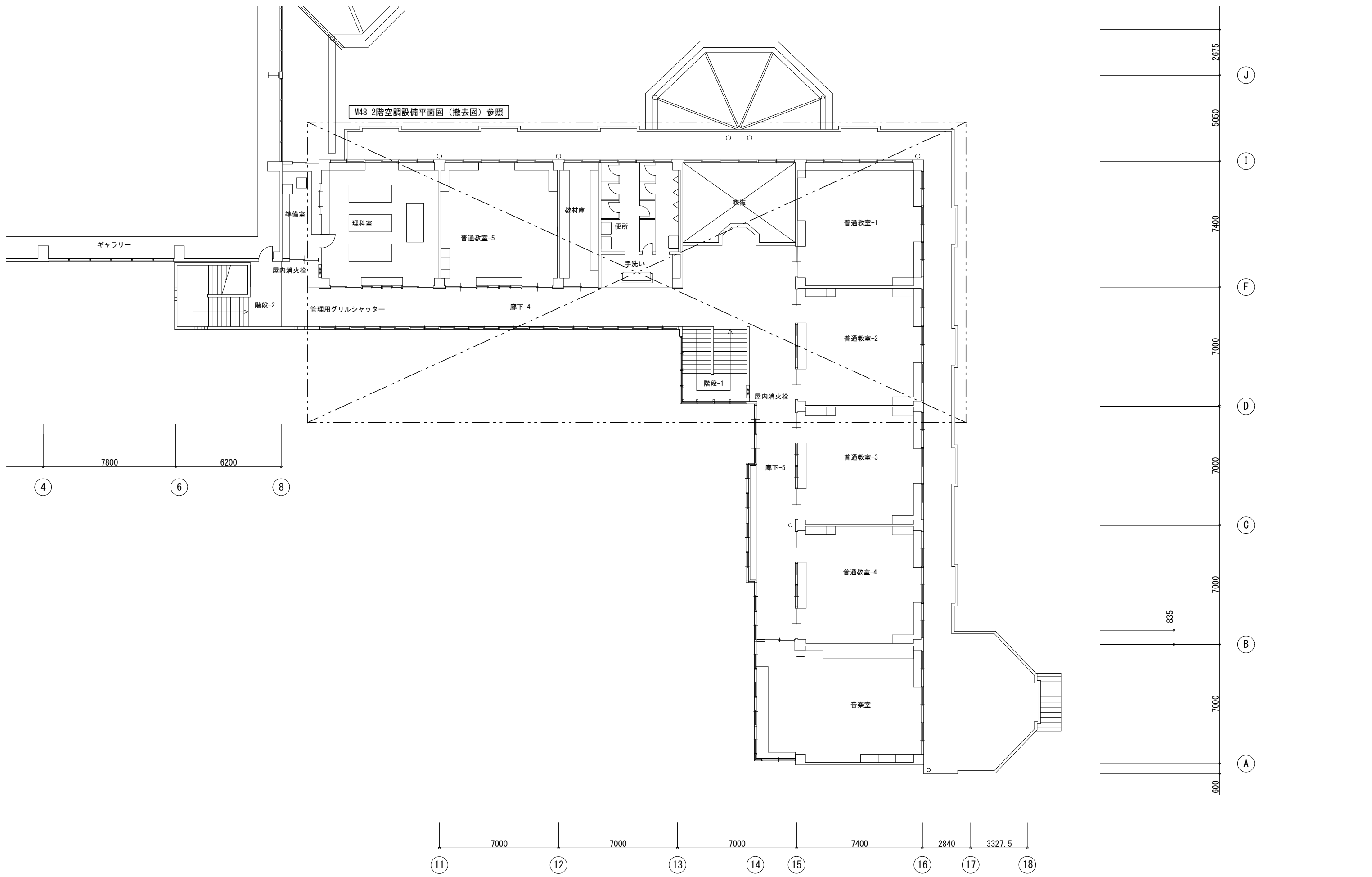
<凡例>	
	撤去配管・機器を示す。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M46	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図2 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					設計者




1階 換気設備平面図3 (撤去図) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M47	高齢者等福祉施設整備工事	1階 換気設備平面図3 (撤去図)	1:50	R8.06	設計者
機械					




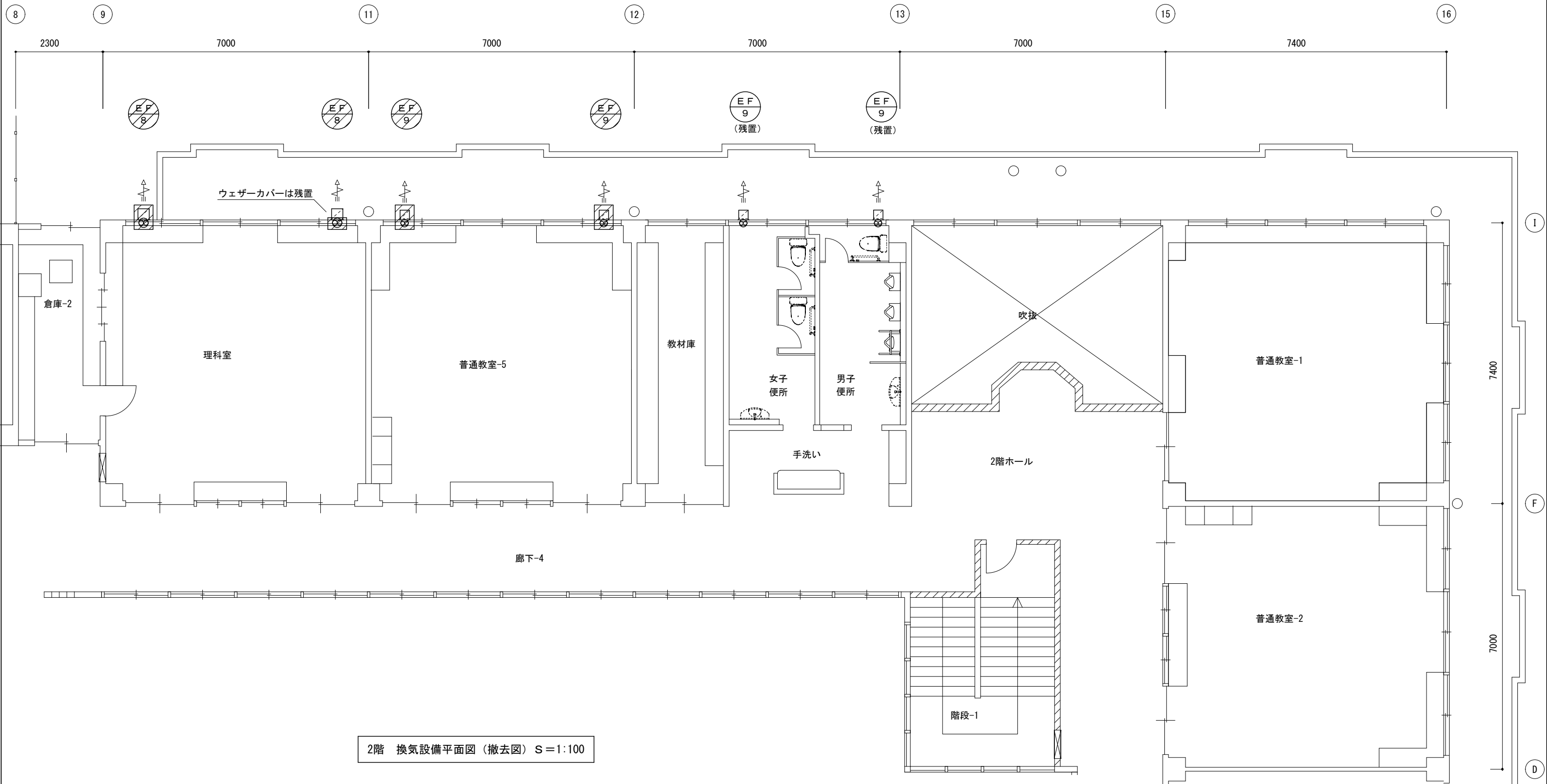
2階 換気設備全体平面図 (撤去図) S=1:200

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M48	高齢者等福祉施設整備工事	2階 換気設備 全体平面図 (撤去図)	1:200	R8.06	
機械					

<凡例>  
 撤去機器・器具を示す。

<普通教室5 撤去機器・器具リスト>  
 ウェザーカバー-20cm 

<理科室 撤去機器・器具リスト>  
 ウェザーカバー-25cm 



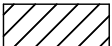
2階 換気設備平面図 (撤去図) S=1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M49	高齢者等福祉施設整備工事	2階 換気設備平面図 (撤去図)	1:100	R8.06	
機械					設計者

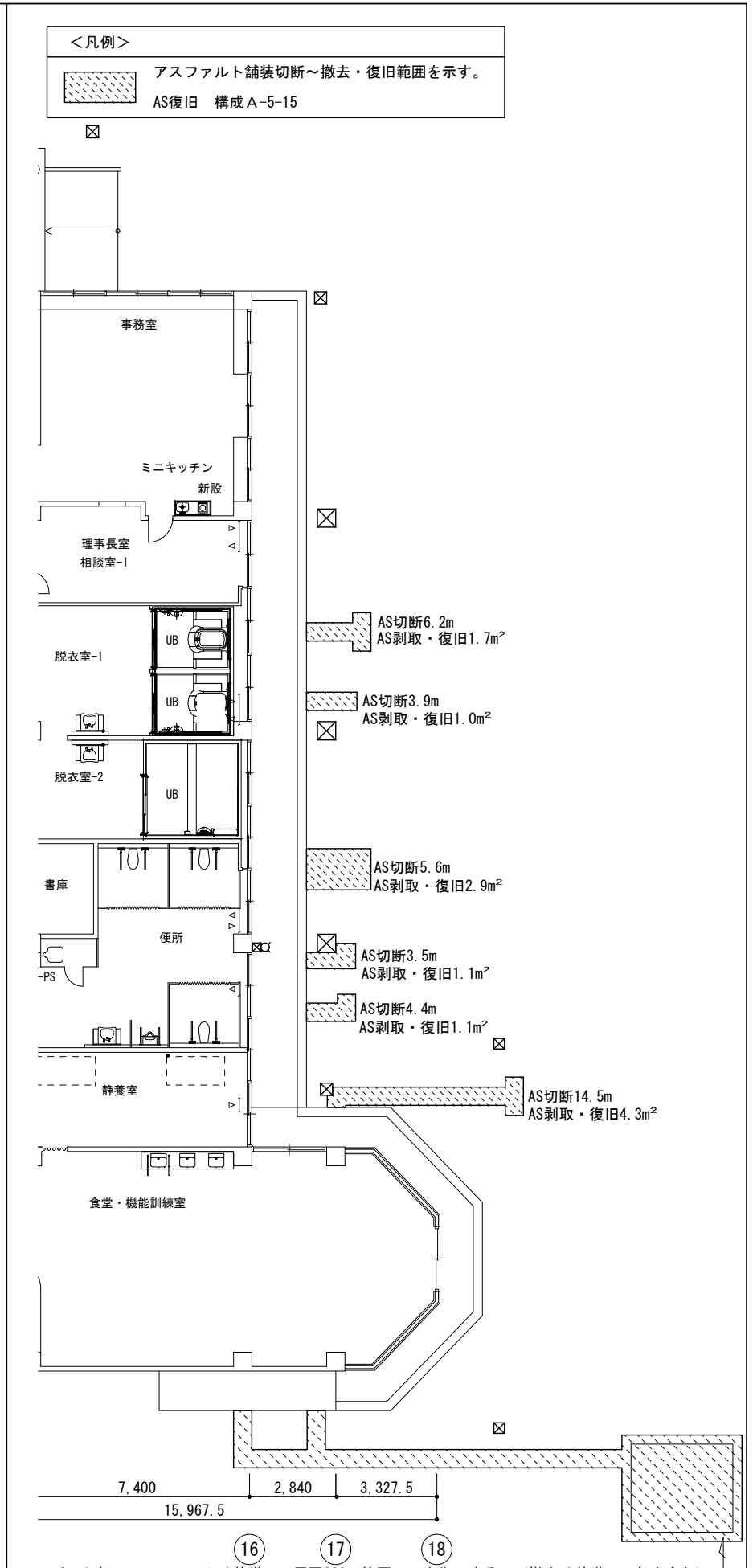
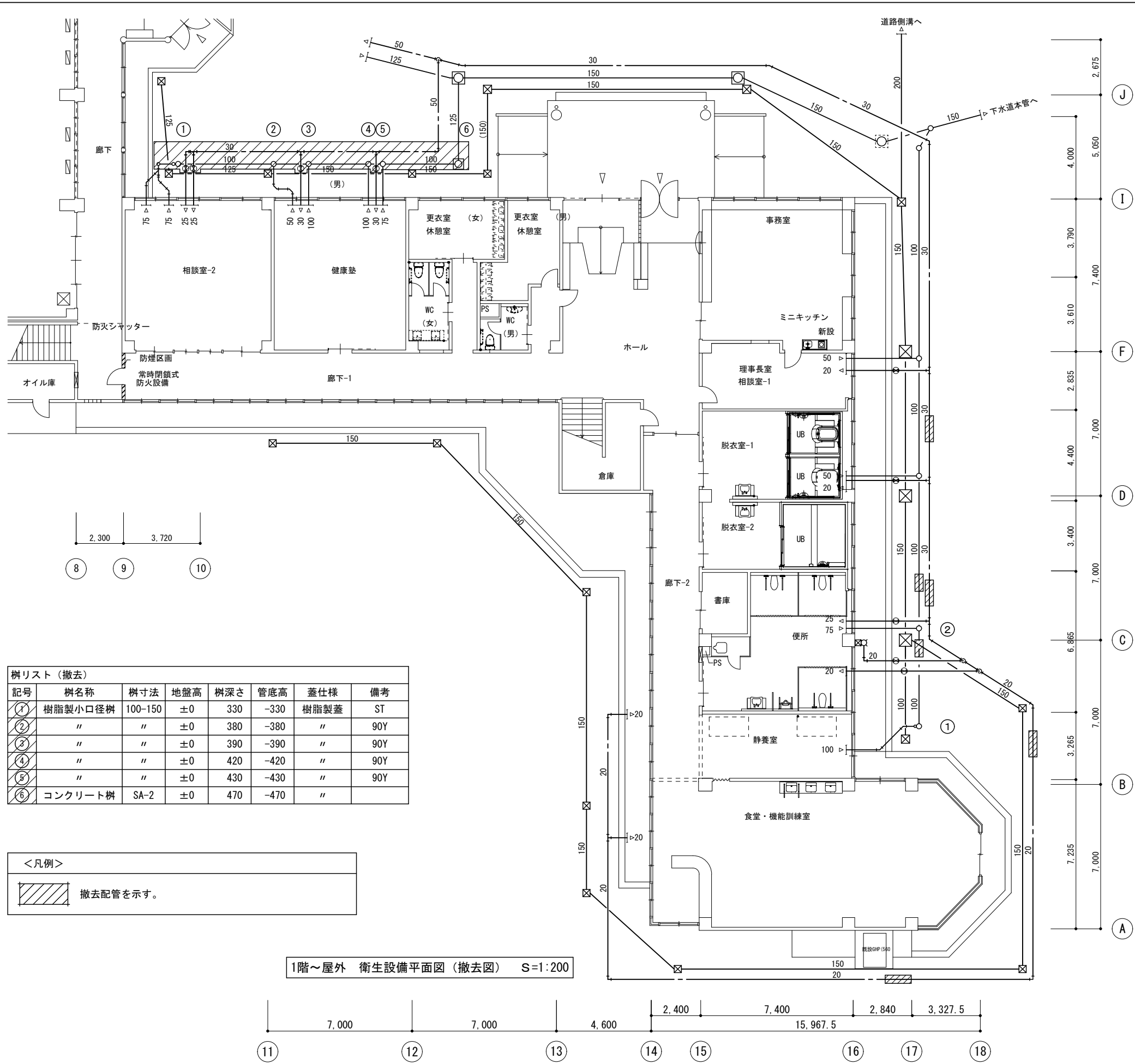
衛生器具リスト (撤去) 旧校舎 1階				
設置場所	品名	仕様・型式・寸法	数量	参考型番
1階男子便所	和風大便器	フラッシュバルブ式	1	TOTO : C137V TV750CM
	ストール小便器	フラッシュバルブ式	1	TOTO : U308F T60PF
	洗面器	壁掛け型	1	TOTO : L220 TL605A
	水石鹸入れ		1	TOTO : TS126AR
	化粧鏡		1	TOTO : TS119AS3
	仕切板	陶器製	1	TOTO : A100
	掃除用流し		1	TOTO : SK22A
1階女子便所	和風大便器	フラッシュバルブ式	2	TOTO : C137V TV750CM
	洗面器	壁掛け型	2	TOTO : L220 TL605A
	水石鹸入れ		2	TOTO : TS126AR
	化粧鏡		2	TOTO : TS119AS3
1階男子シャワー室	シャワーセット		1	TOTO : TGM111C
	ガス給湯器	10号	1	TOTO : RGH10EME. GV15. SC15
	化粧鏡	400×600	1	
1階女子シャワー室	シャワーセット		1	TOTO : TGM111C
	ガス給湯器	10号	1	TOTO : RGH10EME. GV15. SC15
	化粧鏡	400×600	1	

衛生器具リスト (撤去) 旧校舎 2階				
設置場所	品名	仕様・型式・寸法	数量	参考型番
2階理科室	流しトラップ	水栓共	1	
2階男子便所	和風大便器	フラッシュバルブ式	2	TOTO : C137V TV750CM
	ストール小便器	フラッシュバルブ式	5	TOTO : U308F T60PF
	洗面器	壁掛け型	1	TOTO : L220 TL605A
	水石鹸入れ		1	TOTO : TS126AR
	化粧鏡		1	TOTO : TS119AS3
	仕切板	陶器製	1	TOTO : A100
	洋風便器	フラッシュバルブ式	1	TOTO : C21 TV750LMV1
2階女子便所	和風大便器	フラッシュバルブ式	4	TOTO : C137V TV750CM
	洗面器	壁掛け型	2	TOTO : L220 TL605A
	水石鹸入れ		2	TOTO : TS126AR
	化粧鏡		2	TOTO : TS119AS3

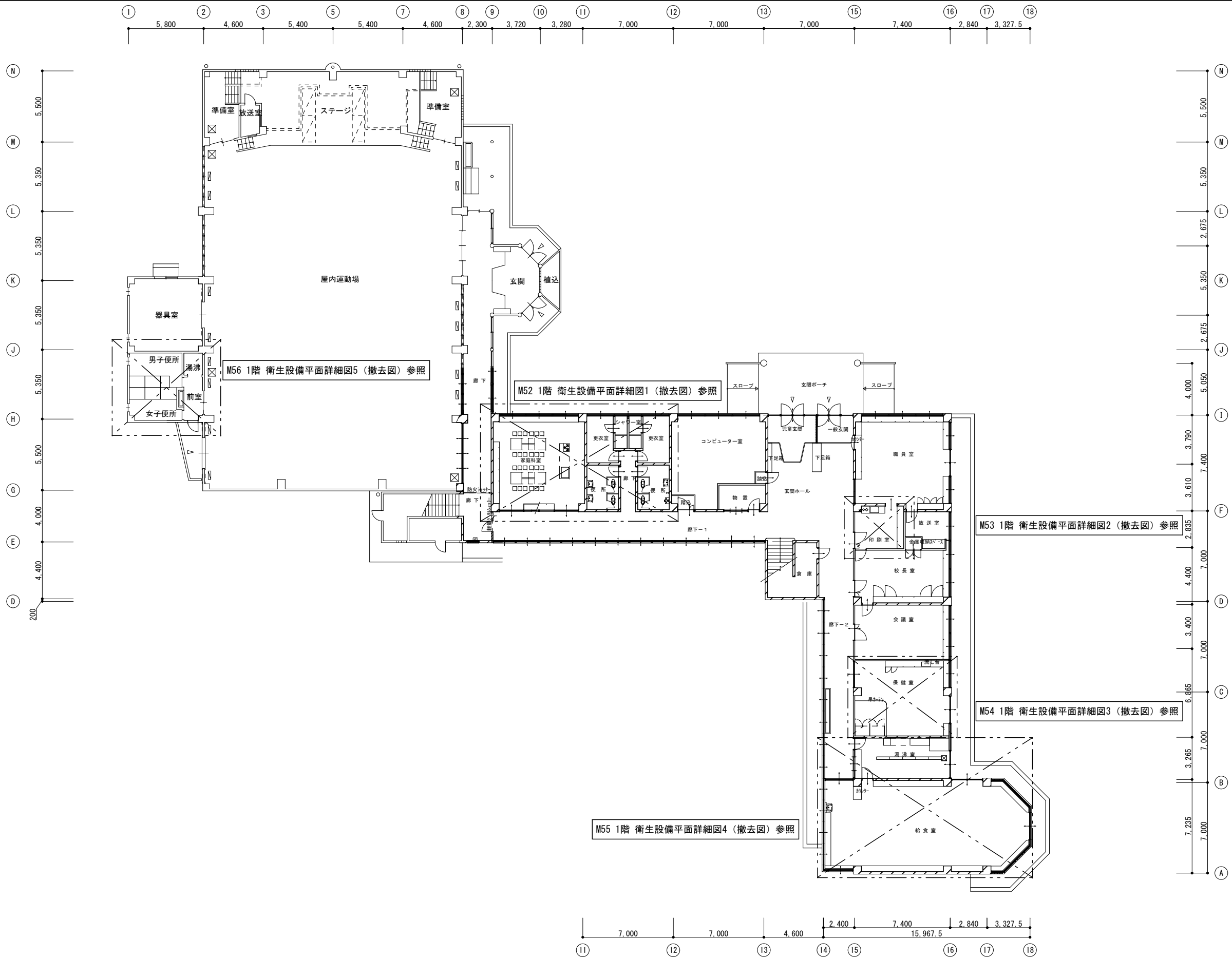
<特記事項>

<凡例>
 撤去器具を示す。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M50	高齢者等福祉施設整備工事	衛生器具リスト (撤去)	N/S	R8.06		
機械						

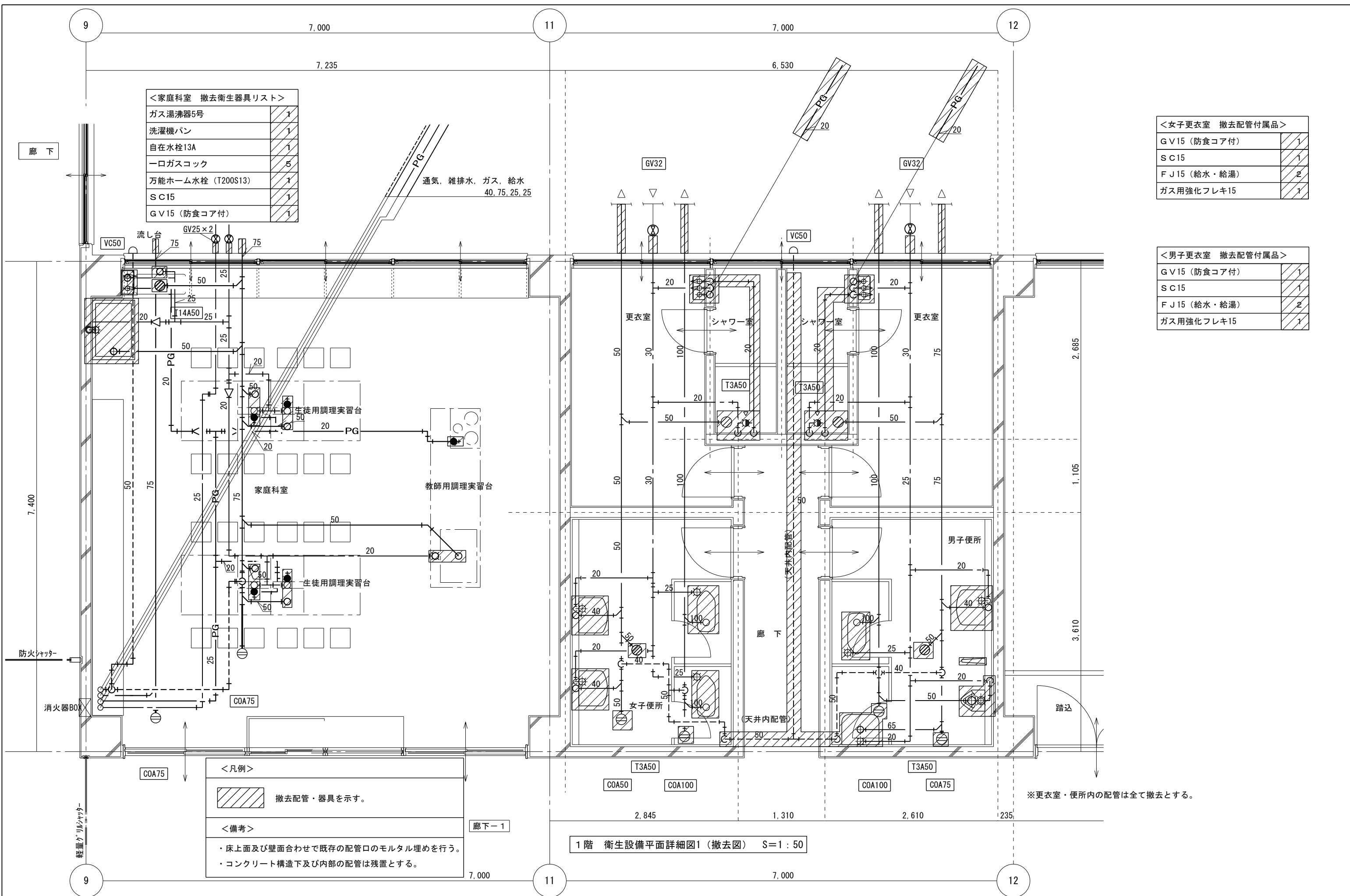


図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 ・ 年 月	担 当 者
M51	高齢者等福祉施設整備工事	1階～屋外 衛生設備平面図 (撤去図)	1 : 200	R8.06	設計者



1階 衛生設備全体平面図 (撤去図) S=1:300

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M52	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 全体平面図 (撤去図)	1:300	R8.06	
機械					



<家庭科室 撤去衛生器具リスト>

ガス湯沸器5号	1
洗濯機パン	1
自在水栓13A	1
一口ガスコック	5
万能ホーム水栓 (T200S13)	1
SC15	1
GV15 (防食コア付)	1

<女子更衣室 撤去配管付属品>

GV15 (防食コア付)	1
SC15	1
FJ15 (給水・給湯)	2
ガス用強化フレキシ15	1

<男子更衣室 撤去配管付属品>

GV15 (防食コア付)	1
SC15	1
FJ15 (給水・給湯)	2
ガス用強化フレキシ15	1

<凡例>

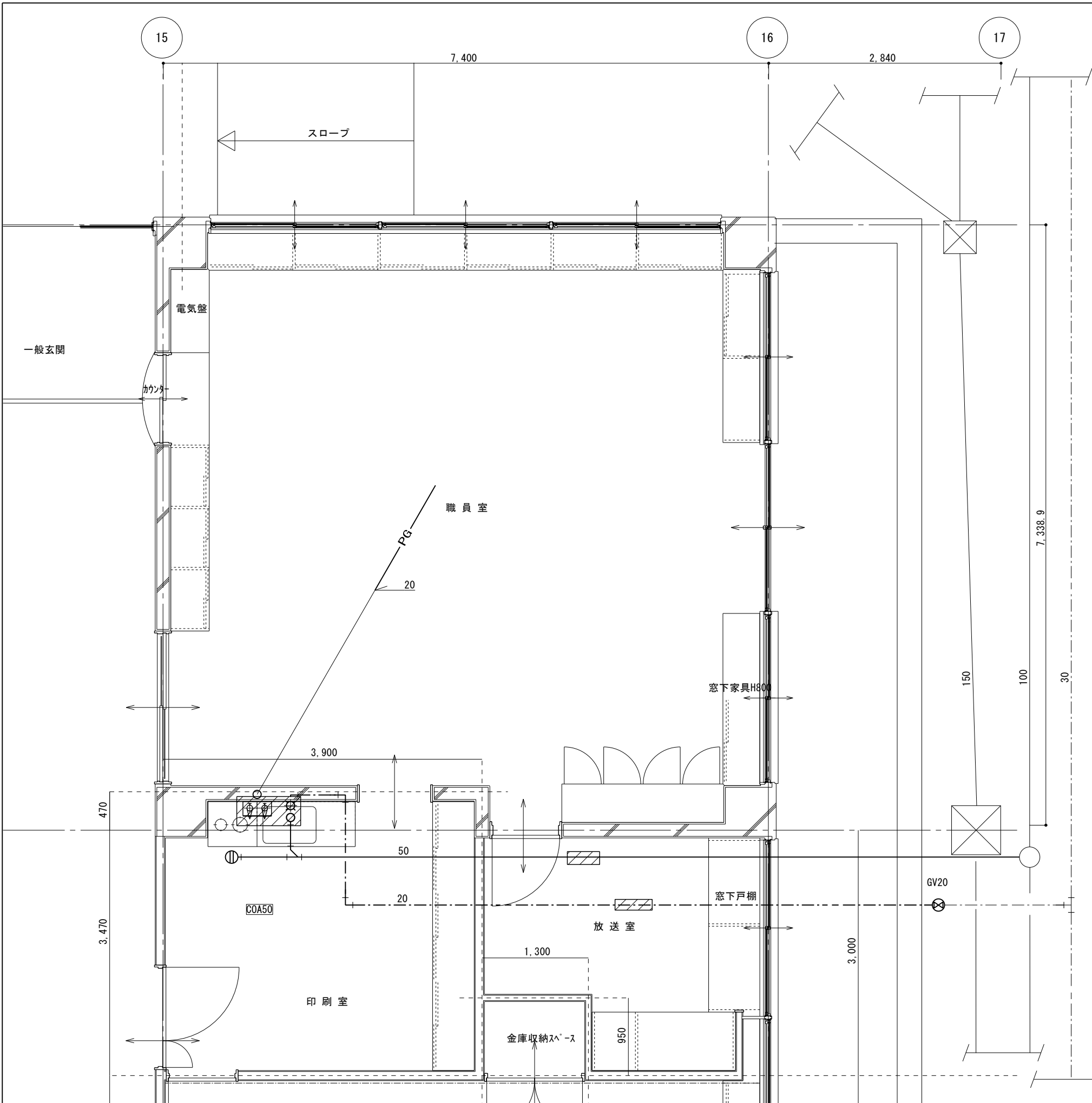
撤去配管・器具を示す。

<備考>

- ・床上面及び壁面合わせて既存の配管口のモルタル埋めを行う。
- ・コンクリート構造下及び内部の配管は残置とする。

1階 衛生設備平面詳細図1 (撤去図) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M53 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図1 (撤去図)	1:50	R8.06	設計者



<印刷室 撤去衛生器具リスト>

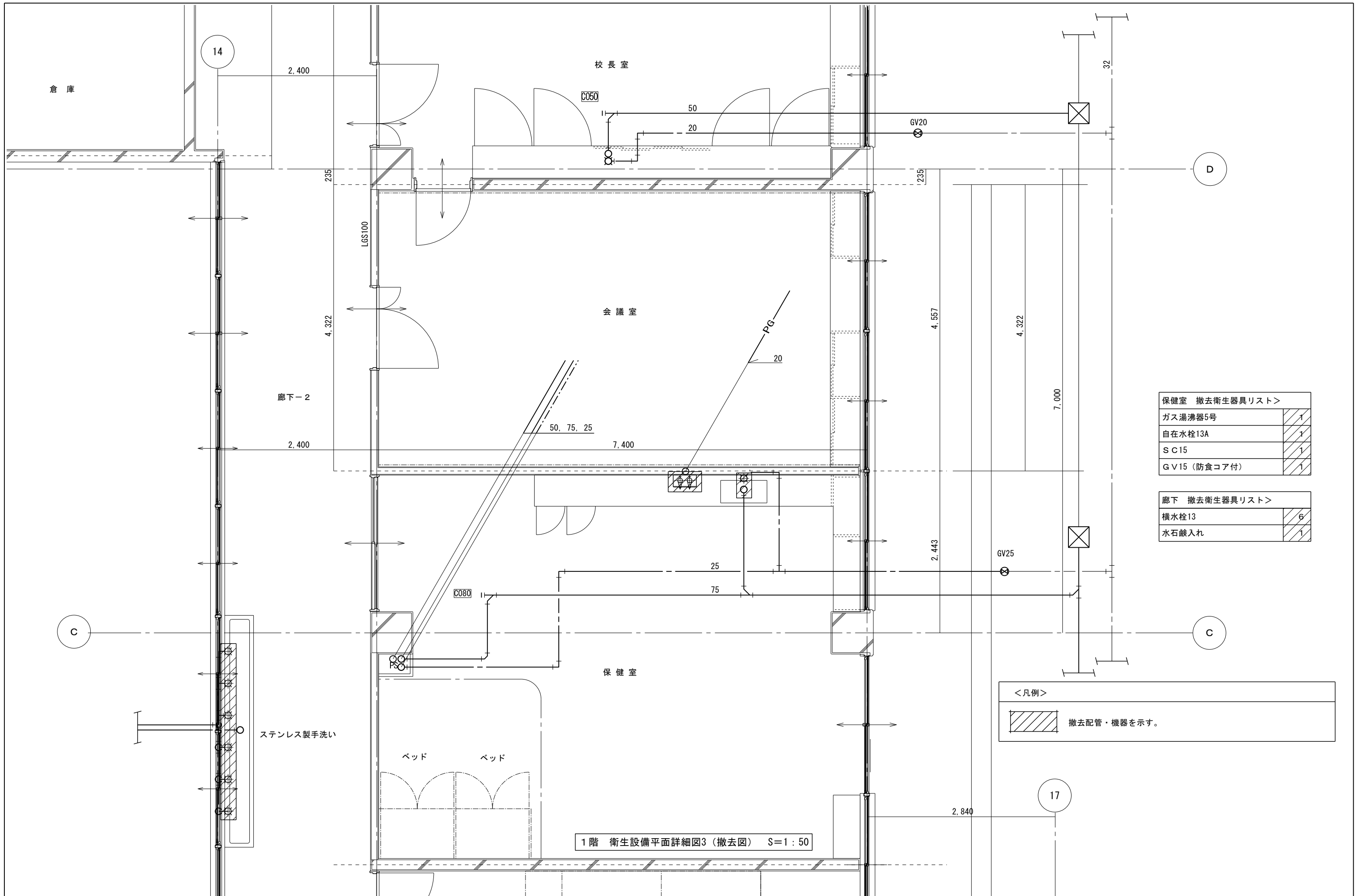
ガス湯沸器5号	1
自在水栓13A	1
SC15	1
GV15 (防食コア付)	1

1階 衛生設備平面詳細図2 (撤去図) S=1:50

<凡例>

	撤去配管・機器を示す。
--	-------------

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M54 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図2 (撤去図)	1:50	R8.06	設計者



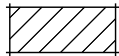
保健室 撤去衛生器具リスト>

ガス湯沸器5号	1
自在水栓13A	1
S C 15	1
G V 15 (防食コア付)	1

廊下 撤去衛生器具リスト>

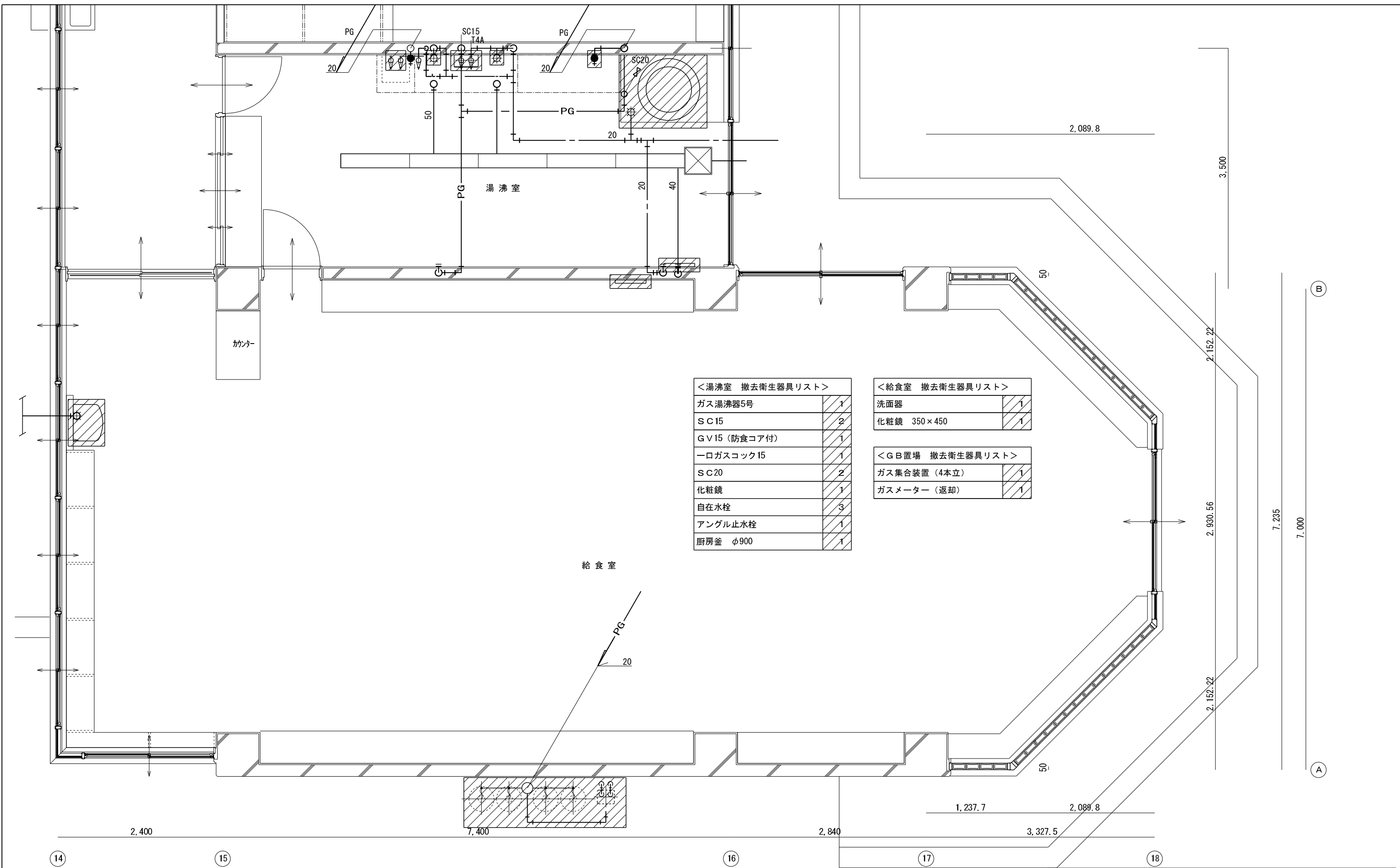
横水栓13	6
水石鹸入れ	1

<凡例>

 撤去配管・機器を示す。

1階 衛生設備平面詳細図3 (撤去図) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M55	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図3 (撤去図)	1:50	R8.06	
機械					設計者



<湯沸室 撤去衛生器具リスト>

ガス湯沸器5号	1
SC15	2
GV15 (防食コア付)	1
一口ガスコック15	1
SC20	2
化粧鏡	1
自在水栓	3
アングル止水栓	1
厨房釜 φ900	1

<給食室 撤去衛生器具リスト>

洗面器	1
化粧鏡 350×450	1

<GB置場 撤去衛生器具リスト>

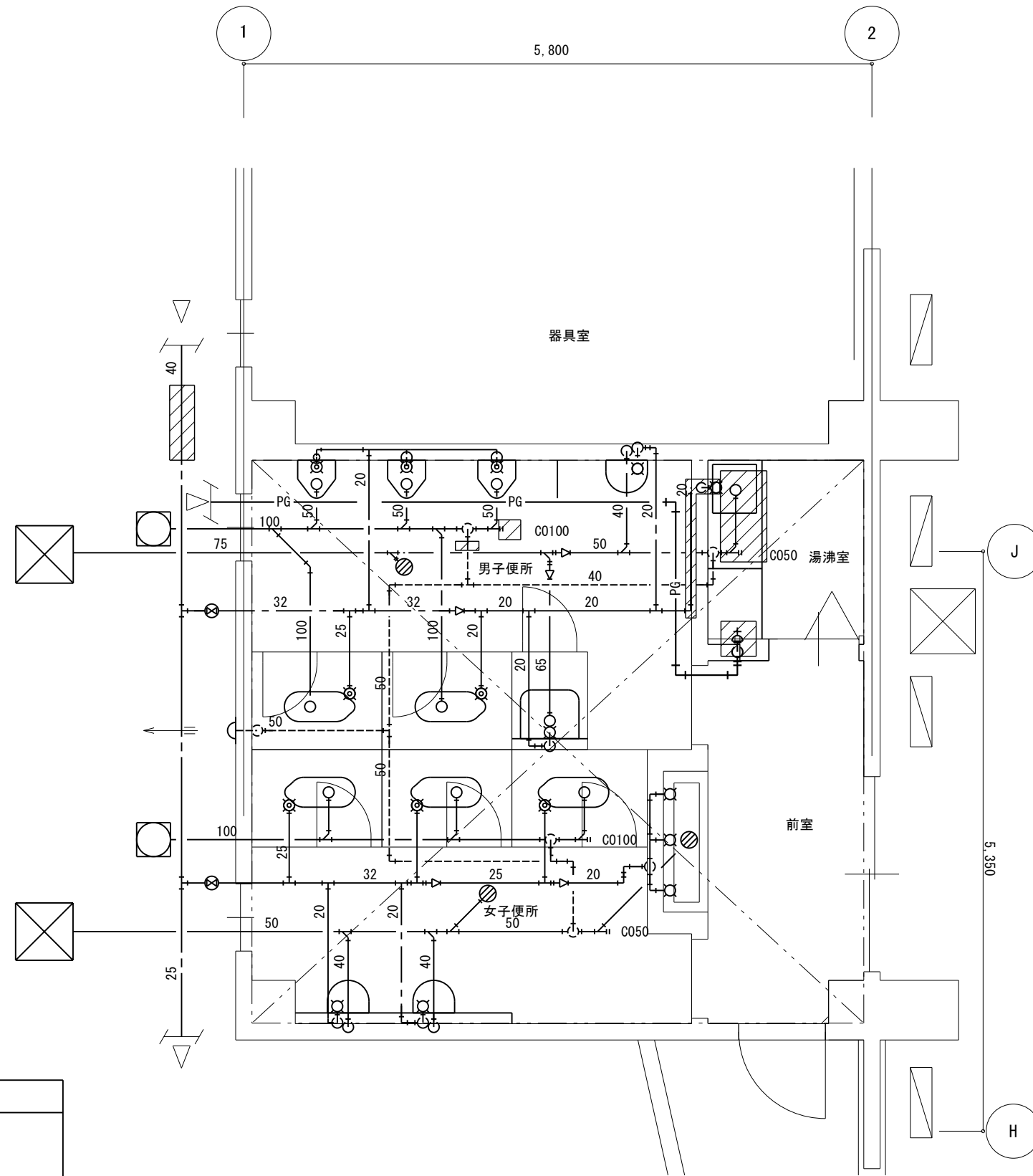
ガス集合装置 (4本立)	1
ガスメーター (返却)	1

1階 衛生設備平面詳細図4 (撤去図) S=1:50

<凡例>

撤去配管・機器を示す。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M56 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図4 (撤去図)	1:50	R8.06	設計者

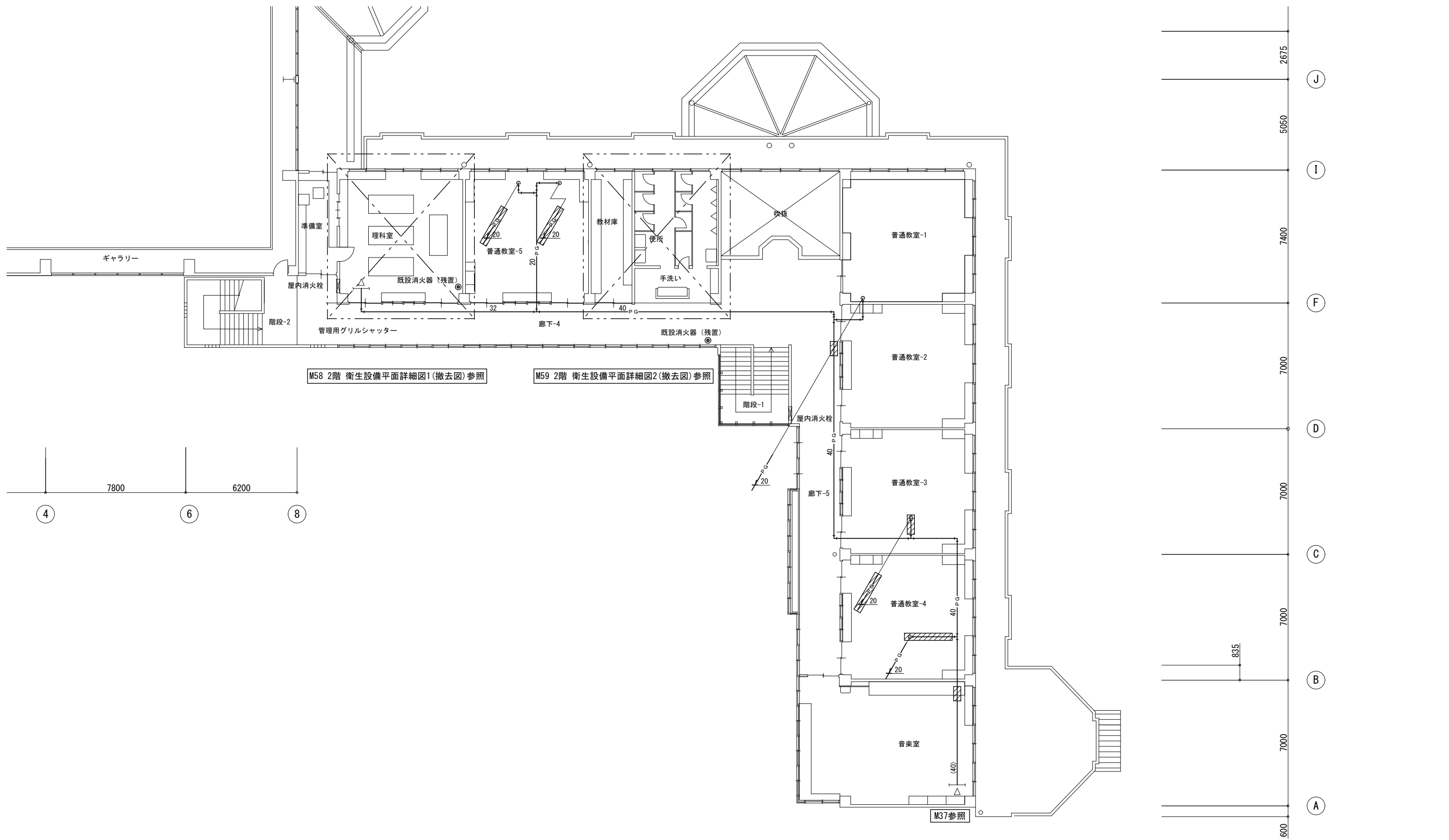


配管付属品リスト (撤去)	
単水栓15	1
S C20	1

<凡例>	
	撤去配管・機器を示す。
	ピット部を示す。

1階 衛生設備平面詳細図5 (撤去図) S=1:50


図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M57 機械	高齢者等福祉施設整備工事	1階 衛生設備 平面詳細図5 (撤去図)	1:50	R8.06		



M58 2階 衛生設備平面詳細図1(撤去図)参照

M59 2階 衛生設備平面詳細図2(撤去図)参照

M37参照

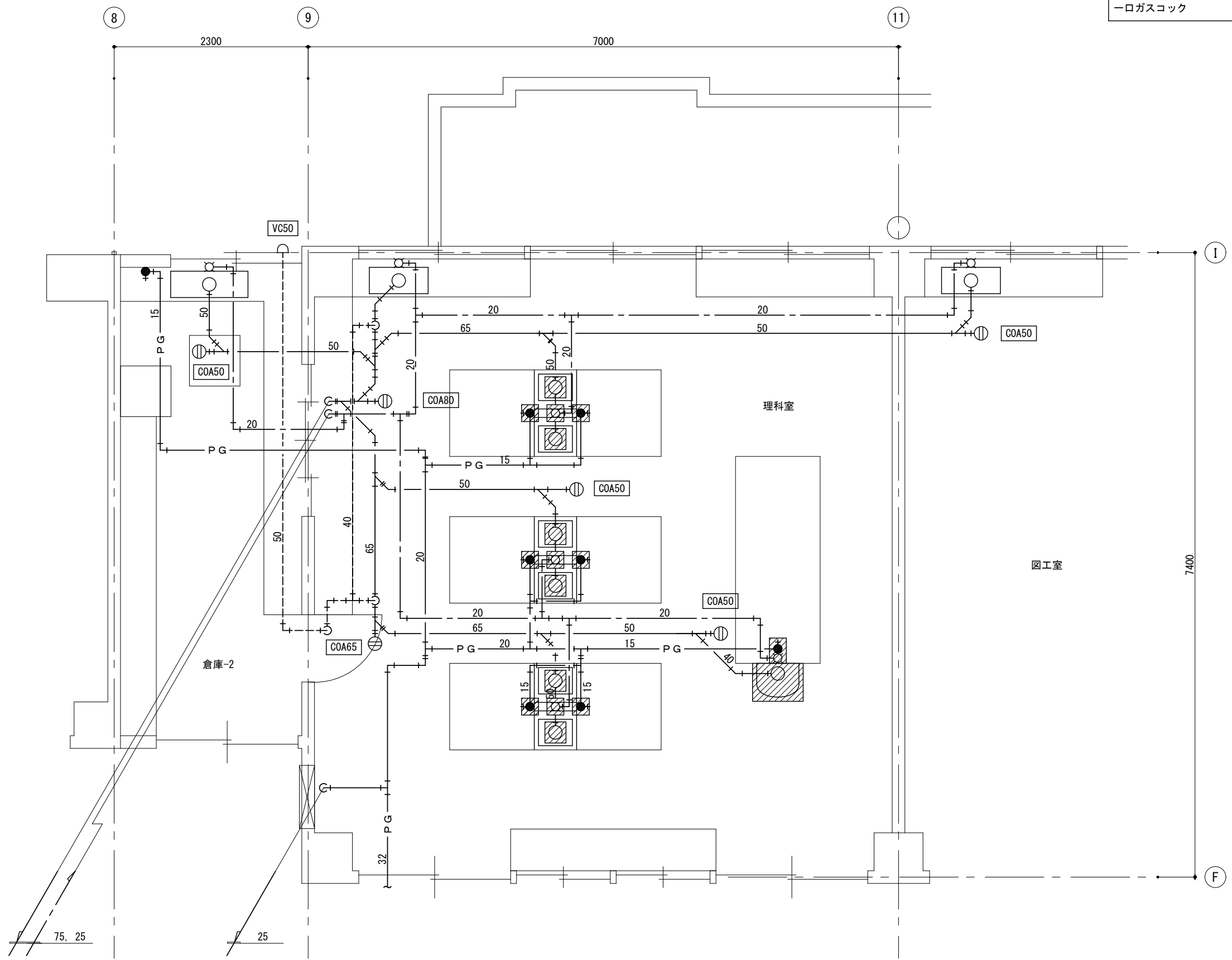
<凡例>  
 撤去配管を示す。

7000 7000 7000 7400 2840 3327.5  
 11 12 13 14 15 16 17 18

2階 衛生設備全体平面図 (撤去図) S=1:200

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M58	高齢者等福祉施設整備工事	2階 衛生設備 全体平面図 (撤去図)	1:200	R8.06	
機械					

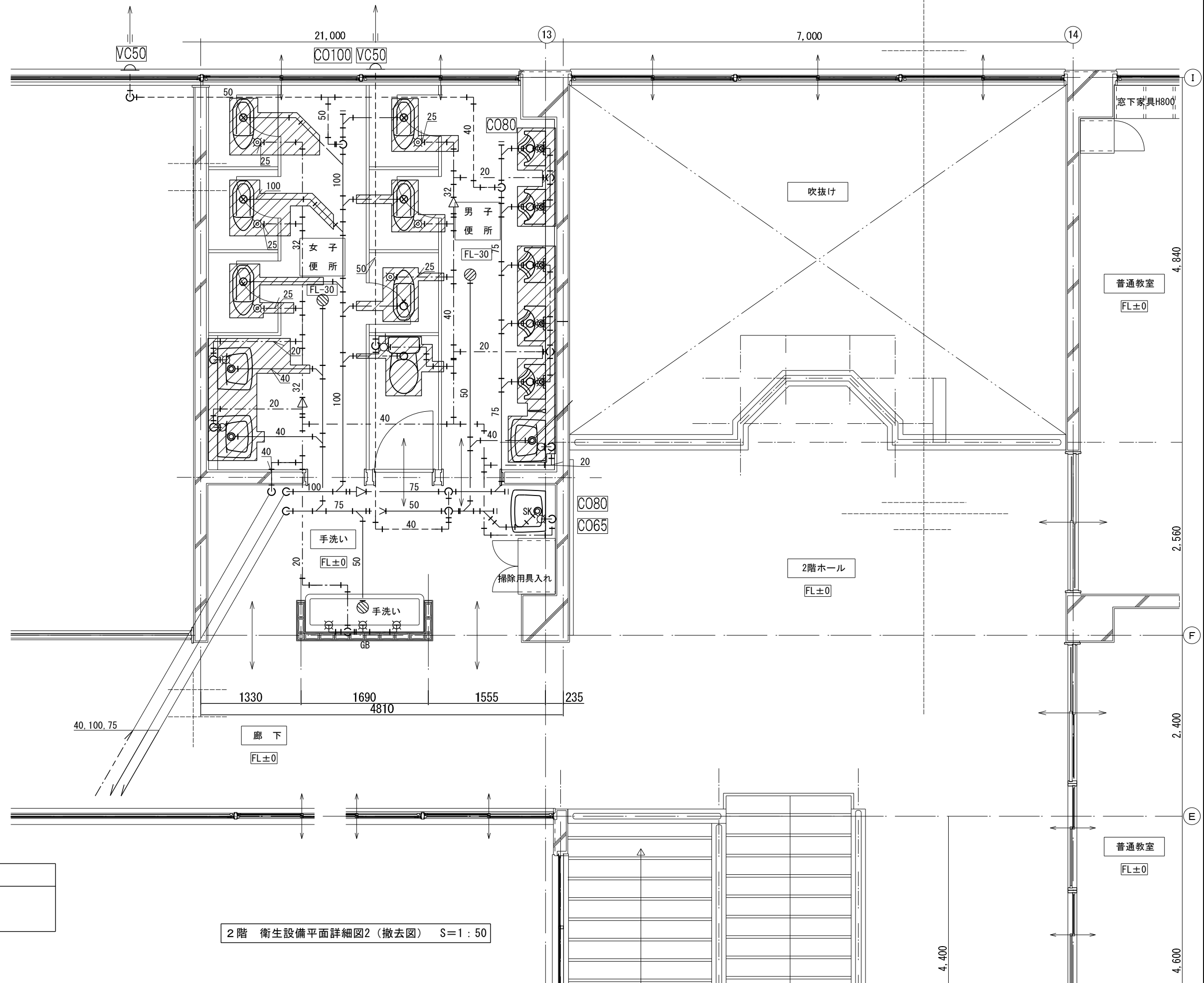
撤去配管付属品リスト	
一ロガスコック	7

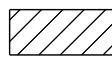


2階 給排水衛生設備平面詳細図1 (撤去図) S=1:50

<凡例>	
	撤去配管・器具を示す。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
M59	高齢者等福祉施設整備工事	2階 給排水衛生設備 平面詳細図1 (撤去図)	1:50	R8.06	
機械					設計者



<凡例>  
 撤去配管・器具を示す。

2階 衛生設備平面詳細図2 (撤去図) S=1:50

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者
M60	高齢者等福祉施設設備工事	2階 衛生設備 平面詳細図2 (撤去図)	1:50	R8.06		
機械						